

# 第1章

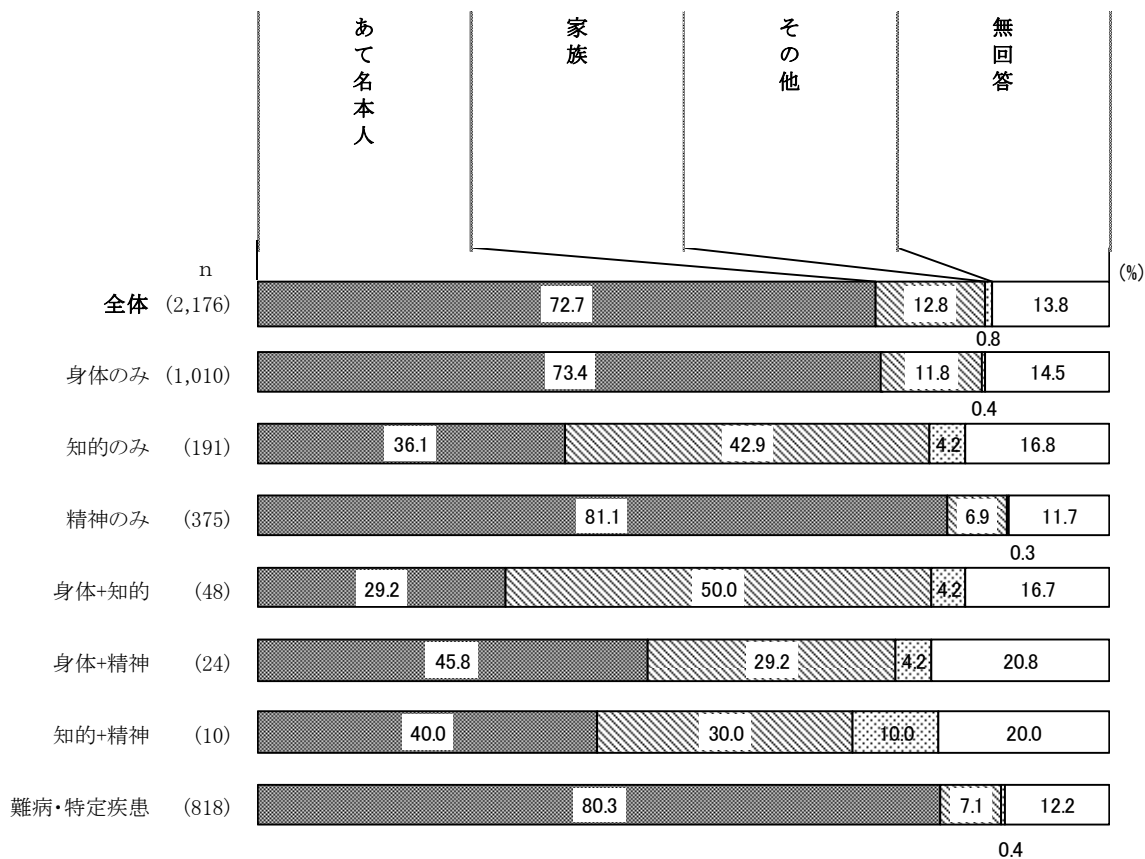
## 在宅の方を対象にした調査



# 1. 本人について

## (1) 調査票の回答者

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(〇はひとつ)

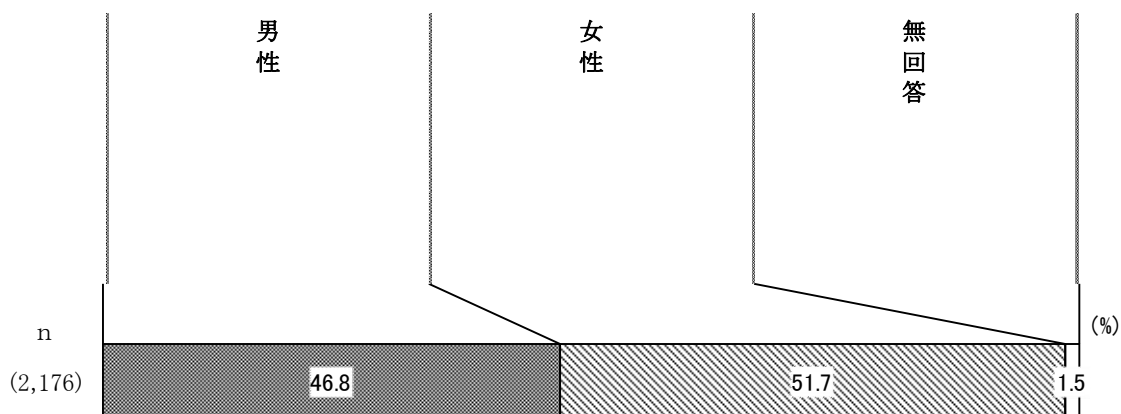


調査の回答者は、全体では「あて名本人」が72.7%と大半を占めています。

障害の種類別にみると、「知的のみ」、「身体と知的の重複障害」で「あて名本人」が36.1%、29.2%と他に比べて低くなっています。

## (2) 性別

問2 あなたの性別をお聞きします。(○はひとつ)



性別についてみると、「男性」が46.8%、「女性」が51.7%となっています。

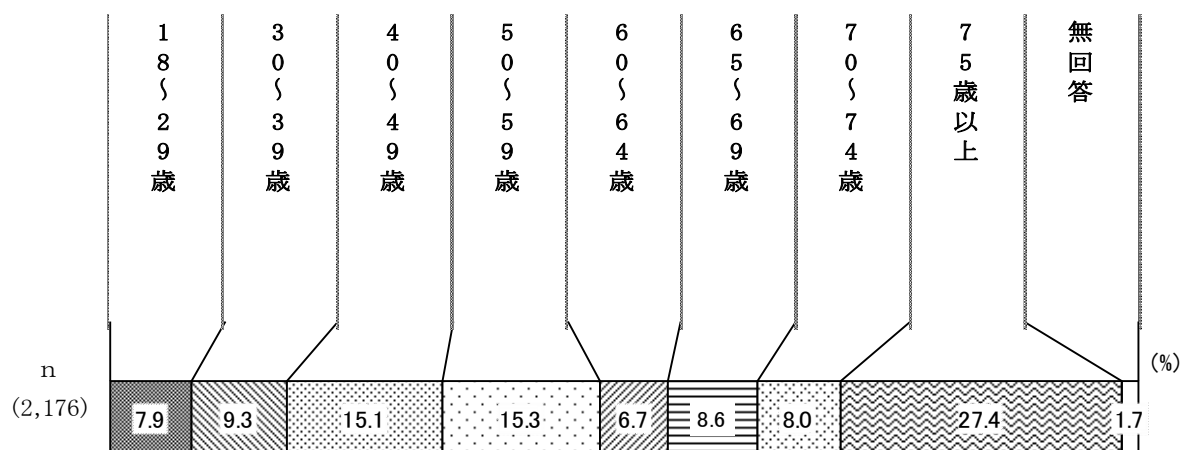
### 《障害の種類別》

	調査数	男性	女性	無回答
身体のみ	1010	51.6	47.5	0.9
知的のみ	191	59.2	40.3	0.5
精神のみ	375	47.2	50.1	2.7
身体+知的	48	52.1	45.8	2.1
身体+精神	24	58.3	37.5	4.2
知的+精神	10	30.0	70.0	-
難病・特定疾患	818	39.9	58.8	1.3

障害の種類別にみると、「身体のみ」と「精神のみ」では男女がほぼ半数、「知的のみ」では「男性」が6割近く、「難病・特定疾患」では「女性」が6割近くとなっています。

### (3) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。平成28年10月1日現在の満年齢をお書きください。



年齢についてみると、「75歳以上」が27.4%と最も多くなっており、次いで「50～59歳」が15.3%、「40～49歳」が15.1%となっています。

#### 《障害の種類別》

	調査数	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳
身体のみ	1010	1.8	4.0	6.6	9.3	7.9	<b>11.4</b>
知的のみ	191	<b>39.8</b>	14.7	<b>19.9</b>	14.7	2.1	3.1
精神のみ	375	9.6	19.2	<b>31.5</b>	<b>24.0</b>	5.6	3.7
身体+知的	48	<b>25.0</b>	<b>18.8</b>	16.7	10.4	4.2	4.2
身体+精神	24	4.2	4.2	12.5	<b>25.0</b>	12.5	8.3
知的+精神	10	10.0	-	-	<b>40.0</b>	<b>20.0</b>	-
難病・特定疾患	818	5.3	8.7	15.1	<b>17.9</b>	8.6	11.1

	調査数	70～74歳	75歳以上	無回答
身体のみ	1010	<b>11.4</b>	<b>46.5</b>	1.1
知的のみ	191	3.1	1.0	1.6
精神のみ	375	2.1	1.9	2.4
身体+知的	48	8.3	12.5	-
身体+精神	24	8.3	<b>25.0</b>	-
知的+精神	10	10.0	<b>20.0</b>	-
難病・特定疾患	818	8.9	<b>23.0</b>	1.5

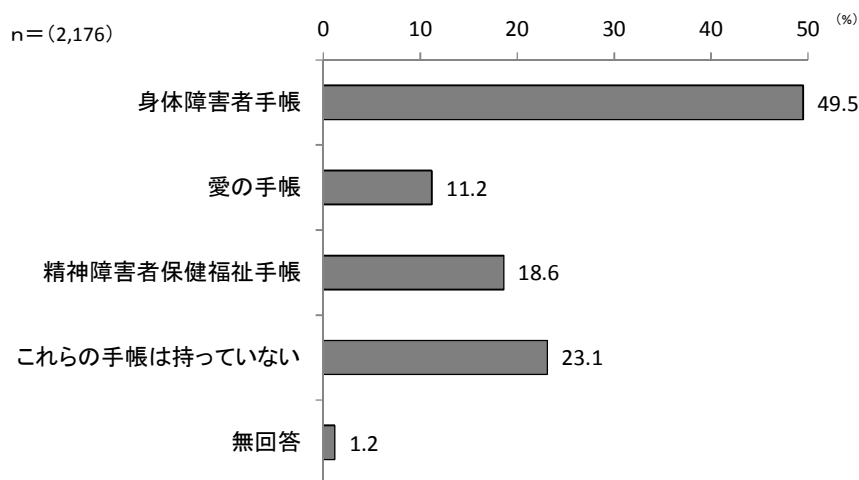
障害の種類別にみると、「身体のみ」では、「75歳以上」が46.5%と特に多くなっています。

一方、「知的のみ」では、「18～29歳」が39.8%、「精神のみ」では「40～49歳」が31.5%と最も多くなっています。

また、「難病・特定疾患」では、「75歳以上」が23.0%で最も多くなっています。

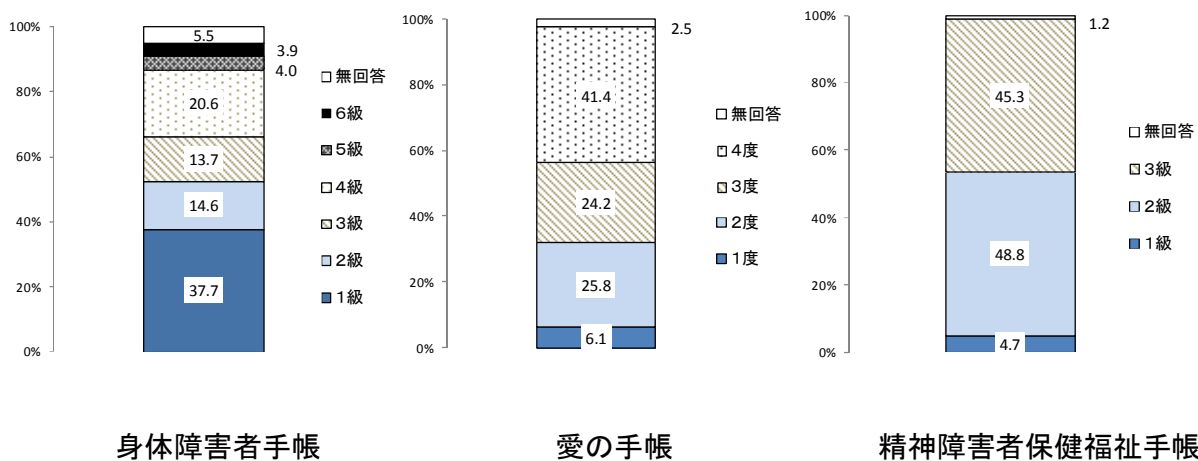
#### (4) 手帳の所持状況

問4 あなたが持っている手帳の種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも○をつけてください。(該当するものに○)



手帳の所持状況については、「身体障害者手帳」が49.5%と最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が18.6%、「愛の手帳」が11.2%となっています。一方、「これらの手帳は持っていない」は23.1%となっています。

#### 《各等級別》

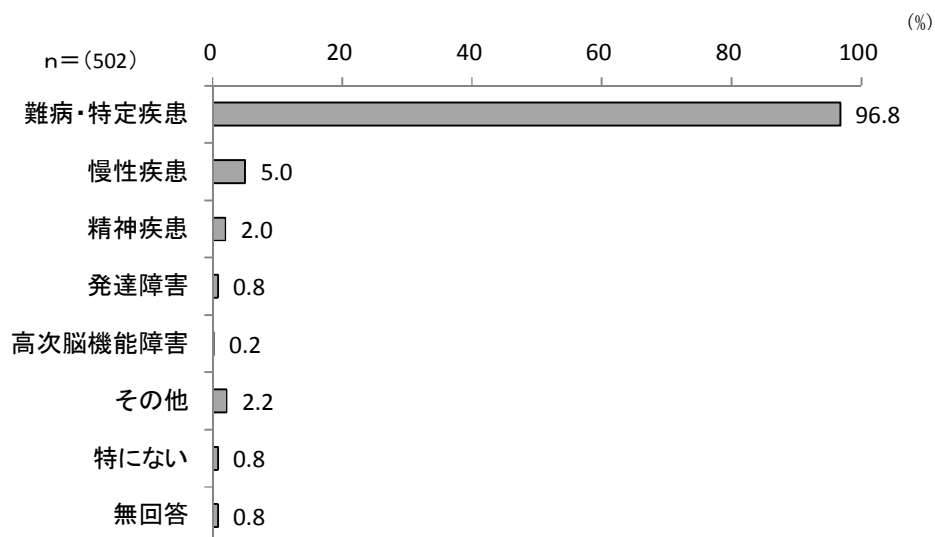


身体障害者手帳の等級については、「1級」が37.7%と最も多く、次いで「4級」が20.6%、「2級」が14.6%となっています。

愛の手帳の等級については、「4度」が41.4%で最も多く、次いで「2度」が25.8%、「3度」が24.2%となっています。

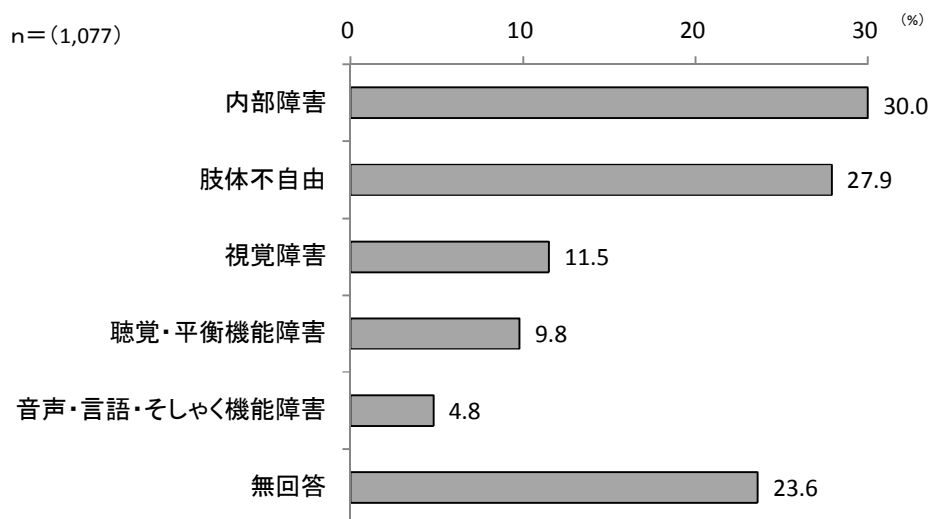
精神障害者保健福祉手帳については、「2級」が48.8%と最も多く、次いで「3級」が45.3%となっています。

#### (4-1) 手帳を所持していない人の内訳



障害者手帳を所持していない人の内訳は、「難病・特定疾患」が96.8%を占めています。

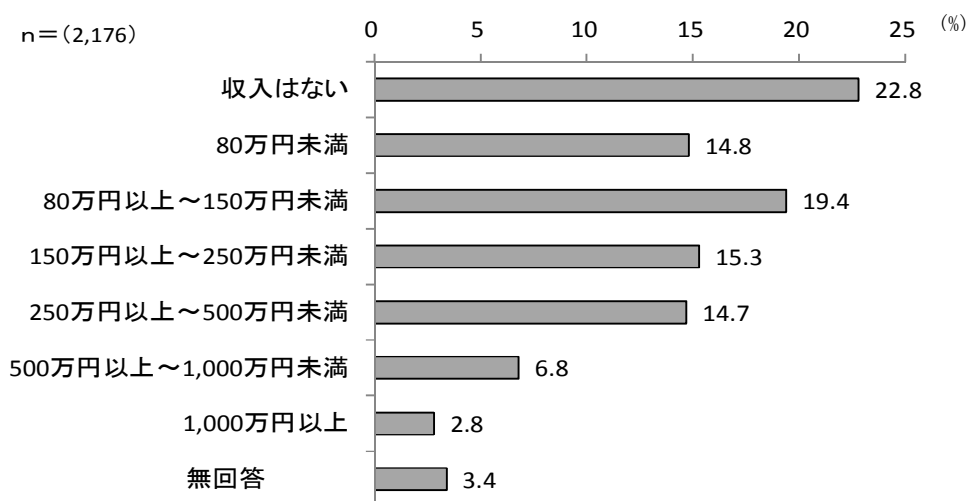
#### (4-2) 身体障害の種類



身体障害の種類については、「内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、象徴、免疫機能、肝臓）」が30.0%と最も多く、次いで「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が27.9%、「視覚障害」が11.5%となっています。

## (5) 年収

問5 あなたご本人の年収額をお聞きします。税金等を差し引く前の額でお答えください。(〇はひとつ)



本人の収入についてみると、「収入がない」が22.8%と最も多く、150万円未満が全体の過半数を占めています。

### 《同居家族別》

	調査数	収入はない	80万円未満	80万円以上～150万円未満	150万円以上～250万円未満	250万円以上～500万円未満	500万円以上～1,000万円未満
父親	319	<b>31.0</b>	21.0	<b>25.4</b>	10.0	8.2	2.2
母親	455	<b>29.9</b>	20.4	<b>25.1</b>	11.0	9.9	2.2
配偶者	898	<b>19.6</b>	12.7	15.3	14.9	<b>19.4</b>	9.9
子	569	<b>23.0</b>	13.7	14.4	<b>15.3</b>	14.2	10.2
兄弟・姉妹	249	<b>26.1</b>	19.7	<b>25.3</b>	16.5	8.0	1.6
その他親族	67	20.9	<b>22.4</b>	<b>28.4</b>	14.9	11.9	1.5
ひとり暮らし	515	<b>23.5</b>	9.5	18.3	<b>20.0</b>	15.0	7.6
グループホーム等での集団生活	41	14.6	<b>26.8</b>	<b>36.6</b>	12.2	2.4	-
その他	64	<b>20.3</b>	18.8	18.8	<b>21.9</b>	14.1	3.1

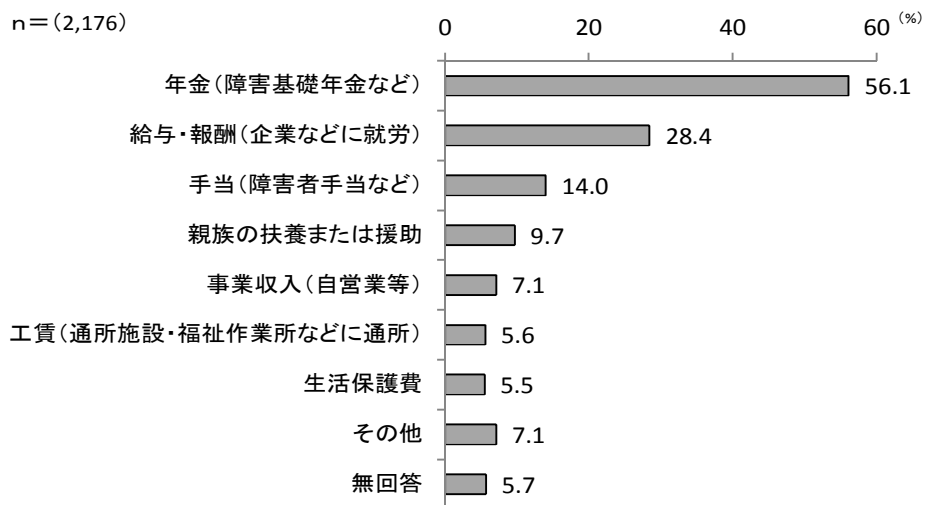
	調査数	1,000万円以上	無回答
父親	319	-	2.2
母親	455	0.4	1.1
配偶者	898	5.0	3.2
子	569	5.3	3.9
兄弟・姉妹	249	0.8	2.0
その他親族	67	-	-
ひとり暮らし	515	2.7	3.5
グループホーム等での集団生活	41	-	7.3
その他	64	-	3.1

同居家族別にみると、グループホーム等での集団生活は「収入がない」が他と比べて少なく、「80万以上～150万円未満」が多くなっています。



## (6) 収入の内訳

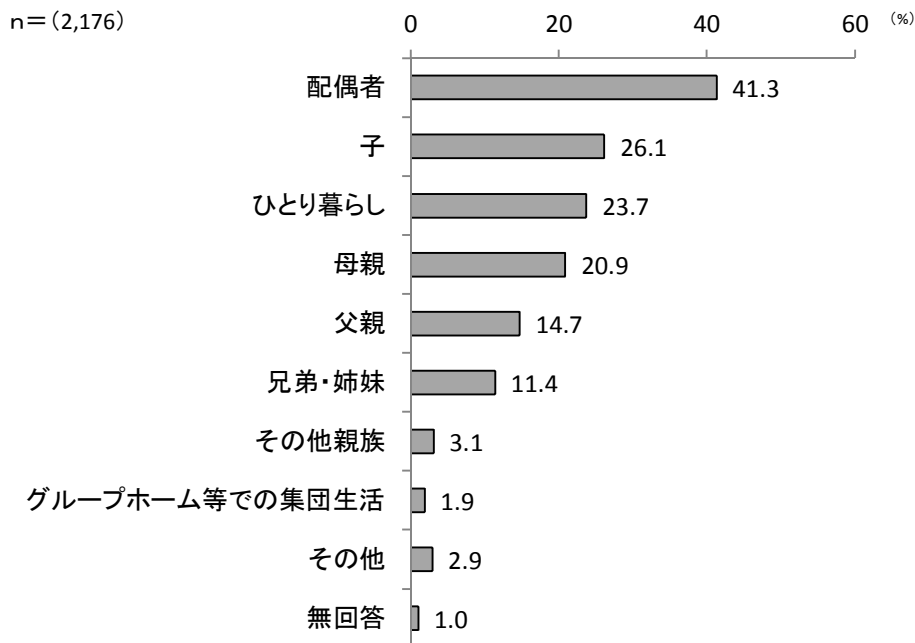
問6 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きします。(〇は3つまで)



本人の収入の内訳をみると、「年金(障害基礎年金など)」が56.1%と最も高くなっています。

## (7) 同居家族

問7 あなたの同居家族をお聞きします。(〇はいくつでも)



同居家族についてみると、「配偶者」が41.3%と最も多く、以下、「子」が26.1%、「ひとり暮らし」が23.7%と続いています。

《年齢別》

	調査数	父親	母親	配偶者	子	兄弟・姉妹	その他親族
18～29歳	172	62.2	77.3	4.1	2.3	51.7	6.4
30～39歳	203	32.5	43.3	30.0	18.7	17.7	3.4
40～49歳	328	30.2	38.7	34.1	27.4	12.2	1.2
50～59歳	333	10.2	20.1	37.5	29.1	9.6	1.8
60～69歳	332	1.5	7.5	50.0	27.7	7.8	1.5
70～79歳	399	-	2.0	63.4	26.6	3.5	3.8
80歳以上	372	0.8	0.3	43.0	34.9	2.7	4.8

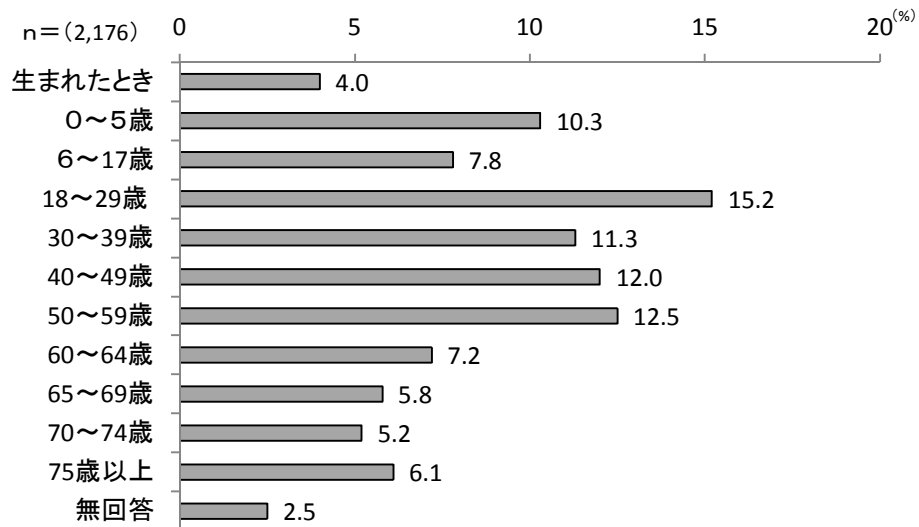
	調査数	ひとり暮らし	グループホーム等での集団生活	その他	無回答
18～29歳	172	12.8	2.3	2.9	-
30～39歳	203	19.7	3.9	1.0	-
40～49歳	328	22.3	0.9	1.5	0.6
50～59歳	333	28.8	3.3	1.5	-
60～69歳	332	28.9	0.6	4.8	2.1
70～79歳	399	20.6	1.5	2.0	1.8
80歳以上	372	25.8	1.6	6.2	1.1

年齢別にみると、30歳を超えると「配偶者」、40歳を超えると「子」がそれぞれ多くなり、「ひとり暮らし」は50～60歳代で比較的多くなっています。

## 2. 障害と健康について

### (1) 障害に最初に気づいた時期

問8 あなたの障害や心身の不調について、あなたやご家族の方などが最初に気づいた時期をお聞きます。(〇はひとつ)



本人や家族等が障害に気づいた時期についてみると、「18～29歳」が15.2%で最も多く、以下「50～59歳」が12.5%、「40～49歳」が12.0%となっています。

#### 《障害の種類別》

	調査数	生まれたとき	0～5歳	6～17歳	18～29歳	30～39歳	40～49歳
身体のみ	1010	3.5	6.9	5.0	6.8	7.3	12.4
知的のみ	191	15.7	59.7	15.2	3.1	1.6	0.5
精神のみ	375	1.1	4.0	13.3	38.7	20.0	13.6
身体+知的	48	27.1	43.8	8.3	-	2.1	4.2
身体+精神	24	4.2	12.5	4.2	37.5	-	4.2
知的+精神	10	10.0	30.0	20.0	-	10.0	10.0
難病・特定疾患	818	1.3	2.8	6.4	16.4	15.3	16.1

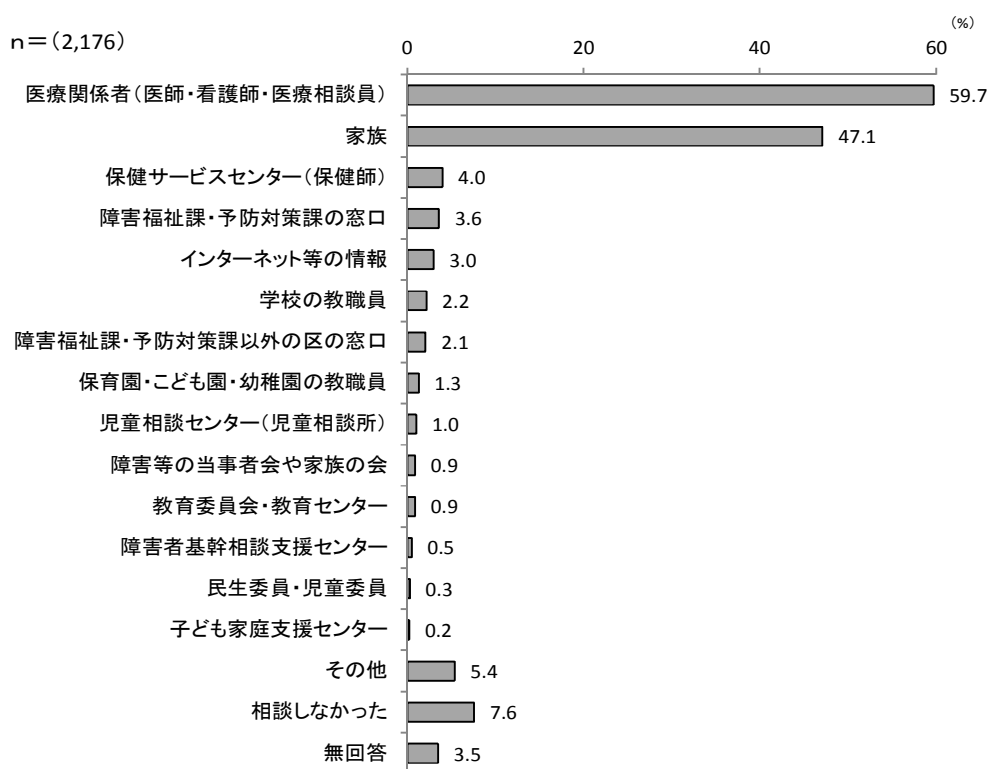
	調査数	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
身体のみ	1010	16.4	10.9	8.9	8.7	10.6	2.6
知的のみ	191	-	0.5	-	-	-	3.7
精神のみ	375	6.4	1.1	0.3	0.3	0.3	1.1
身体+知的	48	2.1	-	4.2	2.1	4.2	2.1
身体+精神	24	16.7	-	4.2	4.2	4.2	8.3
知的+精神	10	-	-	-	-	10.0	10.0
難病・特定疾患	818	16.1	7.6	6.4	4.9	4.8	2.0

障害の種類別にみると、「身体のみ」では、「50～59歳」が16.4%と最も多くなっているのに対して、「知的のみ」では「0～5歳」が59.7%で最も多くなっています。

また、「精神のみ」、「難病・特定疾患」では、「18～29歳」が、それぞれ38.7%、16.4%で最も多くなっています。

## (2) 障害に最初に気づいた時の相談相手

問9 障害や心身の不調に気づいたとき、誰に相談しましたか。(〇はいくつでも)



相談相手についてみると「医療関係者(医師・看護師・医療相談員)」(59.7%)と「家族」(47.1%)の2つに集中しています。

《障害の種類別》

	調査数	家族	学校の教職員	保育園・こども園・幼稚園の教職員	民生委員・児童委員	障害等の当事者会や家族の会	医療関係者 (医師・看護師・医療相談員)
身体のみ	1010	47.1	0.4	-	0.5	0.6	59.3
知的のみ	191	42.9	11.0	11.0	-	3.7	47.6
精神のみ	375	45.9	5.1	0.8	0.3	1.3	61.9
身体+知的	48	43.8	2.1	6.3	2.1	4.2	52.1
身体+精神	24	29.2	-	4.2	-	-	45.8
知的+精神	10	30.0	-	10.0	-	-	30.0
難病・特定疾患	818	49.4	0.5	0.4	0.2	0.6	65.3

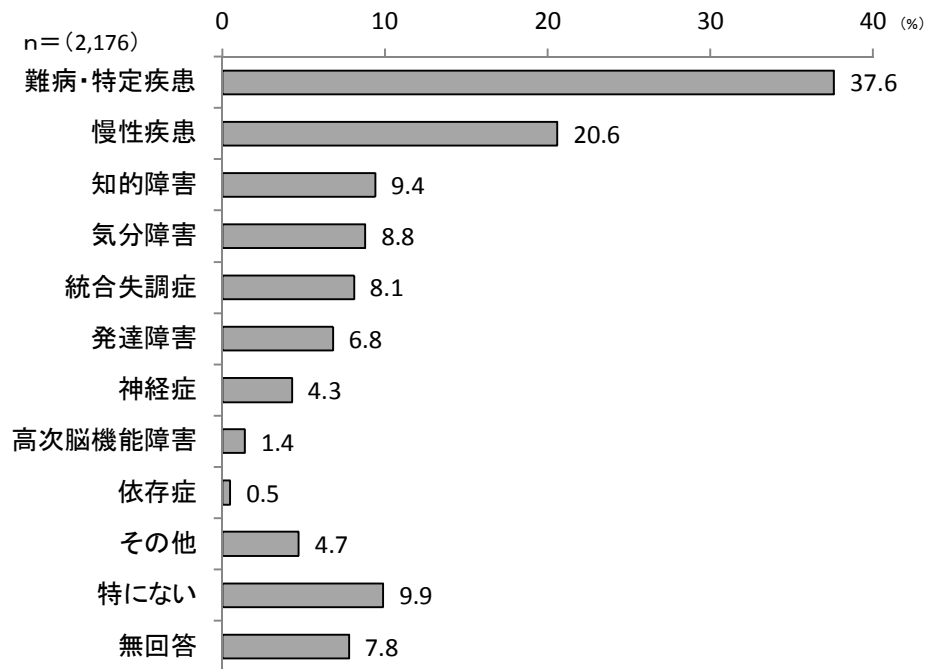
	調査数	障害福祉課・予防対策課の窓口	障害福祉課・予防対策課以外の区の窓口	保健サービスセンター(保健師)	障害者基幹相談支援センター	子ども家庭支援センター	教育委員会・教育センター
身体のみ	1010	4.0	1.7	0.9	0.3	0.2	-
知的のみ	191	8.4	5.8	15.2	3.7	0.5	8.4
精神のみ	375	2.9	2.1	8.8	-	0.3	0.8
身体+知的	48	8.3	2.1	10.4	-	-	2.1
身体+精神	24	8.3	8.3	8.3	-	-	-
知的+精神	10	10.0	10.0	10.0	-	-	-
難病・特定疾患	818	2.7	1.3	2.4	0.1	0.1	-

	調査数	児童相談センター(児童相談所)	インターネット等の情報	相談しなかった	無回答
身体のみ	1010	-	1.9	6.9	4.6
知的のみ	191	8.9	2.1	4.7	6.8
精神のみ	375	0.8	6.1	12.5	8.0
身体+知的	48	2.1	2.1	2.1	8.3
身体+精神	24	4.2	-	16.7	8.3
知的+精神	10	10.0	-	-	20.0
難病・特定疾患	818	-	3.5	6.4	2.9

障害の種類別にみると、いずれの障害でも「医療関係者（医師・看護師・医療相談員）」が最も多く、次いで「家族」となっています。

### (3) 疾患・障害の有無

問10 あなたには、次の疾患や障害がありますか。(該当するものに○)

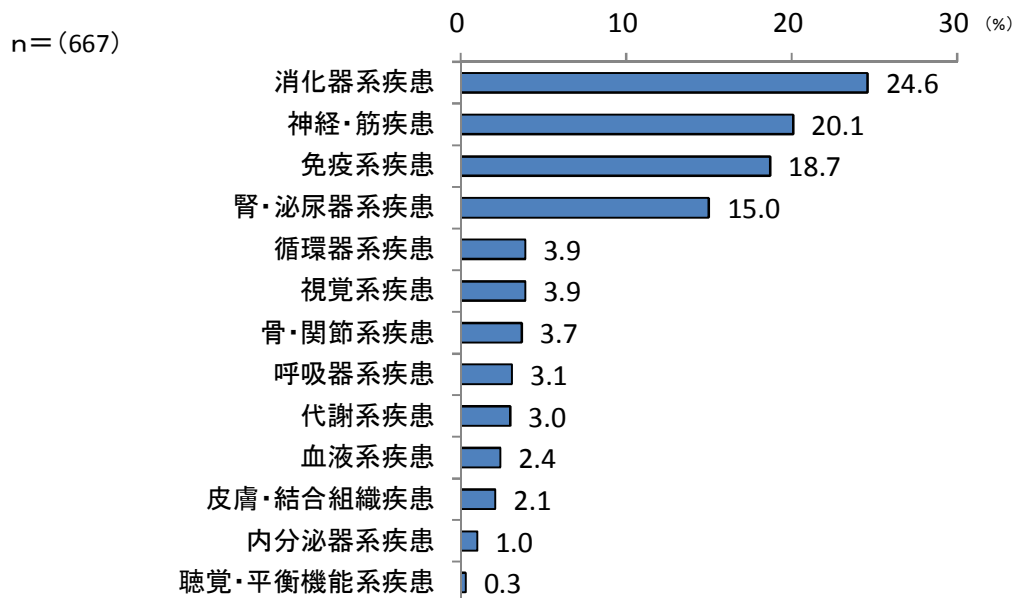


疾患・障害についてみると、「難病・特定疾患」が37.6%で最も多く、次いで「慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患・腎臓疾患・大腸の疾患等）」が20.6% となっています。

#### (4) 難病・特定疾患の病名

問11 問10で「1 難病・特定疾患」と回答された方にお聞きします。

病名（東京都発行の難病医療費等助成制度の医療券もしくは診断書に記載されている病名）等をお答え下さい。



2件以上の回答があった難病・特定疾患の病名を疾患群別にまとめたところ、「消化器系疾患」が24.6%で最も多く、次いで「神経・筋疾患」が20.1%、「代謝系疾患」が18.7%となっています。

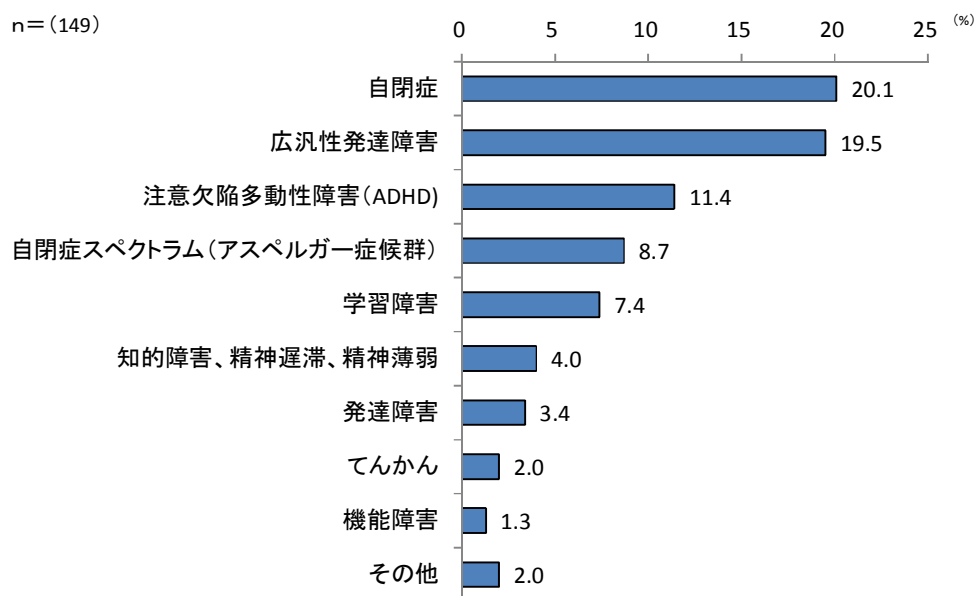
また、診断を受けてからの平均期間は12年6.5か月となっています。

#### 《診断を受けてからの期間》 n = (758)

5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30～40年未満	40年以上	平均
27.2%	23.7%	26.3%	13.2%	7.1%	2.4%	12年6.5か月

## (5) 発達障害の診断名

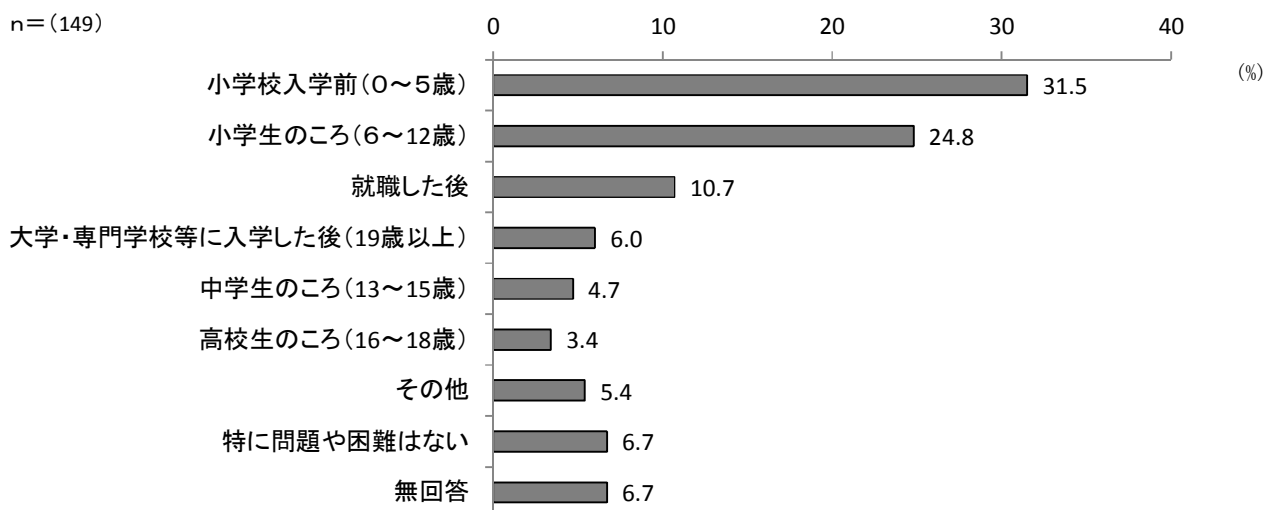
問12 問10で「8 発達障害（自閉症、アスペルガー症候群等）」と回答された方にお聞きします。  
診断名をお答え下さい。



発達障害の診断名をまとめたところ、自閉症が最も多く20.1%となっています。

## (6) 発達障害の問題・困難に気づいた時期

問13 問10で「8 発達障害（自閉症、アスペルガー症候群等）」と回答された方にお聞きします。  
あなたご自身が、発達障害に基づく日常生活の問題や困難に気づいたのはいつごろですか。



発達障害の方が問題・困難に気がついた時期としては、「小学校入学前 (0~5歳)」が31.5%と最も多く、次いで「小学生のころ (6~12歳)」が24.8%、「就職した後」が10.7% となっています。

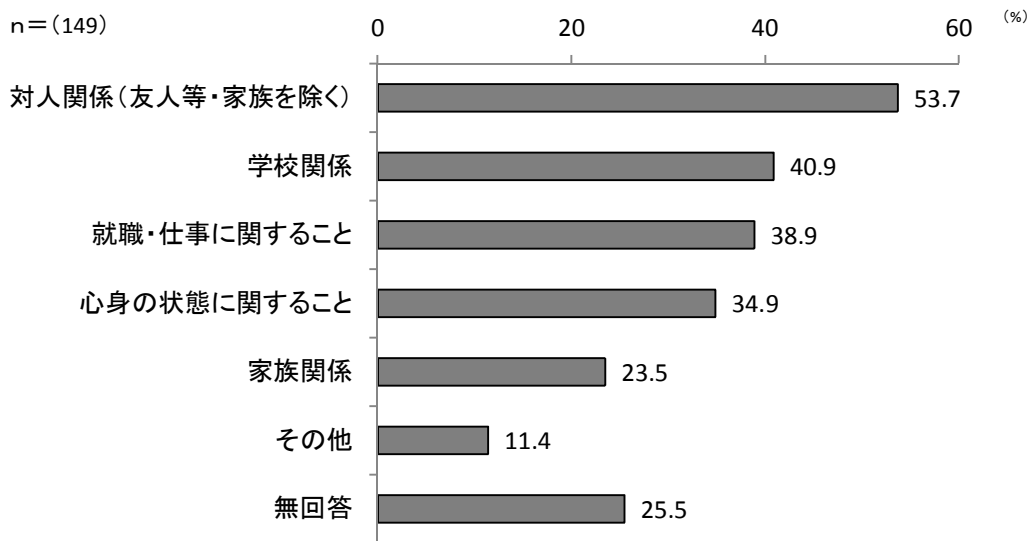
また、「就職した後」の場合の平均年齢は31.8歳でした。(n=14)



## (7) 発達障害の問題・困難の内容

問14 問10で「8 発達障害（自閉症、アスペルガー症候群等）」と回答された方にお聞きします。

それはどのような問題や困難でしたか。（〇はいくつでも）



発達障害の問題・困難の内容としては、「対人関係（友人等・家族を除く）」が53.7%で最も多く、次いで「学校関係」が40.9%、「就職・仕事に関する事」が38.9%となっています。

### ●具体的な困難の内容

#### ○対人関係（友人等・家族を除く）について

- ・誰ともつきあえない 言葉がうまく話せない。
- ・いじめられやすい（からかわれやすいも含む）。
- ・みんなと一緒にできない。

#### ○学校関係について

- ・多動で目が離せない。
- ・言葉での指示が判らないことが多い。

#### ○就職・仕事に関する事

- ・仕事に耐えられない、遅刻等迷惑をかける。
- ・やりたい事がコロコロ変わる為、同じ所で働き続けるのが困難。モチベーションが下がり気味。

#### ○心身の状態に関する事

- ・ストレスに弱い。
- ・発達の遅れ、感覚過敏、刺激に弱い、常同行為、パニックなどのため外出が困難、コミュニケーションが困難、日常生活そのものが困難。

#### ○家族関係について

- ・じっとしてられない、迷子になる。
- ・我慢できなかつたり、融通がきかなかつたりするので、やりたい事、食べたい等、制限されたり伝わらなかつたりするとパニックをおこすこともあった。

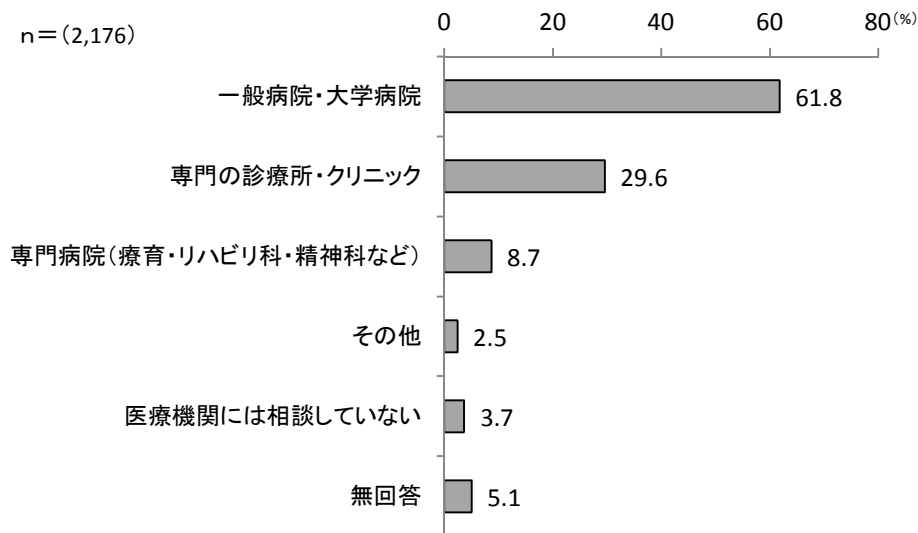
## 《気が付いた時期別》

	調査数	対人関係(友人等・家族を除く)	家族関係	学校関係	就職・仕事に関すること	心身の状態に関すること	その他	無回答
小学校入学前 (0～5歳)	47	66.0	36.2	48.9	36.2	42.6	14.9	21.3
小学生のころ (6～12歳)	37	75.7	24.3	70.3	51.4	35.1	10.8	2.7
中学生のころ (13～15歳)	7	57.1	28.6	28.6	14.3	42.9	14.3	42.9
高校生のころ (16～18歳)	5	20.0	-	60.0	60.0	-	-	20.0
大学・専門学校等に入学した後 (19歳以上)	9	88.9	22.2	33.3	55.6	22.2	11.1	-
就職した後	16	25.0	18.8	6.3	62.5	50.0	12.5	25.0
その他	8	25.0	12.5	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0
特に問題や困難はない	10	-	-	-	-	10.0	-	90.0

発達障害の問題・困難に気がついた時期別でみると、小学校入学前、小学生のころとも、「対人関係(友人等家族を除く)」が、それぞれ66.0%、75.7%を占めて最も多くなっています。

## (8) 障害、不調の治療・相談先

問15 あなたは、手帳の理由となっている障害や心身の不調について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。(〇はいくつでも)



障害についての受診・相談先をみると、「一般病院・大学病院」が61.8%で最も多く、次いで「専門の診療所・クリニック」が29.6%となっています。

《障害の種類別》

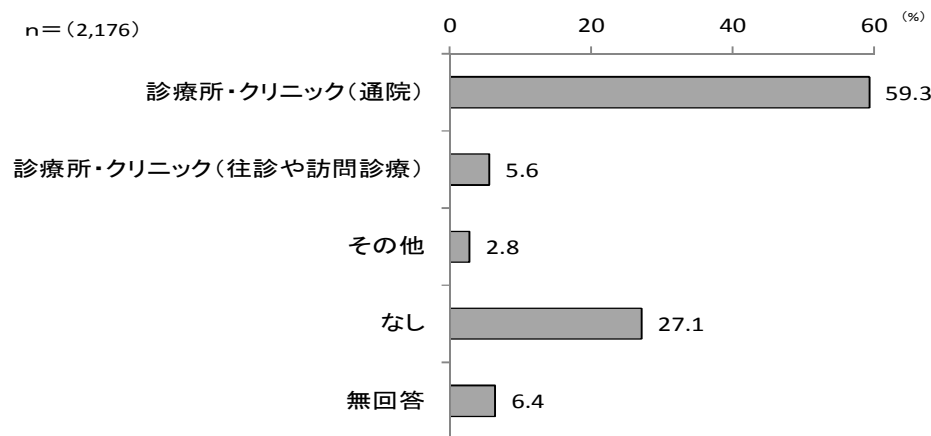
	調査数	専門の診療所・クリニック	一般病院・大学病院	専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)	医療機関には相談していない	その他	無回答
身体のみ	1010	27.5	69.3	5.2	4.6	2.0	4.7
知的のみ	191	40.3	29.8	18.3	13.1	5.2	7.9
精神のみ	375	53.9	31.2	19.2	0.5	2.7	1.3
身体+知的	48	29.2	47.9	25.0	6.3	10.4	8.3
身体+精神	24	37.5	54.2	25.0	-	8.3	16.7
知的+精神	10	50.0	40.0	30.0	-	10.0	20.0
難病・特定疾患	818	18.8	79.1	3.8	0.4	2.4	5.5

障害の種類別にみると、「難病・特定疾患」、「身体のみ」では、「一般病院・大学病院」が、それぞれ69.3%、79.1%と最も多くなっています。

一方、「精神のみ」、「知的のみ」では「専門の診療所・クリニック」が、それぞれ53.9%、40.3%で最も多くなっています。

(9) かかりつけ医の有無

問16 あなたは、問15の医療機関以外に、普段の健康や体調が悪い時（風邪など）に気軽に相談できる診療所の「かかりつけ医」がいますか。（○はいくつでも）



かかりつけ医の有無についてみると、全体の6割以上がかかりつけ医を持っています。

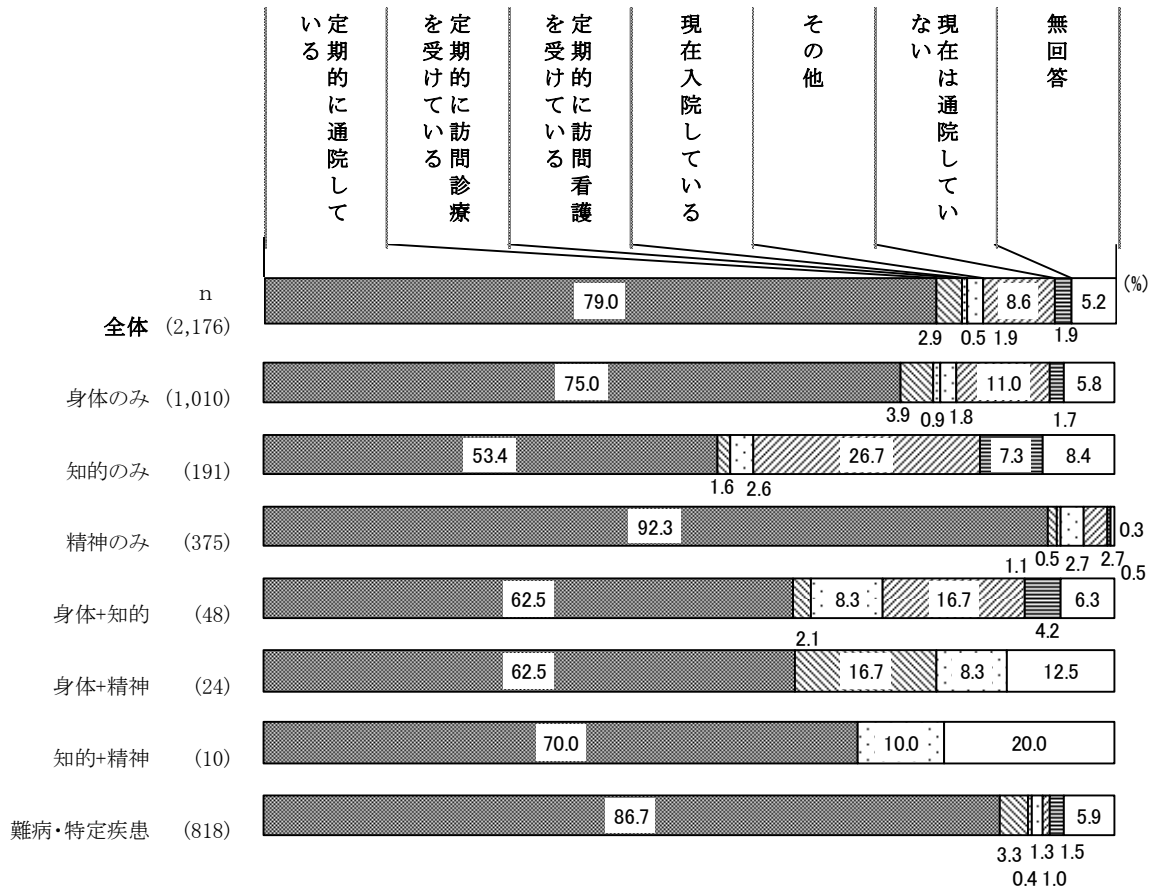
《障害の種類別》

	調査数	診療所・クリニック(通院)	診療所・クリニック(往診や訪問診療)	なし	その他	無回答
身体のみ	1010	62.0	7.9	20.2	3.1	7.8
知的のみ	191	71.7	1.6	19.4	2.1	6.3
精神のみ	375	60.3	1.9	34.9	2.4	1.6
身体+知的	48	62.5	10.4	18.8	2.1	10.4
身体+精神	24	58.3	16.7	4.2	8.3	20.8
知的+精神	10	50.0	-	20.0	-	30.0
難病・特定疾患	818	50.4	6.0	35.1	3.1	6.5

障害の種類別にみると、いずれの障害も「診療所・クリニック（通院）」が最も多くなっています。

(10) 受診状況

問17 障害等について、受診状況等をお聞きします。(○はひとつ)



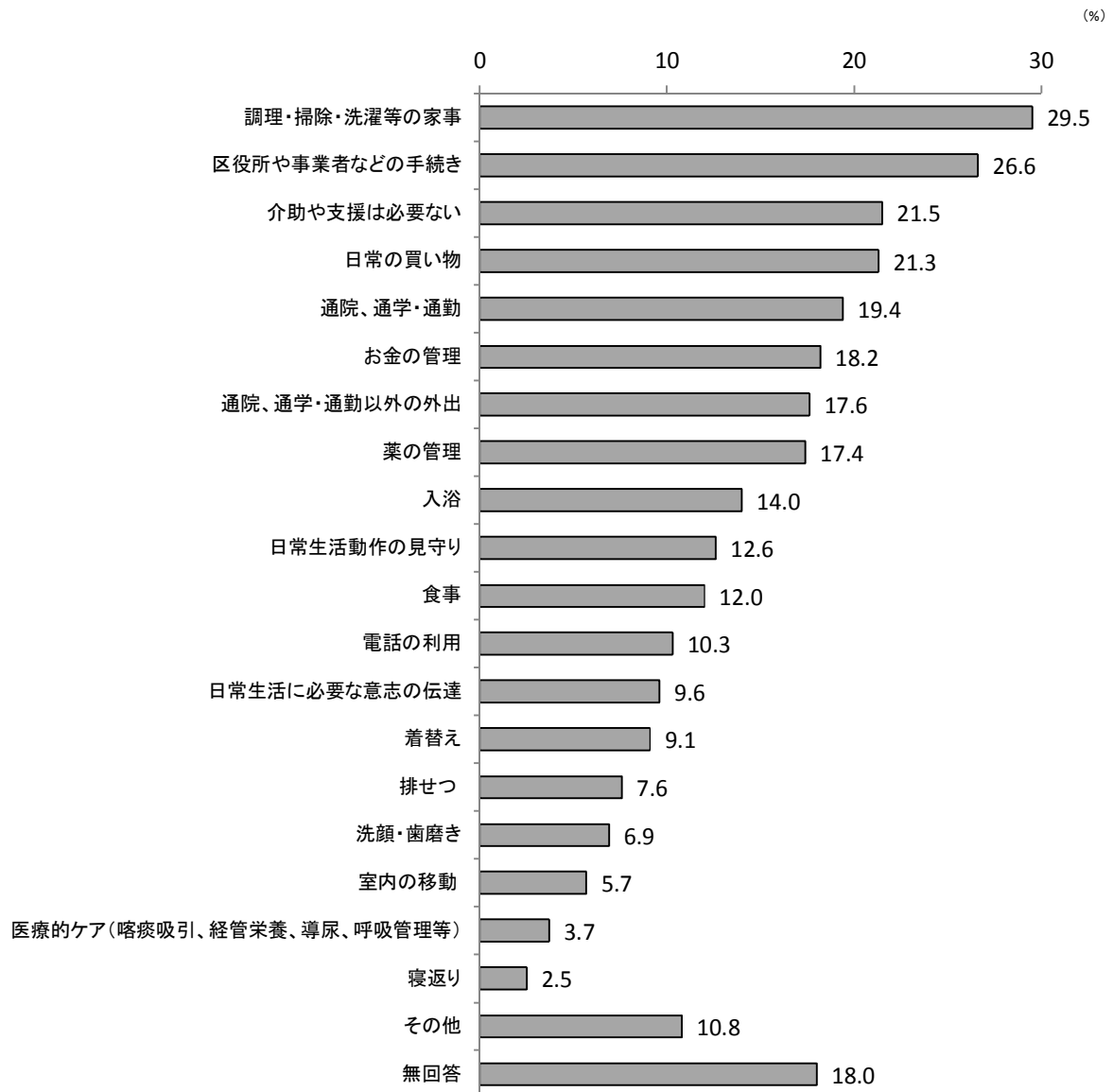
現在の受診状況は、「定期的に通院している」が79.0%となっています。

障害の種類別にみると、「精神のみ」と「難病・特定疾患」で「定期的に通院している」が9割前後なのに対して、「知的のみ」では5割台となっています。

## (11) 日常生活に必要な介助・支援

問18 あなたは、毎日の生活の中で、どのような介助や支援が必要ですか。(〇はいくつでも)

n=(2,176)



日常生活に必要な介助や支援についてみると、「調理・掃除・洗濯等の家事」が29.5%で最も多く、「区役所や事業者などの手続き」が26.6%でこれに次いでいます。一方、「介助や支援は必要ない」は21.5%となっています。

《障害の種類別》

	調査数	食事	排せつ	入浴	寝返り	着替え	調理・掃除・洗濯等の家事	室内の移動
身体のみ	1010	13.3	8.5	17.1	3.0	11.0	<b>27.8</b>	7.3
知的のみ	191	23.0	14.7	24.6	2.1	16.2	58.1	3.7
精神のみ	375	9.6	1.9	4.3	0.8	2.4	<b>36.5</b>	2.1
身体+知的	48	31.3	41.7	45.8	12.5	41.7	<b>62.5</b>	29.2
身体+精神	24	20.8	16.7	37.5	8.3	16.7	<b>45.8</b>	12.5
知的+精神	10	30.0	10.0	<b>40.0</b>	-	10.0	<b>50.0</b>	10.0
難病・特定疾患	818	9.2	7.1	12.6	3.3	9.7	<b>19.6</b>	6.1

	調査数	洗顔・歯磨き	電話の利用	お金の管理	日常の買い物	通院、通学・通勤	通院、通学・通勤以外の外出	日常生活に必要な意志の伝達
身体のみ	1010	6.0	10.5	12.1	22.4	22.8	18.6	6.9
知的のみ	191	19.9	31.9	<b>67.0</b>	41.4	36.1	40.8	38.7
精神のみ	375	3.7	5.1	21.9	15.2	11.5	10.7	9.3
身体+知的	48	39.6	45.8	56.3	52.1	41.7	41.7	39.6
身体+精神	24	16.7	8.3	33.3	37.5	25.0	29.2	16.7
知的+精神	10	10.0	10.0	<b>40.0</b>	30.0	-	-	10.0
難病・特定疾患	818	5.0	5.0	9.3	16.4	15.9	13.8	2.9

	調査数	日常生活動作の見守り	薬の管理	区役所や事業者などの手続き	介助や支援は必要ない	医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、導尿、呼吸管理等）	その他	無回答
身体のみ	1010	10.6	15.0	<b>24.4</b>	20.0	4.5	9.4	19.6
知的のみ	191	34.0	49.7	<b>71.2</b>	3.7	5.8	3.1	7.3
精神のみ	375	12.0	17.1	<b>25.9</b>	15.2	1.6	14.4	10.9
身体+知的	48	43.8	47.9	<b>58.3</b>	2.1	10.4	2.1	14.6
身体+精神	24	29.2	<b>45.8</b>	33.3	4.2	4.2	16.7	16.7
知的+精神	10	10.0	30.0	20.0	-	10.0	10.0	40.0
難病・特定疾患	818	8.4	10.0	17.2	<b>31.2</b>	4.3	12.1	22.6

障害の種類別にみると、「身体のみ」では、「調理・掃除・洗濯等の家事」が27.8%で最も多くなっているほか、「難病・特定疾患」でも19.6%と高くなっています。

また、「精神のみ」でも「調理・掃除・洗濯等の家事」が36.5%と最も多くなっています。

一方、「知的のみ」では「区役所や事業者などの手続き」が71.2%と最も多く、次いで「お金の管理」が67.0%となっています。

《疾病・障害別》

	調査数	食事	排せつ	入浴	寝返り	着替え	調理・掃除・洗濯等の家事	室内の移動
難病・特定疾患	818	9.2	7.1	12.6	3.3	9.7	<b>19.6</b>	6.1
慢性疾患	448	17.0	9.4	19.2	2.7	11.2	<b>32.6</b>	7.6
統合失調症	176	13.6	3.4	7.4	1.1	5.7	<b>44.9</b>	3.4
気分障害	192	9.4	1.6	5.2	0.5	2.1	<b>36.5</b>	2.6
神経症	94	14.9	3.2	6.4	2.1	4.3	<b>38.3</b>	3.2
依存症	10	-	-	-	-	-	<b>30.0</b>	-
知的障害	204	28.4	21.6	30.9	3.9	23.0	63.2	9.3
発達障害	149	14.1	6.7	18.1	-	10.1	<b>43.6</b>	0.7
高次脳機能障害	30	30.0	30.0	36.7	16.7	33.3	<b>56.7</b>	23.3
特にない	215	7.0	4.7	10.2	0.5	3.7	<b>23.3</b>	1.9
その他	103	8.7	9.7	15.5	1.9	8.7	<b>32.0</b>	11.7

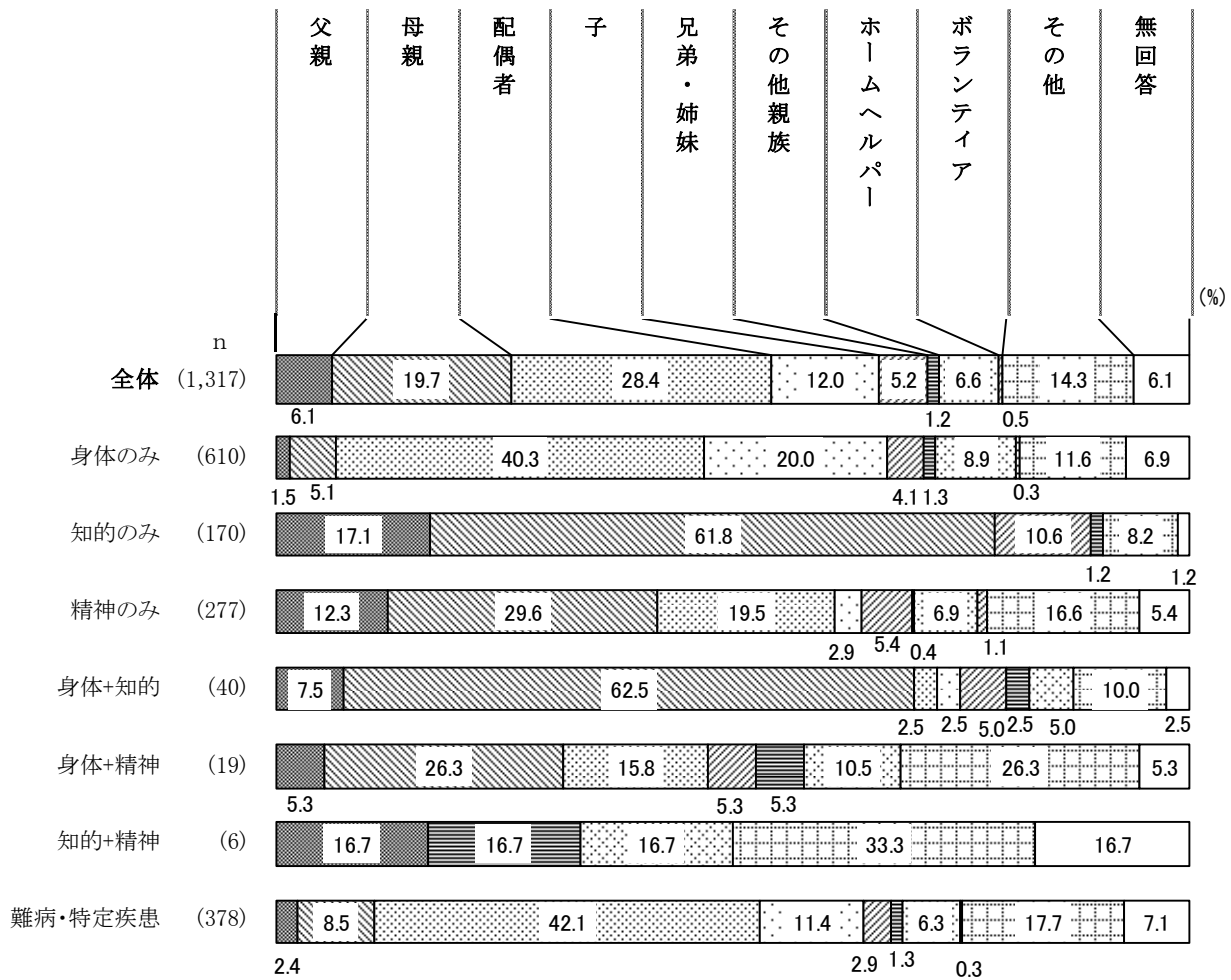
	調査数	洗顔・歯磨き	電話の利用	お金の管理	日常の買い物	通院、通学・通勤	通院、通学・通勤以外の外出	日常生活に必要な意志の伝達
難病・特定疾患	818	5.0	5.0	9.3	16.4	15.9	13.8	2.9
慢性疾患	448	7.1	8.9	17.6	26.6	26.1	20.3	6.9
統合失調症	176	4.5	5.7	23.9	21.6	15.3	13.6	10.8
気分障害	192	4.7	4.2	<b>21.9</b>	18.8	10.9	13.5	7.3
神経症	94	4.3	7.4	18.1	18.1	14.9	18.1	13.8
依存症	10	-	10.0	-	10.0	10.0	-	-
知的障害	204	26.5	36.8	<b>70.6</b>	43.6	39.7	43.6	42.2
発達障害	149	14.1	21.5	42.3	25.5	21.5	22.1	27.5
高次脳機能障害	30	26.7	36.7	46.7	36.7	36.7	30.0	33.3
特にない	215	3.3	12.1	7.9	17.7	17.2	16.7	5.6
その他	103	7.8	12.6	18.4	22.3	25.2	20.4	11.7

	調査数	日常生活動作の見守り	薬の管理	区役所や事業者などの手続き	介助や支援は必要ない	医療的ケア (喀痰吸引、 経管栄養、 導尿、呼吸 管理等)	その他	無回答
難病・特定疾患	818	8.4	10.0	17.2	<b>31.2</b>	4.3	12.1	22.6
慢性疾患	448	14.3	20.5	<b>30.8</b>	17.6	4.7	11.4	16.5
統合失調症	176	13.6	25.6	<b>32.4</b>	11.9	1.7	7.4	10.8
気分障害	192	8.9	16.1	19.8	16.1	1.6	16.7	12.0
神経症	94	18.1	16.0	<b>23.4</b>	16.0	2.1	20.2	4.3
依存症	10	20.0	-	<b>30.0</b>	-	-	<b>40.0</b>	20.0
知的障害	204	39.7	54.4	<b>74.0</b>	2.5	7.4	3.9	4.4
発達障害	149	18.1	30.2	<b>47.7</b>	8.7	4.0	12.1	12.1
高次脳機能障害	30	30.0	50.0	<b>63.3</b>	6.7	10.0	3.3	3.3
特にない	215	4.7	9.3	19.1	<b>27.4</b>	0.5	11.6	16.7
その他	103	20.4	16.5	<b>31.1</b>	13.6	3.9	16.5	18.4

疾患・障害別でみると、高次脳機能障害では「区役所や事業者などの手続き」(63.3%)や「調理・掃除・洗濯等の家事」(56.7%)が高くなっています。

(12) 主な介助者

問19 あなたを主に介助・支援している人はどなたですか。(○はひとつ)



主な介助者・支援者をみると、「配偶者」が28.4%で最も多く、次いで「母親」が19.7%となっています。

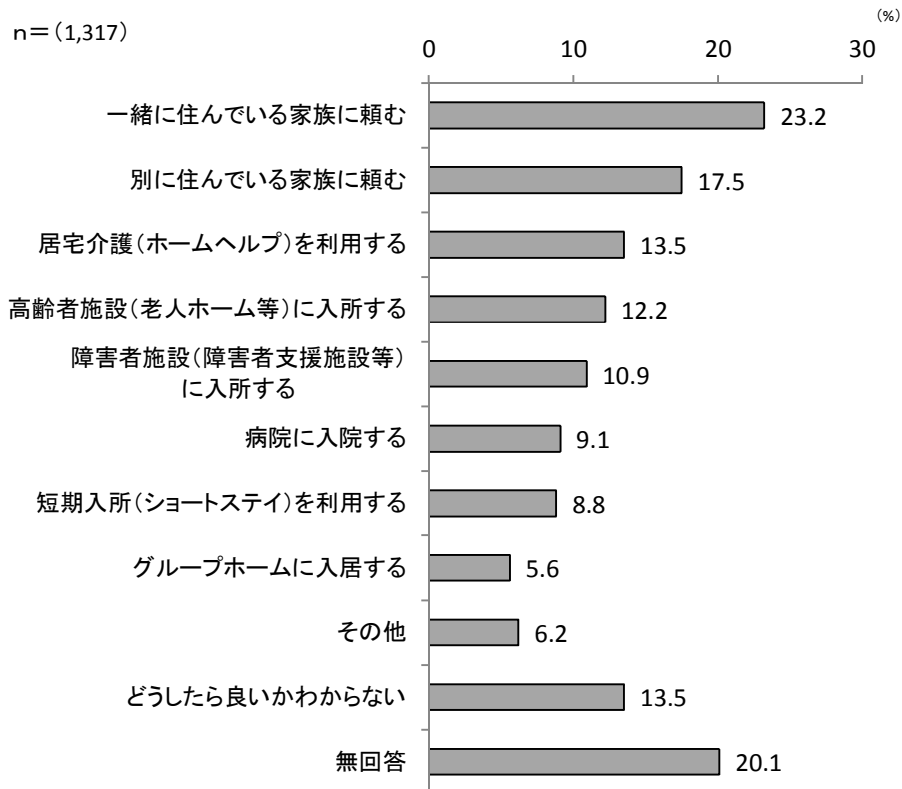
障害の種類別にみると、「難病・特定疾患」では、「配偶者」が42.1%と最も多くなっているほか、身体のみでも40.3%となっています。

一方、「知的のみ」、「身体と知的の重複障害」では「母親」が6割以上と最も多くなっているほか、「精神のみ」でも29.6%となっています。



(13) 主な介助者が支援できなくなった場合の対応

問20 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。  
主な介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしますか。(〇は3つまで)



主な介助者・支援者が支援できなくなった場合の対応をみると、「一緒に住んでいる家族に頼む」が23.2%と最も多く、次いで「別に住んでいる家族に頼む」が17.5%となっています。

《障害の種類別》

	調査数	一緒に住んでいる家族に頼む	別に住んでいる家族に頼む	居宅介護 (ホームヘルプ)を利用する	高齢者施設 (老人ホーム等)に入所する	障害者施設 (障害者支援施設等)に入所する	病院に入院する
身体のみ	610	22.3	19.8	17.5	17.7	10.0	10.5
知的のみ	170	38.8	11.2	6.5	4.7	28.2	2.9
精神のみ	277	19.1	19.1	8.7	2.5	4.3	10.1
身体+知的	40	42.5	5.0	10.0	17.5	40.0	10.0
身体+精神	19	21.1	15.8	21.1	5.3	15.8	15.8
知的+精神	6	33.3	16.7	-	-	-	16.7
難病・特定疾患	378	20.9	18.0	16.9	16.1	7.9	10.8

	調査数	短期入所 (ショートステイ)を利用する	グループ ホームに入居する	その他	どうしたら良 いかわから ない	無回答
身体のみ	610	7.5	2.5	4.6	11.0	19.8
知的のみ	170	21.8	26.5	4.1	11.2	9.4
精神のみ	277	3.2	1.1	9.4	24.9	18.1
身体+知的	40	10.0	15.0	2.5	10.0	5.0
身体+精神	19	10.5	-	21.1	10.5	5.3
知的+精神	6	-	-	-	50.0	-
難病・特定疾患	378	7.7	3.4	6.3	11.4	26.5

障害の種類別にみると、「知的のみ」では「一緒に住んでいる家族に頼む」が38.8%と最も多くなっているほか、「身体のみ」では22.3%、「難病・特定疾患」では20.9%となっています。

また、「精神のみ」では「一緒に住んでいる家族に頼む」と「別に住んでいる家族に頼む」がいずれも19.1%となっています。

《主な介助・介護者別》

	調査数	一緒に住んでいる家族に頼む	別に住んでいる家族に頼む	居宅介護（ホームヘルプ）を利用する	高齢者施設（老人ホーム等）に入所する	障害者施設（障害者支援施設等）に入所する	病院に入院する
父親	80	33.8	17.5	8.8	2.5	17.5	3.8
母親	259	43.2	17.0	6.9	1.5	18.9	3.5
配偶者	374	25.7	22.7	16.3	17.6	8.3	13.6
子	158	25.3	32.9	18.4	23.4	7.6	12.7
兄弟・姉妹	69	17.4	20.3	15.9	21.7	14.5	14.5
その他親族	16	18.8	6.3	12.5	37.5	12.5	-
ホームヘルパー	87	5.7	12.6	47.1	17.2	12.6	10.3
ボランティア	6	-	-	16.7	16.7	16.7	33.3
その他	188	3.7	4.3	2.7	6.4	7.4	8.0

	調査数	短期入所（ショートステイ）を利用する	グループホームに入居する	その他	どうしたら良 いかわから ない	無回答
父親	80	13.8	11.3	7.5	13.8	11.3
母親	259	13.9	12.7	6.9	15.4	21
配偶者	374	9.9	1.6	4.0	16.3	13.9
子	158	8.2	3.8	4.4	8.2	9.5
兄弟・姉妹	69	10.1	11.6	4.3	14.5	10.1
その他親族	16	-	-	-	6.3	25.0
ホームヘルパー	87	6.9	4.6	6.9	12.6	4.6
ボランティア	6	-	-	16.7	16.7	-
その他	188	3.2	3.7	13.3	13.8	47.9

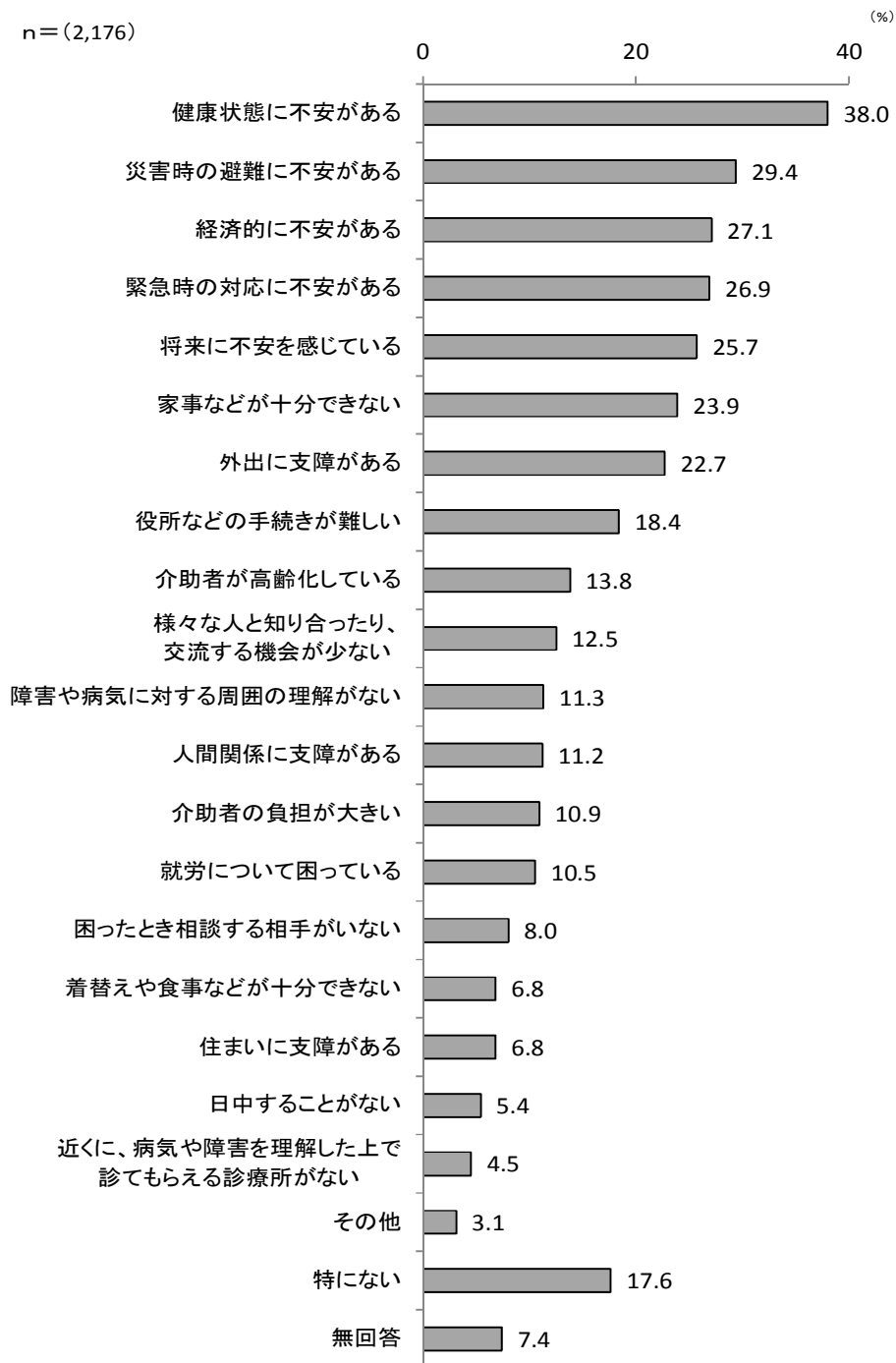
主な介助・介護者別でみると、主な介助・介護者が母親では「一緒に住んでいる家族に頼む」が43.2%と多くなっているほか、父親も33.8%となっています。

また、主な介助・介護者が子どもでは、「別に住んでいる家族に頼む」が32.9%と最も多く、次いで「一緒に住んでいる家族に頼む」が25.3%となっています。

### 3. 相談や福祉の情報について

#### (1) 日常生活で困っていること

問21 あなたには、日常生活で困っていることがありますか。(〇はいくつでも)



日常生活で困っていることをみると、「健康状態に不安がある」(38.0%)が4割近くと、特に多くなっています。

《障害の種類別》

	調査数	健康状態に不安がある	着替えや食事などが十分できない	家事などが十分できない	介助者の負担が大きい	介助者が高齢化している	外出に支障がある	住まいに支障がある	就労について困っている
身体のみ	1010	34.5	7.6	21.4	12.2	14.9	27.5	6.6	4.1
知的のみ	191	26.7	12.0	36.1	15.7	18.3	24.6	5.8	11.0
精神のみ	375	47.2	4.5	37.3	10.7	15.2	17.6	10.4	30.1
身体+知的	48	29.2	14.6	27.1	20.8	25.0	25.0	16.7	8.3
身体+精神	24	41.7	16.7	50.0	16.7	29.2	58.3	12.5	33.3
知的+精神	10	80.0	20.0	50.0	10.0	10.0	50.0	20.0	10.0
難病・特定疾患	818	44.0	7.0	19.2	10.3	11.5	21.4	4.8	7.7

	調査数	緊急時の対応に不安がある	災害時の避難に不安がある	人間関係に支障がある	障害や病気に対する周囲の理解がない	困ったとき相談する相手がいない	役所などの手続きが難しい	近くに、病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所がない	経済的に不安がある
身体のみ	1010	27.6	32.2	3.9	6.5	5.4	16.3	3.0	20.0
知的のみ	191	45.0	49.2	29.8	17.3	13.1	39.8	7.9	24.1
精神のみ	375	25.9	23.7	32.5	25.3	18.4	21.3	7.7	54.4
身体+知的	48	45.8	54.2	14.6	8.3	8.3	27.1	4.2	20.8
身体+精神	24	25.0	33.3	16.7	16.7	8.3	37.5	-	33.3
知的+精神	10	40.0	40.0	20.0	10.0	-	10.0	10.0	10.0
難病・特定疾患	818	21.1	23.7	3.3	8.9	3.9	13.1	3.5	25.2

	調査数	将来に不安を感じている	日中することがない	様々な人と知り合ったり、交流する機会が少ない	特にない	その他	無回答
身体のみ	1010	17.4	4.7	9.7	18.8	1.9	9.2
知的のみ	191	31.4	5.2	16.2	11.5	2.6	7.9
精神のみ	375	48.0	8.0	24.8	5.6	5.9	2.9
身体+知的	48	25.0	8.3	16.7	12.5	4.2	12.5
身体+精神	24	33.3	37.5	37.5	-	-	8.3
知的+精神	10	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0
難病・特定疾患	818	24.2	4.2	8.9	21.3	2.8	7.3

障害の種類別にみると、「身体のみ」では「健康状態に不安がある」が34.5%、「災害時の避難に不安がある」が32.2%と、いずれも3割強と多くなっています。

また、「知的のみ」、「身体と知的の重複障害」では、「災害時の避難に不安がある」が5割前後で最も多くなっています。

一方、「精神のみ」では、「経済的に不安がある」が54.4%と最も多く、次いで「健康状態に不安がある」が47.5%となっています。

「難病・特定疾患」では、「健康状態に不安がある」が44.0%で最も多くなっています。

《疾病・障害別》

	調査数	健康状態に不安がある	着替えや食事などが十分できない	家事などが十分できない	介助者の負担が大きい	介助者が高齢化している	外出に支障がある	住まいに支障がある	就労について困っている
難病・特定疾患	818	44.0	7.0	19.2	10.3	11.5	21.4	4.8	7.7
慢性疾患	448	43.5	8.7	25.2	16.7	18.5	31.3	8.7	6.0
統合失調症	176	47.7	3.4	40.9	9.1	19.9	22.2	8.0	26.1
気分障害	192	56.3	6.3	37.0	11.5	15.1	21.9	13.5	34.4
神経症	94	52.1	5.3	35.1	9.6	18.1	27.7	12.8	29.8
依存症	10	30.0	-	-	-	10.0	20.0	10.0	-
発達障害	149	30.9	7.4	38.3	12.1	11.4	20.8	8.7	20.8
高次脳機能障害	30	20.0	16.7	50.0	20.0	26.7	23.3	13.3	10.0
特にない	215	24.2	3.3	12.6	4.7	7.9	21.4	5.1	1.9

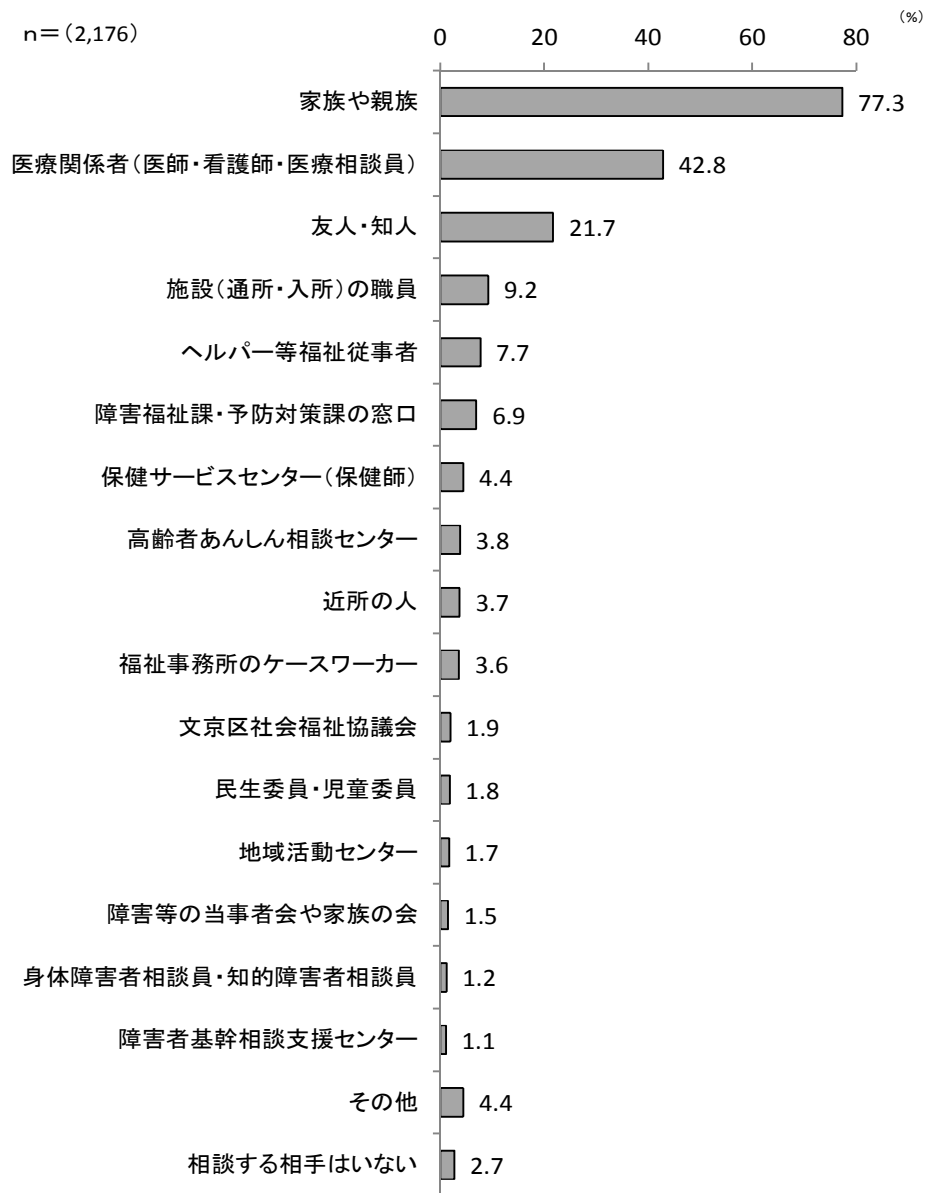
	調査数	緊急時の対応に不安がある	災害時の避難に不安がある	人間関係に支障がある	障害や病気に対する周囲の理解がない	困ったとき相談する相手がいない	役所などの手続きが難しい	近くに、病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所がない	経済的に不安がある
難病・特定疾患	818	21.1	23.7	3.3	8.9	3.9	13.1	3.5	25.2
慢性疾患	448	28.6	31.9	7.1	6.9	6.9	19.9	3.8	24.3
統合失調症	176	32.4	32.4	28.4	14.8	10.8	27.8	10.2	43.2
気分障害	192	26.0	24.5	32.3	31.8	22.4	19.8	6.8	62.0
神経症	94	24.5	28.7	34.0	26.6	18.1	26.6	8.5	54.3
依存症	10	20.0	-	30.0	20.0	30.0	-	-	10.0
発達障害	149	36.9	38.9	35.6	22.8	15.4	26.8	6.7	36.2
高次脳機能障害	30	36.7	36.7	6.7	10.0	20.0	30.0	6.7	20.0
特にない	215	27.0	28.8	3.3	5.6	4.7	13.0	1.9	14.0

	調査数	将来に不安を感じている	日中することがない	様々な人と知り合ったり、交流する機会が少ない	特にない	その他	無回答
難病・特定疾患	818	24.2	4.2	8.9	21.3	2.8	7.3
慢性疾患	448	20.8	4.7	11.2	19.4	1.3	7.8
統合失調症	176	43.8	10.2	25.6	6.3	4.0	1.7
気分障害	192	51.0	10.9	24.0	3.6	6.3	2.1
神経症	94	51.1	11.7	33.0	4.3	8.5	1.1
依存症	10	30.0	10.0	20.0	20.0	-	10.0
発達障害	149	36.9	8.1	25.5	10.7	4.7	6.7
高次脳機能障害	30	23.3	13.3	23.3	10.0	6.7	16.7
特にない	215	9.8	6.0	8.4	23.7	0.5	6.5

疾病・障害別でみると、気分障害、神経症では「健康状態に不安がある」が、それぞれ56.3%、52.1%と、他の層より高くなっています。また、気分障害、神経症では、「経済的に不安がある」も、それぞれ62.0%、54.3%と多くなっています。

## (2) 困った時の相談相手

問22 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)



困った時の相談相手を見ると、「家族や親族」が77.3%と特に多く、次いで「医療関係者(医師・看護師・医療相談員)」が42.8%、「友人・知人」が21.7%となっています。

《障害の種類別》

	調査数	家族や親族	近所の人	友人・知人	民生委員・児童委員	障害等の当事者会や家族の会	身体障害者相談員・知的障害者相談員	ヘルパー等福祉従事者
身体のみ	1010	77.7	4.7	21.6	2.0	1.1	1.0	10.3
知的のみ	191	88.0	3.7	7.9	1.0	2.6	4.7	4.2
精神のみ	375	70.7	1.9	26.9	2.1	2.7	0.5	6.1
身体+知的	48	70.8	2.1	6.3	8.3	4.2	8.3	6.3
身体+精神	24	45.8	12.5	12.5	4.2	-	8.3	16.7
知的+精神	10	30.0	30.0	30.0	10.0	-	20.0	-
難病・特定疾患	818	78.1	2.9	24.8	1.3	0.9	0.6	7.9

	調査数	施設(通所・入所)の職員	医療関係者(医師・看護師・医療相談員)	障害福祉課・予防対策課の窓口	保健サービスセンター(保健師)	障害者基幹相談支援センター	福祉事務所のケースワーカー	文京区社会福祉協議会
身体のみ	1010	3.8	38.8	6.3	1.2	0.7	3.2	2.4
知的のみ	191	37.7	24.6	18.8	1.0	3.7	2.1	3.1
精神のみ	375	14.9	61.3	8.8	16.3	2.4	8.0	1.6
身体+知的	48	41.7	29.2	10.4	-	-	6.3	4.2
身体+精神	24	4.2	45.8	8.3	20.8	4.2	12.5	-
知的+精神	10	10.0	60.0	20.0	40.0	-	30.0	20.0
難病・特定疾患	818	3.4	46.6	3.8	3.2	0.4	1.3	1.3

	調査数	地域活動センター	高齢者あんしん相談センター	相談する相手はいない	その他	無回答
身体のみ	1010	1.1	5.5	1.9	3.0	4.5
知的のみ	191	2.6	0.5	0.5	6.8	1.6
精神のみ	375	4.5	0.5	5.6	8.3	1.6
身体+知的	48	2.1	2.1	-	6.3	6.3
身体+精神	24	-	4.2	4.2	12.5	12.5
知的+精神	10	20.0	-	-	10.0	20.0
難病・特定疾患	818	0.2	3.8	3.1	3.4	3.2

障害の種類別にみると、「身体のみ」、「知的のみ」、「難病・特定疾患」では、いずれも「家族や親族」が8割前後を占めて最も多くなっています。

一方、「精神のみ」では、「家族や親族」が70.7%、「医療関係者（医師・看護師・医療相談員）」が61.3%と、いずれも6割を超えて多くなっています。



《疾病・障害別》

	調査数	家族や親族	近所の人	友人・知人	民生委員・児童委員	障害等の当事者会や家族の会	身体障害者相談員・知的障害者相談員	ヘルパー等福祉従事者
難病・特定疾患	818	78.1	2.9	24.8	1.3	0.9	0.6	7.9
慢性疾患	448	80.4	4.0	19.0	1.8	1.6	0.7	11.2
統合失調症	176	75.0	2.8	21.0	3.4	4.0	1.1	9.1
気分障害	192	63.0	0.5	33.9	1.6	1.0	1.0	7.3
神経症	94	63.8	2.1	29.8	1.1	1.1	1.1	9.6
依存症	10	40.0	-	40.0	-	-	-	10.0
知的障害	204	84.3	3.9	6.9	1.5	2.9	6.4	4.4
発達障害	149	78.5	4.0	13.4	2.0	0.7	6.0	5.4
高次脳機能障害	30	80.0	3.3	16.7	-	3.3	3.3	6.7
特にない	215	74.9	7.4	27.0	0.9	1.4	0.9	7.0
その他	103	75.7	2.9	28.2	2.9	1.9	-	12.6

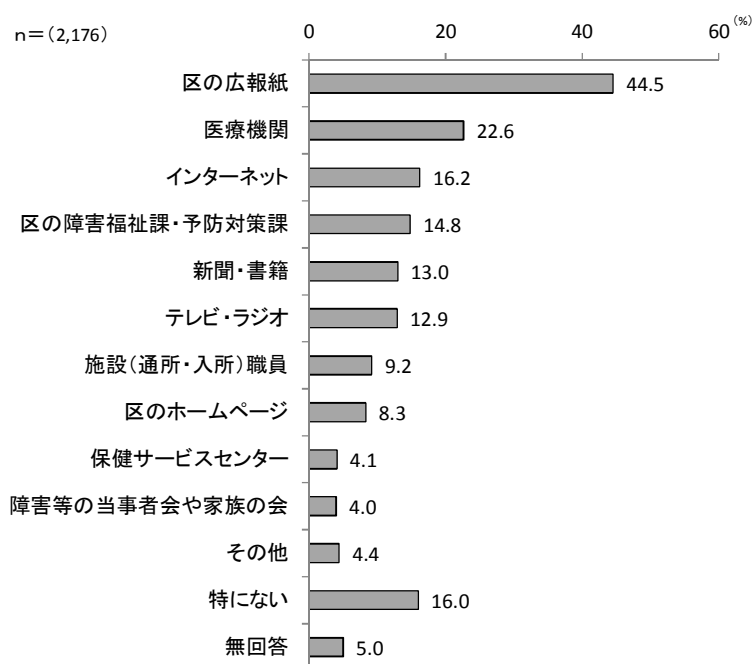
	調査数	施設(通所・入所)の職員	医療関係者(医師・看護師・医療相談員)	障害福祉課・予防対策課の窓口	保健サービスセンター(保健師)	障害者基幹相談支援センター	福祉事務所のケースワーカー	文京区社会福祉協議会
難病・特定疾患	818	3.4	46.6	3.8	3.2	0.4	1.3	1.3
慢性疾患	448	6.7	47.1	7.4	1.6	0.7	3.8	2.7
統合失調症	176	27.8	67.0	12.5	23.9	4.5	10.8	3.4
気分障害	192	7.3	58.3	5.7	12.5	2.6	13.5	2.1
神経症	94	12.8	51.1	6.4	9.6	1.1	6.4	-
依存症	10	10.0	50.0	30.0	-	-	40.0	10.0
知的障害	204	42.6	27.5	18.1	2.0	3.4	4.9	3.9
発達障害	149	21.5	40.9	17.4	8.1	3.4	5.4	4.7
高次脳機能障害	30	13.3	46.7	6.7	-	-	6.7	3.3
特にない	215	2.3	24.7	7.4	0.9	0.5	1.9	1.9
その他	103	15.5	44.7	8.7	8.7	1.0	2.9	1.0

	調査数	地域活動センター	高齢者あんしん相談センター	相談する相手はいない	その他	無回答
難病・特定疾患	818	0.2	3.8	3.1	3.4	3.2
慢性疾患	448	1.1	6.3	1.1	2.2	2.7
統合失調症	176	7.4	0.6	1.1	4.0	2.3
気分障害	192	2.6	0.5	8.3	8.9	2.1
神経症	94	2.1	1.1	7.4	8.5	2.1
依存症	10	-	-	-	20.0	-
知的障害	204	3.9	1.5	0.5	6.4	0.5
発達障害	149	2.7	0.7	3.4	13.4	3.4
高次脳機能障害	30	3.3	-	3.3	-	10.0
特にない	215	1.9	4.2	2.8	3.7	3.3
その他	103	2.9	2.9	2.9	8.7	1.0

疾患・障害別でみると、難病、慢性疾患、知的障害、発達障害、高次脳機能障害では、いずれも「家族や親族」が8割前後と多くなっています。一方、統合失調症では、「医療関係者（医師・看護師・医療相談員）」が67.0%と多くなっているほか、気分障害、神経症、依存症でも5割を超えています。

### (3) 福祉に関する情報の入手先

問23 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)



福祉の情報の入手先をみると、「区の広報紙」が44.5%でもっとも多く、次いで「医療機関」の22.6%となっています。

#### 《障害の種類別》

	調査数	区の広報紙	区のホームページ	区の障害福祉課・予防対策課	保健サービスセンター	施設(通所・入所)職員	テレビ・ラジオ	インターネット
身体のみ	1010	<b>51.8</b>	7.7	14.5	1.9	4.5	15.7	12.7
知的のみ	191	<b>43.5</b>	4.2	29.8	1.6	<b>35.6</b>	9.4	6.3
精神のみ	375	<b>30.1</b>	8.3	18.1	12.0	13.6	9.6	24.0
身体+知的	48	<b>33.3</b>	8.3	20.8	2.1	<b>31.3</b>	8.3	8.3
身体+精神	24	12.5	-	12.5	12.5	<b>20.8</b>	8.3	4.2
知的+精神	10	<b>30.0</b>	-	20.0	20.0	10.0	20.0	-
難病・特定疾患	818	<b>45.5</b>	10.0	9.8	4.0	4.3	12.1	20.5

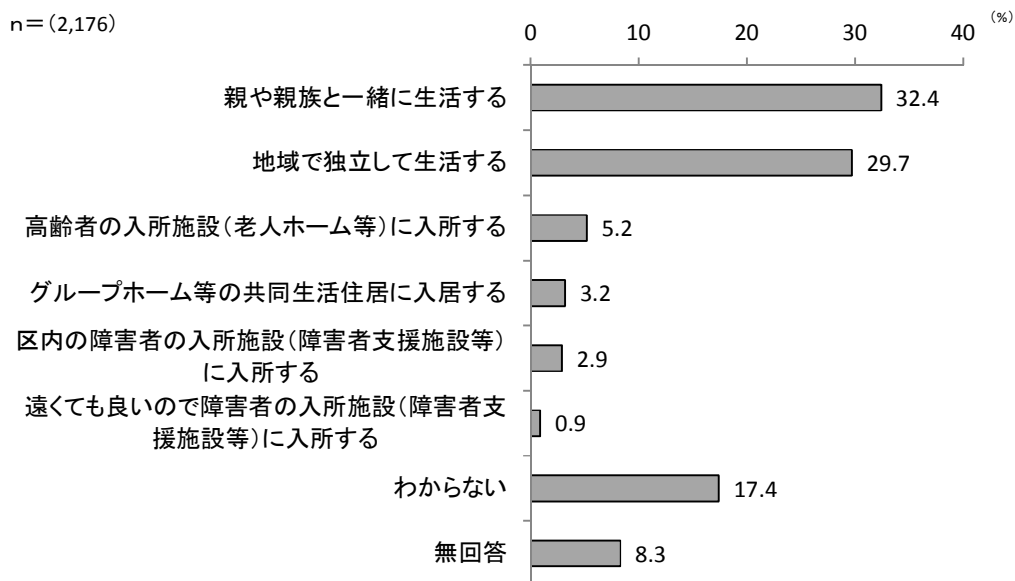
	調査数	新聞・書籍	障害等の当事者会や家族の会	医療機関	特にない	その他	無回答
身体のみ	1010	16.3	2.7	<b>19.1</b>	15.2	3.6	5.8
知的のみ	191	4.7	10.5	4.2	13.6	5.8	5.8
精神のみ	375	9.3	5.1	<b>34.9</b>	16.5	7.2	4.0
身体+知的	48	4.2	20.8	10.4	10.4	16.7	10.4
身体+精神	24	4.2	4.2	<b>29.2</b>	20.8	4.2	8.3
知的+精神	10	-	-	10.0	-	20.0	20.0
難病・特定疾患	818	13.9	2.2	<b>26.3</b>	16.0	2.8	4.0

障害の種類別にみると、「身体のみ」で「区の広報紙」が51.8%と最も多くなっているほか、「難病・特定疾患」でも45.5%と多くなっています。また、「知的のみ」では「区の広報紙」(43.5%)に次いで、「施設(通所・入所)職員」が35.6%と多くなっています。

一方、「精神のみ」では「医療機関」が34.9%と最も多くなっています。

#### (4) 今後希望する生活

問24 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(〇はひとつ)



今後希望する生活についてみると、「親や親族と一緒に生活する」が32.4%、「地域で独立して生活する」が29.7%で3割前後と多くなっています。

#### 《障害の種類別》

	調査数	地域で独立して生活する	親や親族と一緒に生活する	グループホーム等の共同生活住居に入居する	区内の障害者の入所施設(障害者支援施設等)に入所する	遠くても良いので障害者の入所施設(障害者支援施設等)に入所する	高齢者の入所施設(老人ホーム等)に入所する
身体のみ	1010	29.7	30.2	1.7	3.4	0.7	7.3
知的のみ	191	8.4	34.6	20.9	8.4	2.6	1.0
精神のみ	375	39.7	32.8	1.1	0.8	0.5	1.9
身体+知的	48	4.2	39.6	6.3	16.7	2.1	2.1
身体+精神	24	20.8	8.3	-	4.2	16.7	8.3
知的+精神	10	40.0	20.0	-	-	10.0	10.0
難病・特定疾患	818	32.4	35.0	1.2	1.6	0.5	5.0

	調査数	わからない	無回答
身体のみ	1010	16.9	10.1
知的のみ	191	19.4	4.7
精神のみ	375	20.3	2.9
身体+知的	48	10.4	18.8
身体+精神	24	20.8	20.8
知的+精神	10	-	20.0
難病・特定疾患	818	14.9	9.4

障害の種類別にみると、「身体のみ」、「精神のみ」、「難病・特定疾患」では、「地域で独立して生活する」と「親や親族と一緒に生活する」が多くなっています。

一方、「知的のみ」、「身体と知的の重複障害」では、「親や親族と生活する」がそれぞれ34.6%、39.6%で最も多く、次いで「グループホーム等の共同生活住居に入居する」となっています。

《疾病・障害別》

	調査数	地域で独立して生活する	親や親族と一緒に生活する	グループホーム等の共同生活住居に入居する	区内の障害者の入所施設(障害者支援施設等)に入所する	遠くても良いので障害者の入所施設(障害者支援施設等)に入所する	高齢者の入所施設(老人ホーム等)に入所する
難病・特定疾患	818	32.4	35.0	1.2	1.6	0.5	5.0
慢性疾患	448	24.1	31.7	2.2	3.8	0.9	10.5
統合失調症	176	38.1	33.0	2.8	1.1	2.3	1.1
気分障害	192	42.7	30.7	1.0	1.6	-	1.0
神経症	94	33.0	28.7	3.2	1.1	2.1	4.3
依存症	10	20.0	40.0	-	-	-	-
知的障害	204	6.4	34.8	18.1	11.3	2.9	1.5
発達障害	149	26.8	30.2	11.4	3.4	2.0	2.7
特にない	215	35.8	29.8	0.5	2.8	-	4.2
その他	103	26.2	28.2	3.9	3.9	2.9	3.9

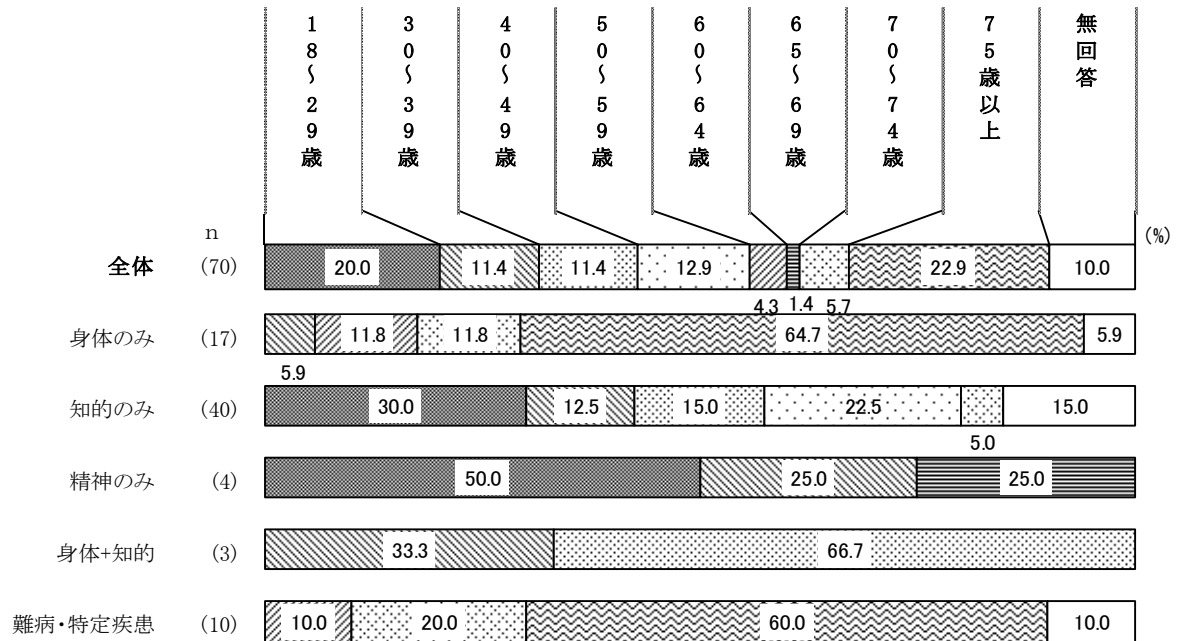
	調査数	わからない	無回答
難病・特定疾患	818	14.9	9.4
慢性疾患	448	17.9	8.9
統合失調症	176	18.2	3.4
気分障害	192	20.8	2.1
神経症	94	23.4	4.3
依存症	10	40.0	-
知的障害	204	18.6	6.4
発達障害	149	16.1	7.4
特にない	215	19.5	7.4
その他	103	22.3	8.7

疾病・障害別で見ると、統合失調症・気分障害では、「地域で独立して生活する」がそれぞれ38.1%、42.7%と、他の層より多くなっています。

(5) 共同生活住居への入居希望年齢

問25 問24で「3 グループホーム等の共同生活住居に入居する」と回答された方にお聞きします。

あなたは、グループホームへは何歳ぐらいで入居したいと思いますか。(〇はひとつ)



「グループホーム等の共同生活住居に入居する」と回答した人に、入居希望年齢を訊いたところ、「75歳以上」と「18~29歳」が比較的多くなっています。

障害の種類別にみると、「身体のみ」では、「75歳以上」が64.7%、「知的のみ」では「18~29歳」が30.0%で、それぞれ最も多くなっています。

《年齢別》

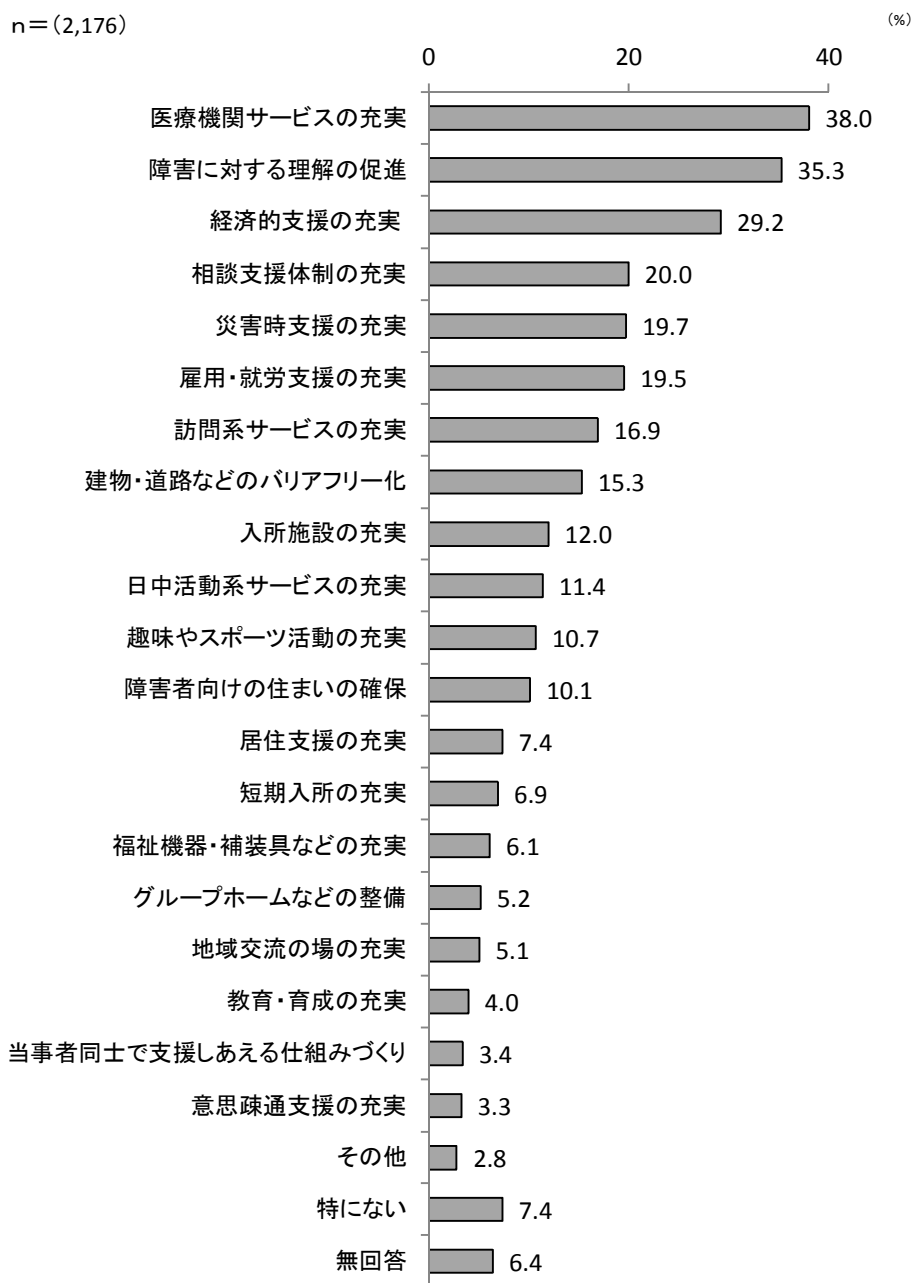
	調査数	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳
18~29歳	24	50.0	20.8	12.5	4.2	-	-
30~39歳	10	10.0	30.0	40.0	10.0	-	-
40~49歳	9	11.1	-	11.1	33.3	22.2	11.1
50~59歳	5	-	-	-	80.0	-	-
60~69歳	3	-	-	-	-	-	-
70~79歳	11	-	-	-	-	-	-
80歳以上	8	-	-	-	-	12.5	-

	調査数	70~74歳	75歳以上	無回答
18~29歳	24	-	-	12.5
30~39歳	10	-	-	10.0
40~49歳	9	-	-	11.1
50~59歳	5	-	-	20.0
60~69歳	3	33.3	33.3	33.3
70~79歳	11	27.3	72.7	-

年齢別にみると、大半が現在の年齢に近い年代でグループホームへの入居を希望しています。18~29歳では現在の年齢で入居したい人が半数となっています。

## (6) 地域で安心して暮らしていくために必要な施策

問26 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は5つまで)



地域で安心して暮らすために必要な施策をみると、「医療機関サービスの充実」が38.0%で最も多く、次いで「障害に対する理解の促進」が35.3%となっています。

《障害の種類別》

	調査数	障害に対する理解の促進	医療機関サービスの充実	教育・育成の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	訪問系サービス(居宅介護・重度訪問介護、同行援護等)の充実	日中活動系サービス(生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援等)の充実	短期入所の充実
身体のみ	1010	30.8	37.9	2.9	8.7	16.9	21.1	7.8	7.5
知的のみ	191	50.3	25.1	3.1	28.8	30.4	8.9	26.7	16.2
精神のみ	375	54.1	34.7	7.2	42.9	27.7	7.7	17.3	2.7
身体+知的	48	35.4	18.8	4.2	10.4	16.7	16.7	12.5	16.7
身体+精神	24	45.8	29.2	-	12.5	12.5	25.0	12.5	-
知的+精神	10	40.0	40.0	-	10.0	30.0	40.0	30.0	-
難病・特定疾患	818	29.1	45.7	4.2	18.1	18.5	18.1	8.4	6.0

	調査数	意思疎通支援の充実	福祉機器・補装具などの充実	グループホームなどの整備	入所施設(障害者支援施設等)の充実	障害者向けの住まいの確保	居住支援の充実(住まい探しなど)	建物・道路などのバリアフリー化	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり
身体のみ	1010	2.5	9.9	3.3	12.7	10.4	6.6	22.5	2.2
知的のみ	191	8.9	1.6	23.6	29.8	13.1	7.9	3.7	0.5
精神のみ	375	5.1	0.8	2.7	4.5	13.9	11.7	2.9	5.3
身体+知的	48	2.1	6.3	12.5	37.5	14.6	6.3	18.8	8.3
身体+精神	24	4.2	12.5	4.2	8.3	4.2	4.2	8.3	4.2
知的+精神	10	10.0	10.0	10.0	-	10.0	-	-	-
難病・特定疾患	818	1.5	5.0	3.1	10.5	7.5	5.6	18.7	3.9

	調査数	趣味やスポーツ活動の充実	経済的支援の充実	災害時支援の充実	地域交流の場の充実	特になし	その他	無回答
身体のみ	1010	9.6	21.9	22.7	4.7	8.4	2.3	8.1
知的のみ	191	17.8	23.0	17.8	2.1	4.7	1.6	5.2
精神のみ	375	14.1	50.4	15.2	6.1	3.5	4.5	4.3
身体+知的	48	6.3	18.8	16.7	2.1	4.2	2.1	12.5
身体+精神	24	4.2	20.8	16.7	-	12.5	4.2	16.7
知的+精神	10	-	-	20.0	-	20.0	-	20.0
難病・特定疾患	818	7.3	29.6	19.3	6.2	8.8	2.8	4.6

障害の種類別にみると、「身体のみ」では「医療機関サービスの充実」が37.9%で最も多く、次いで「障害に対する理解の促進」が30.8%、「災害時支援の充実」が22.7%となっています。

「知的のみ」では、「障害に対する理解」が50.3%と最も多く、次いで「相談支援体制の充実」が30.4%、「入所施設(障害者支援施設等)の充実」が29.8%となっています。

「精神のみ」では、「障害に対する理解の促進」が54.1%と最も多く、次いで「経済的支援の充実」が50.4%、「雇用・就労支援の充実」が42.9%となっています。

「難病・特定疾患」では、「医療機関サービスの充実」が45.7%と最も多く、次いで「経済的支援の充実」が29.6%、「障害に対する理解の促進」が29.1%となっています。

《疾病・障害別》

	調査数	障害に対する理解の促進	医療機関サービスの充実	教育・育成の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	訪問系サービス(居宅介護・重度訪問介護、同行援護等)の充実	日中活動系サービス(生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援等)の充実	短期入所の充実
難病・特定疾患	818	29.1	45.7	4.2	18.1	18.5	18.1	8.4	6.0
慢性疾患	448	28.3	40.6	2.7	9.2	18.5	21.4	8.7	8.7
統合失調症	176	52.3	36.4	5.1	37.5	20.5	12.5	19.3	2.8
気分障害	192	53.1	35.4	7.8	42.7	31.3	9.9	19.3	1.6
神経症	94	51.1	36.2	6.4	39.4	35.1	8.5	18.1	1.1
依存症	10	40.0	20.0	10.0	30.0	20.0	-	10.0	10.0
知的障害	204	48.5	25.0	2.9	25.5	29.4	11.3	26.0	16.7
発達障害	149	54.4	24.8	6.7	38.9	34.2	10.7	26.2	9.4
高次脳機能障害	30	40.0	36.7	3.3	10.0	30.0	26.7	26.7	10.0
特にない	215	35.3	30.2	3.3	7.4	13.5	19.5	7.4	5.6
その他	103	48.5	37.9	6.8	25.2	20.4	18.4	15.5	8.7

	調査数	意思疎通支援の充実	福祉機器・補装具などの充実	グループホームなどの整備	入所施設(障害者支援施設等)の充実	障害者向けの住まいの確保	居住支援の充実(住まい探しなど)	建物・道路などのバリアフリー化	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり
難病・特定疾患	818	1.5	5.0	3.1	10.5	7.5	5.6	18.7	3.9
慢性疾患	448	2.2	8.5	4.5	12.9	8.7	7.6	18.8	1.3
統合失調症	176	5.1	1.7	4.0	8.0	13.6	8.5	4.0	3.4
気分障害	192	4.7	2.6	1.6	2.1	13.0	12.5	7.3	4.2
神経症	94	6.4	1.1	2.1	4.3	11.7	10.6	4.3	8.5
依存症	10	-	-	-	-	10.0	-	10.0	10.0
知的障害	204	8.8	2.0	24.5	34.3	15.7	5.9	5.9	2.0
発達障害	149	8.7	1.3	12.1	21.5	16.1	14.1	4.0	2.0
高次脳機能障害	30	-	3.3	16.7	30.0	6.7	3.3	10.0	13.3
特にない	215	3.3	13.5	1.4	9.3	8.8	8.8	27.0	4.2
その他	103	4.9	6.8	7.8	13.6	14.6	5.8	16.5	2.9

	調査数	趣味やスポーツ活動の充実	経済的支援の充実	災害時支援の充実	地域交流の場の充実	特にない	その他	無回答
難病・特定疾患	818	7.3	29.6	19.3	6.2	8.8	2.8	4.6
慢性疾患	448	9.6	23.9	22.5	6.0	8.5	2.2	6.7
統合失調症	176	14.8	39.8	21.6	6.3	5.1	2.8	4.5
気分障害	192	12.0	52.1	13.0	4.2	3.1	5.7	3.6
神経症	94	8.5	42.6	16.0	4.3	6.4	6.4	7.4
依存症	10	-	30.0	-	20.0	20.0	10.0	10.0
知的障害	204	14.7	23.5	18.1	2.0	2.9	2.5	5.9
発達障害	149	19.5	32.2	10.7	4.7	4.7	2.0	4.7
高次脳機能障害	30	10.0	23.3	6.7	10.0	3.3	-	6.7
特にない	215	12.6	23.3	24.2	4.7	10.7	2.8	5.6
その他	103	9.7	36.9	18.4	7.8	2.9	4.9	5.8

疾病・障害別でみると、難病・特定疾患では「医療機関サービスの充実」が45.7%と多くなっているほか、慢性疾患でも40.6%と4割を超えています。

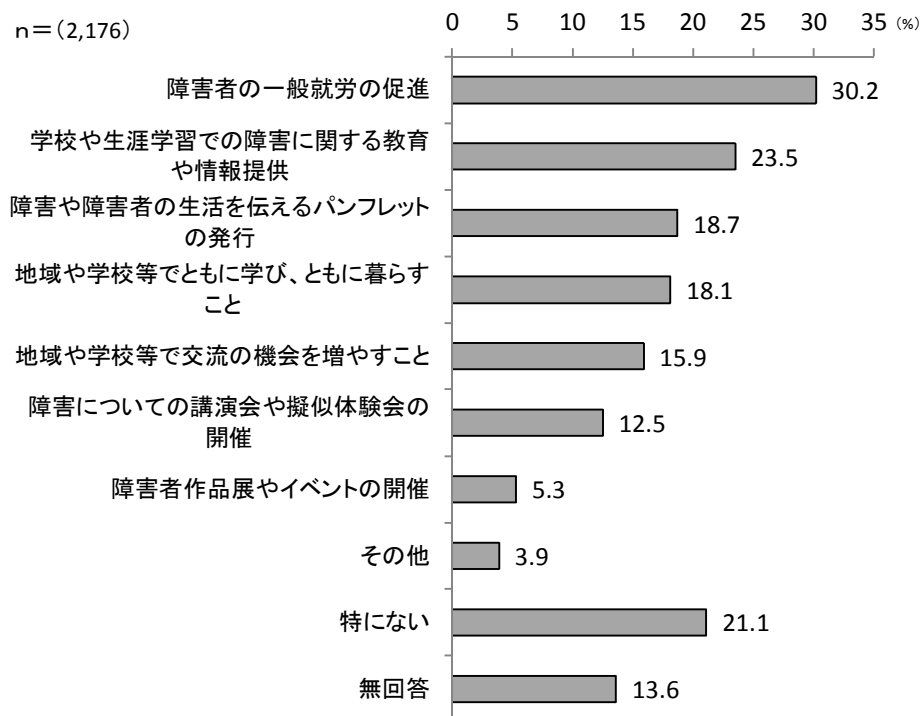
一方、統合失調症、気分障害、神経症、発達障害では、いずれも「障害に対する理解の促進」が5割を超えて他の層より高くなっています。

また、気分障害では「経済的支援の充実」が52.1%と多くなっているほか、神経症でも42.6%となっています。



## (7) 「こころのバリアフリー」のために力を入れるべきこと

問27 あなたは、区が「こころのバリアフリー」進めていくためにどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)



こころのバリアフリーの推進のために力を入れるべきこととしては、「障害者の一般就労の促進」が30.2%で最も多く、「学校や生涯が学習での障害に関する教育や情報の提供」が23.5%でこれに次いでいます。

《障害の種類別》

	調査数	障害者の一般就労の促進	学校や生涯学習での障害に関する教育や情報提供	障害や障害者の生活を伝えるパンフレットの発行	地域や学校等でともに暮らすこと	地域や学校等で交流の機会を増やすこと	障害についての講演会や疑似体験会の開催
身体のみ	1010	20.5	<b>21.0</b>	19.7	14.3	12.9	12.3
知的のみ	191	<b>39.8</b>	25.7	20.4	<b>29.8</b>	24.1	12.0
精神のみ	375	<b>52.3</b>	<b>24.0</b>	22.7	16.3	13.1	16.0
身体+知的	48	18.8	16.7	20.8	20.8	20.8	10.4
身体+精神	24	<b>16.7</b>	8.3	4.2	-	8.3	8.3
知的+精神	10	<b>30.0</b>	10.0	10.0	20.0	10.0	-
難病・特定疾患	818	<b>30.1</b>	<b>26.0</b>	16.3	20.9	17.4	12.1

	調査数	障害者作品展やイベントの開催	その他	特になし	無回答
身体のみ	1010	3.9	3.0	<b>25.7</b>	16.8
知的のみ	191	13.6	3.7	13.1	10.5
精神のみ	375	6.4	6.7	13.1	8.0
身体+知的	48	<b>22.9</b>	18.8	2.1	18.8
身体+精神	24	16.7	<b>29.2</b>	8.3	29.2
知的+精神	10	-	<b>40.0</b>	-	20.0
難病・特定疾患	818	3.3	4.2	20.9	12.2

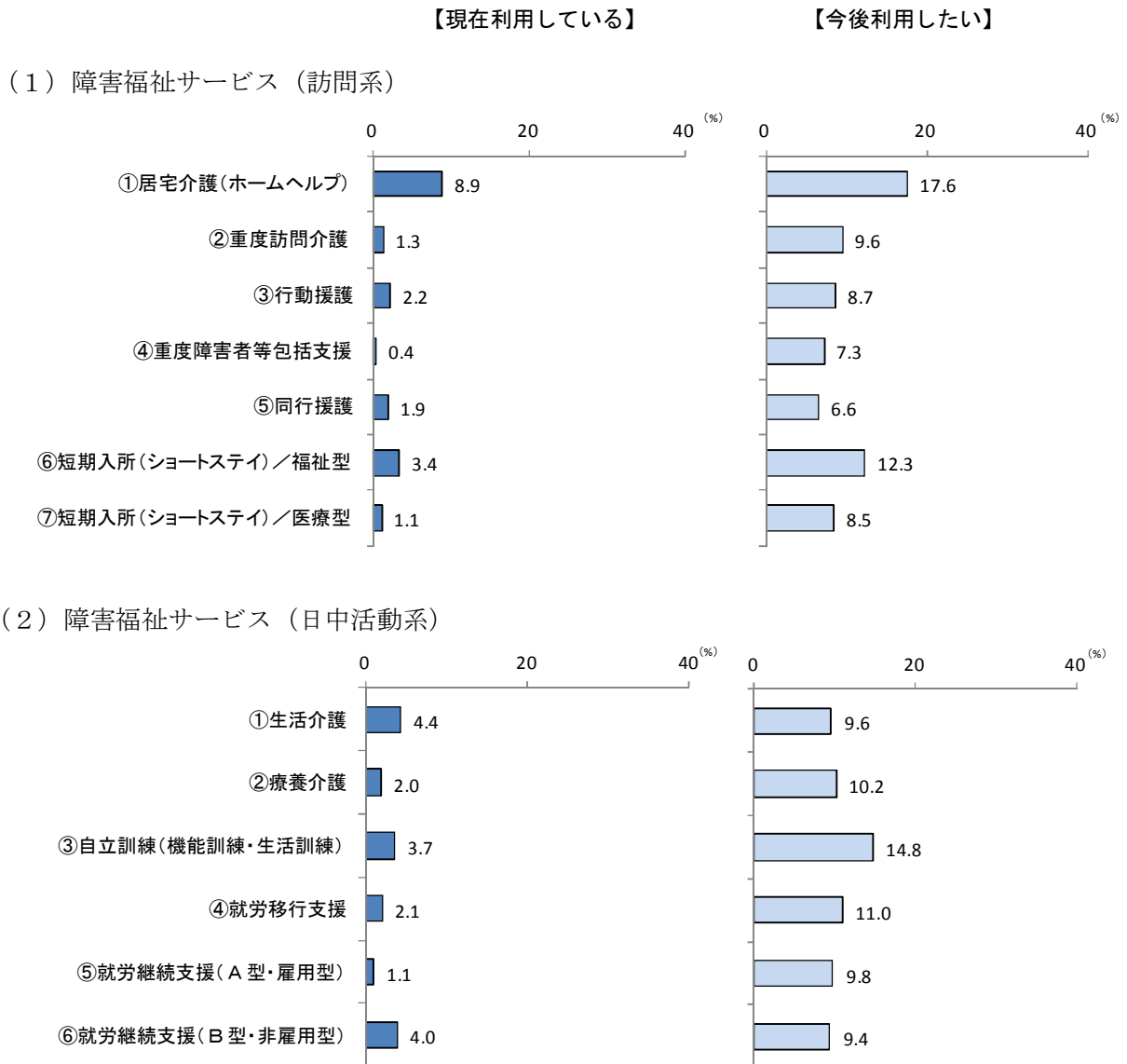
障害の種類別にみると、「身体のみ」では、「学校や生涯が学習での障害に関する教育や情報の提供」、「障害者の一般就労の促進」「障害や障害者の生活を伝えるパンフレットの発行」が、それぞれ21.0%、20.5%、19.7%と2割前後となっています。

一方、「精神のみ」で「障害者の一般就労の促進」は52.3%を占めているほか、「知的のみ」で39.8%、「難病・特定疾患」で30.1%となっています。

## 4. 福祉サービスについて

### (1) サービス利用状況・利用意向

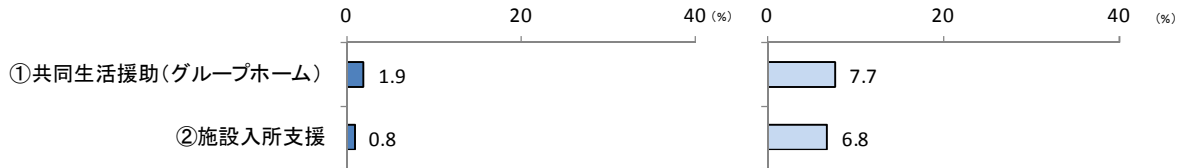
問28 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いませんか。既に利用しており、今後も利用したい方は「1」、「2」両方に○をつけてください。現在利用していない方は、「2」、「3」、「4」から1つ○をつけてください。



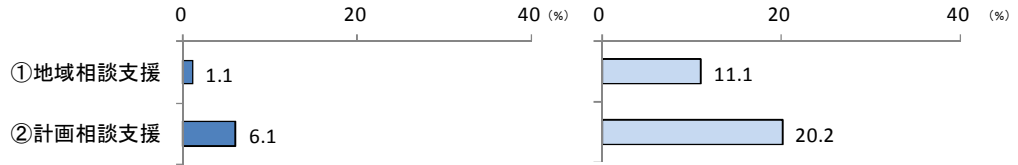
【現在利用している】

【今後利用したい】

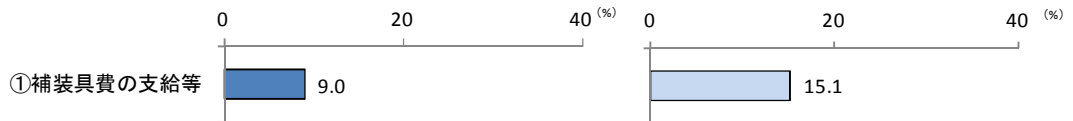
(3) 障害福祉サービス（居住系）



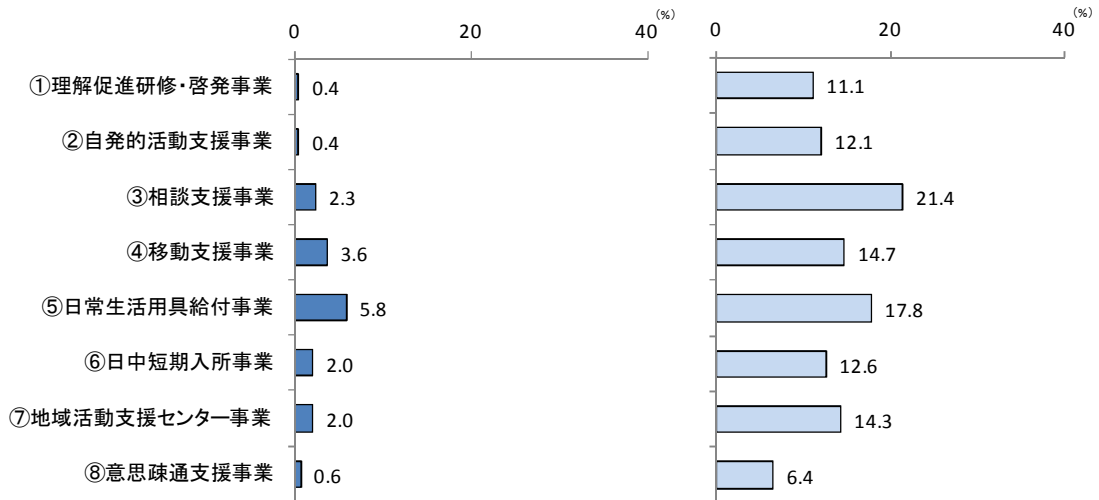
(4) 相談支援



(5) 補装具費の支給等



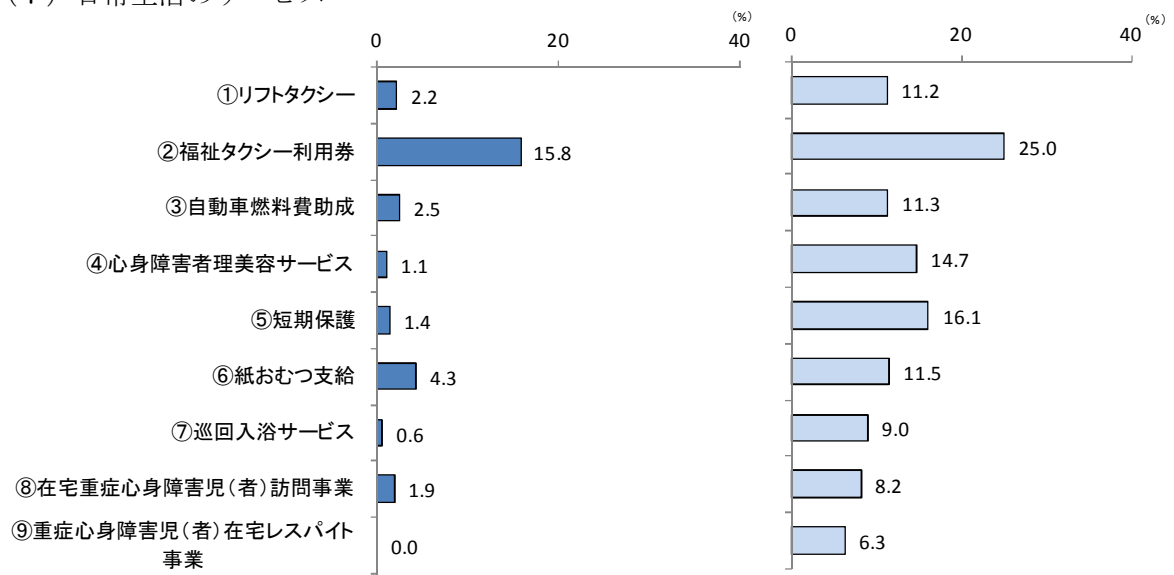
(6) 地域生活支援事業



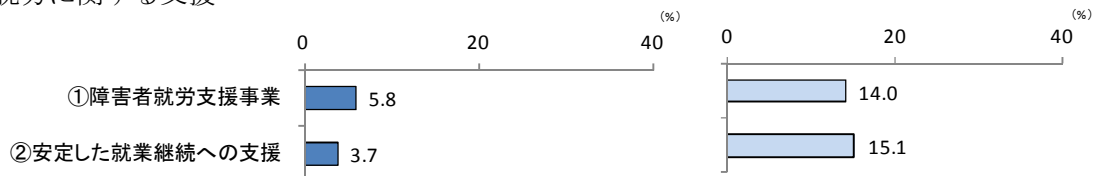
【現在利用している】

【今後利用したい】

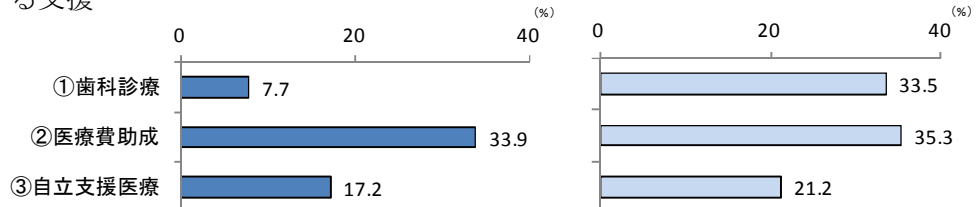
(7) 日常生活のサービス



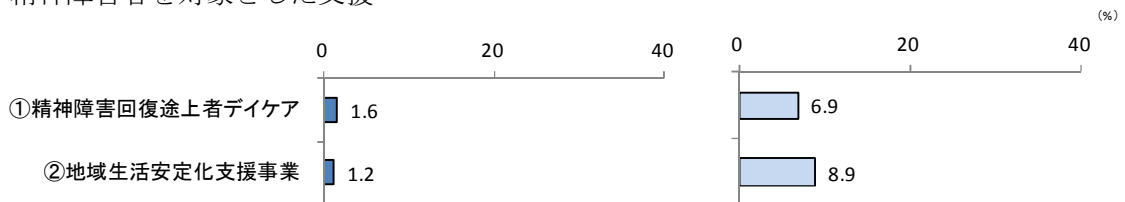
(8) 就労に関する支援



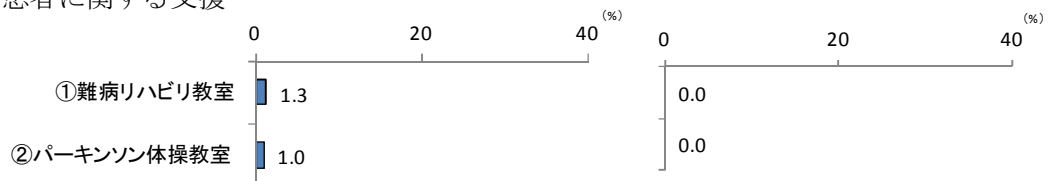
(9) 医療に関する支援

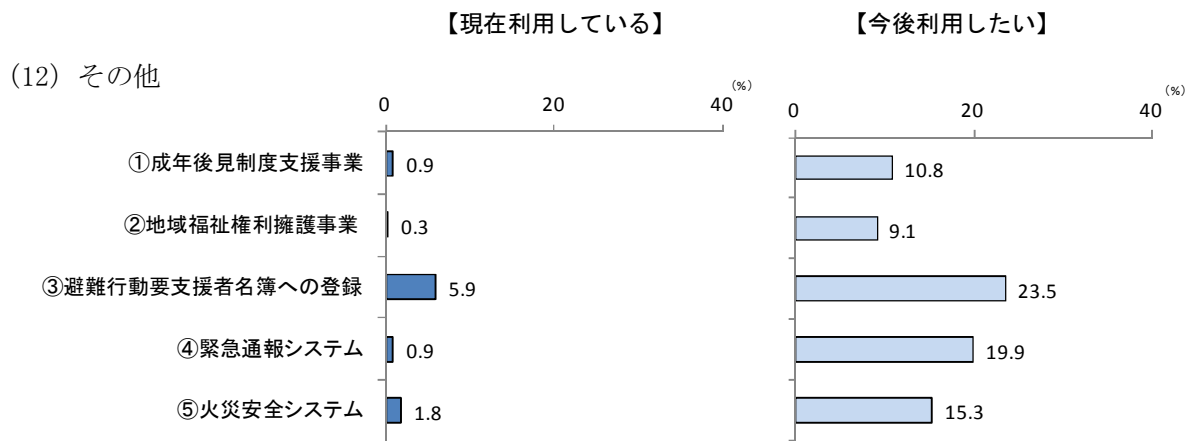


(10) 精神障害者を対象とした支援



(11) 難病患者に関する支援





最も利用率が高い福祉サービスは、「医療費助成」で33.9%となっており、次いで「自立支援医療」が17.2%、「福祉タクシー利用券」が15.8%となっています。

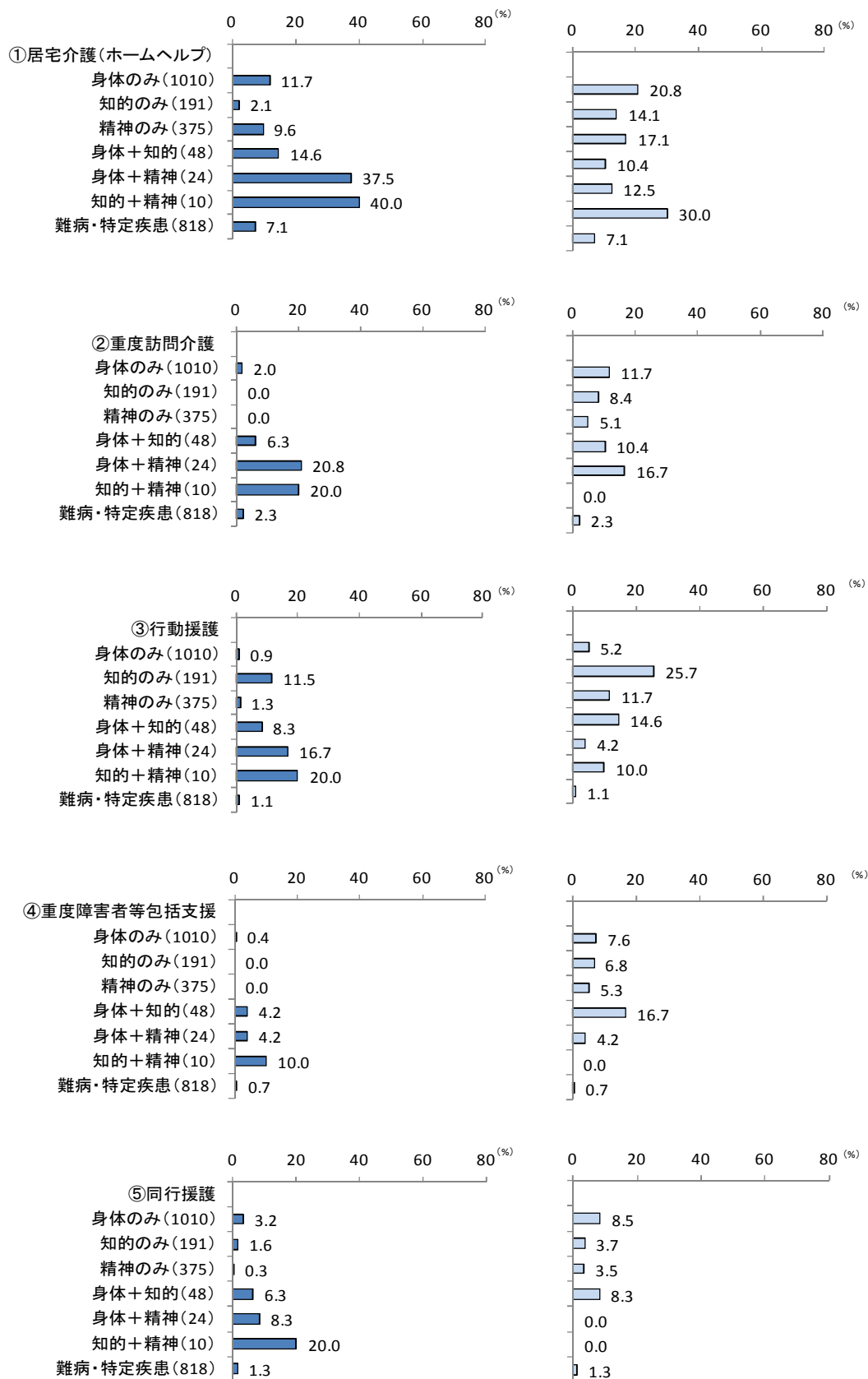
今後の利用意向が最も高い福祉サービスは、「医療費助成」で35.3%となっており、次いで「歯科診療」の33.5%となっています。

《障害の種類別》

【現在利用している】

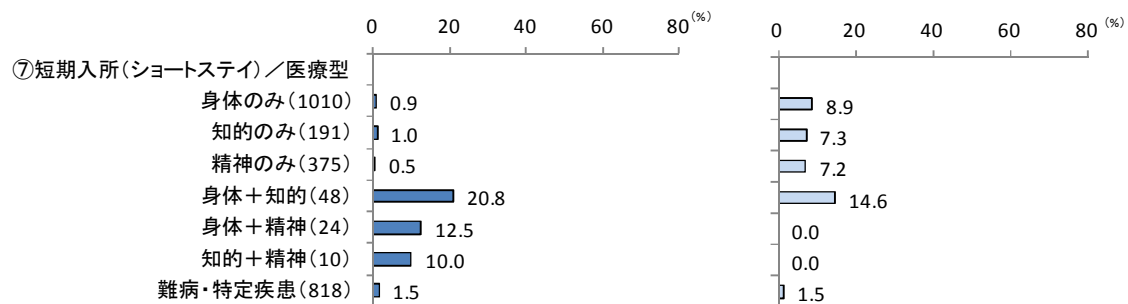
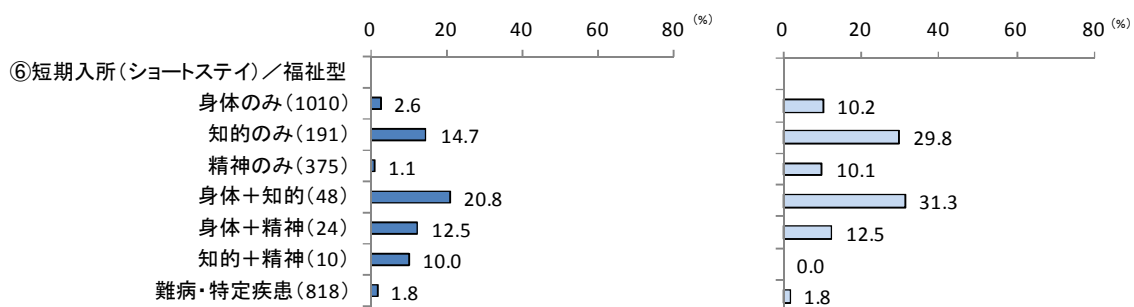
【今後利用したい】

(1) 障害福祉サービス（訪問系）

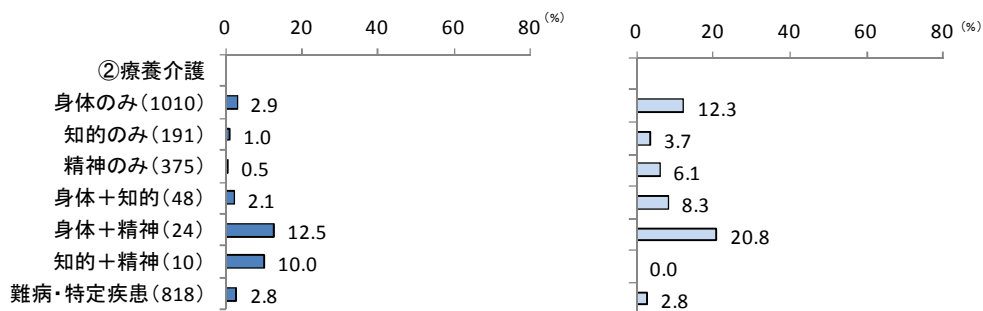
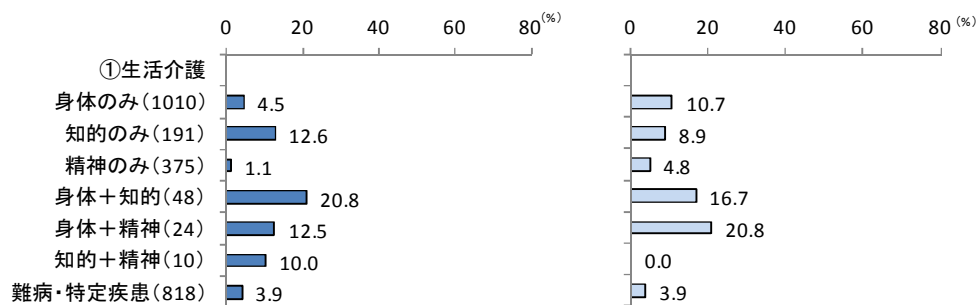


【現在利用している】

【今後利用したい】



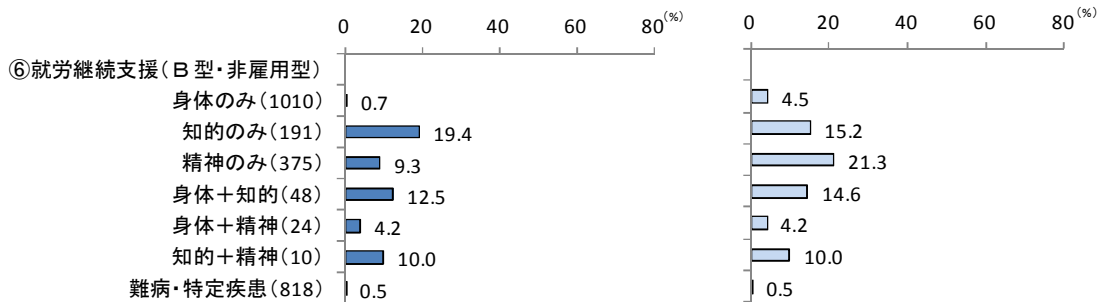
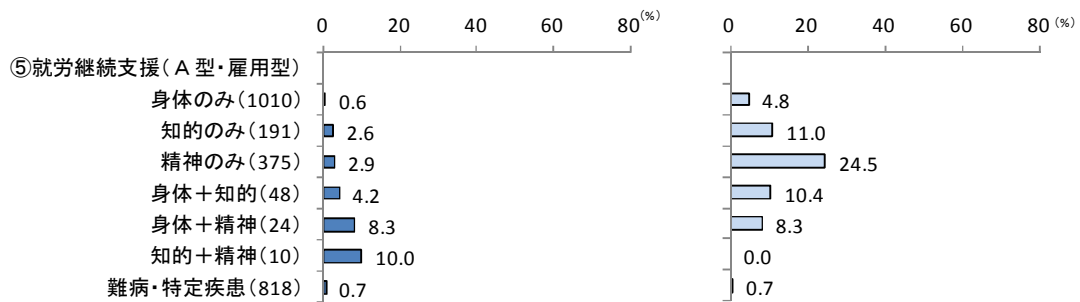
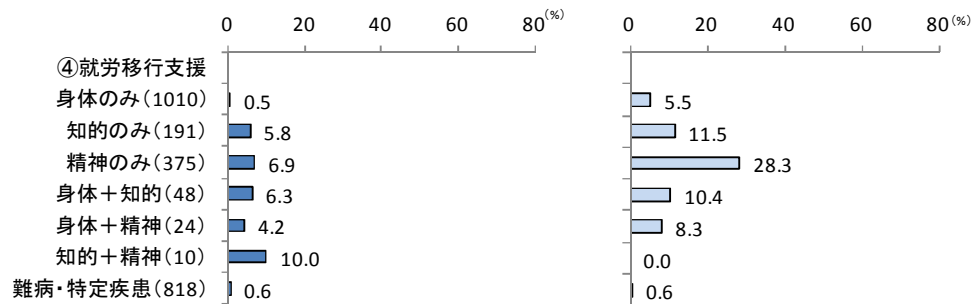
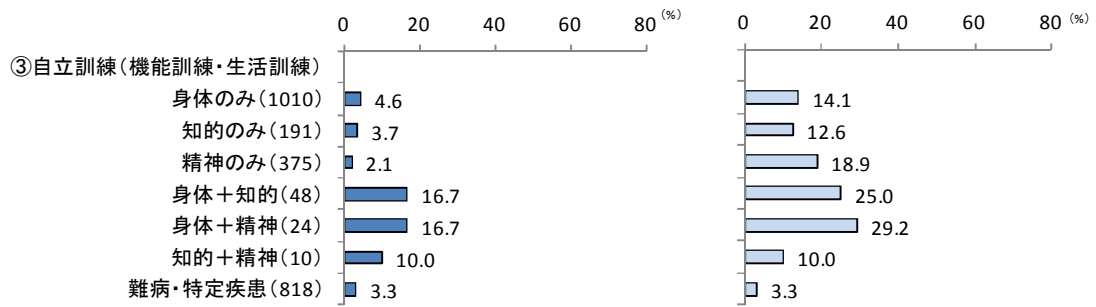
## (2) 障害福祉サービス（日中活動系）





【現在利用している】

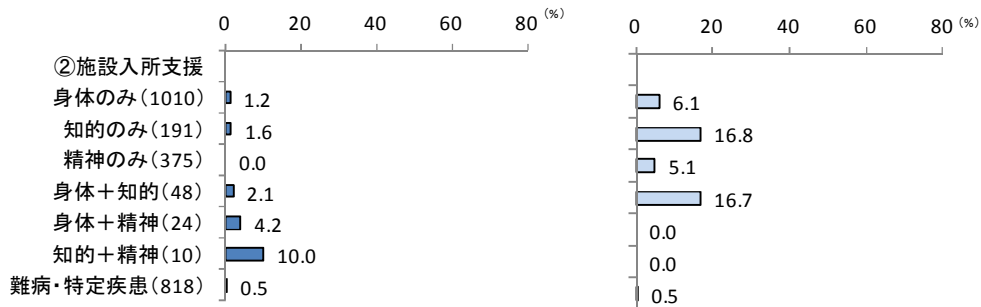
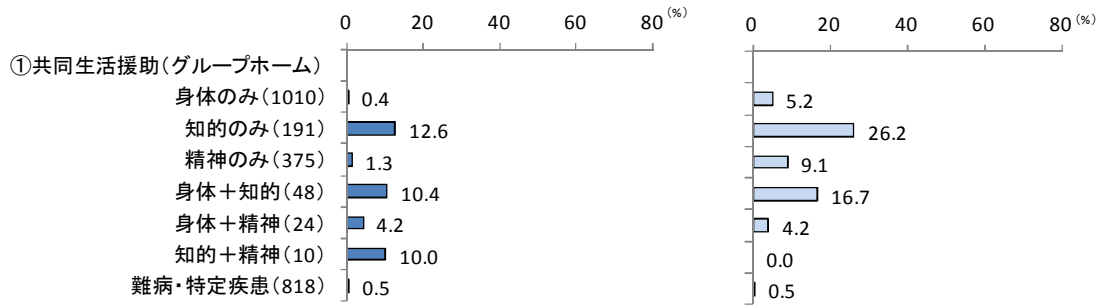
【今後利用したい】



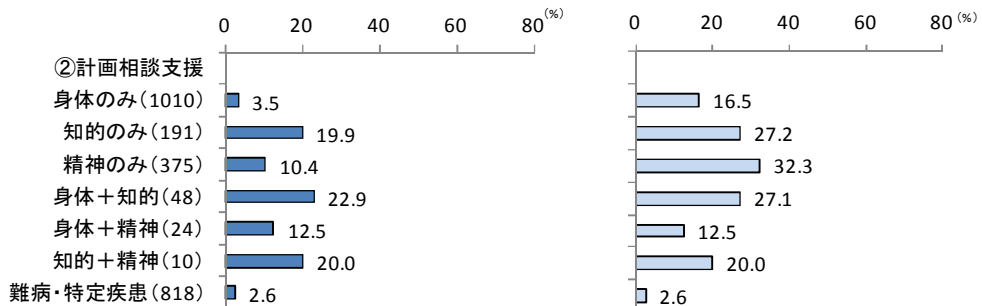
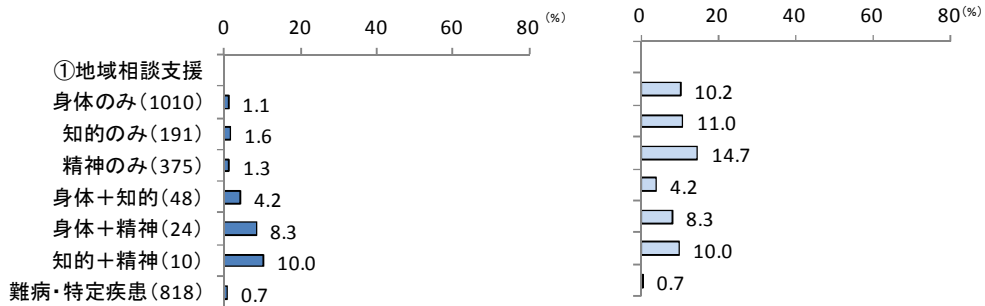
【現在利用している】

【今後利用したい】

(3) 障害福祉サービス（居住系）



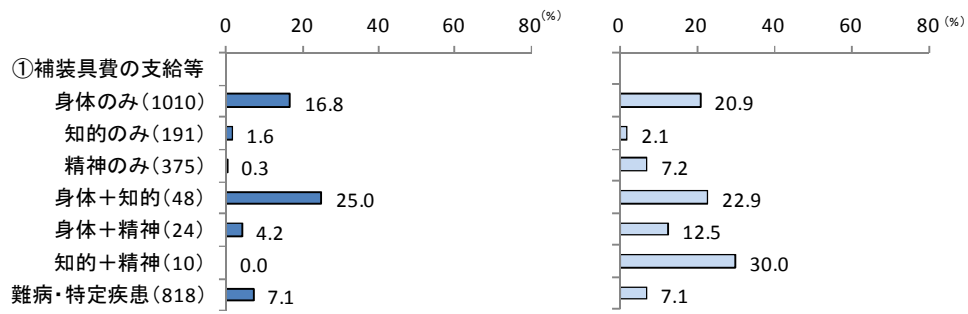
(4) 相談支援



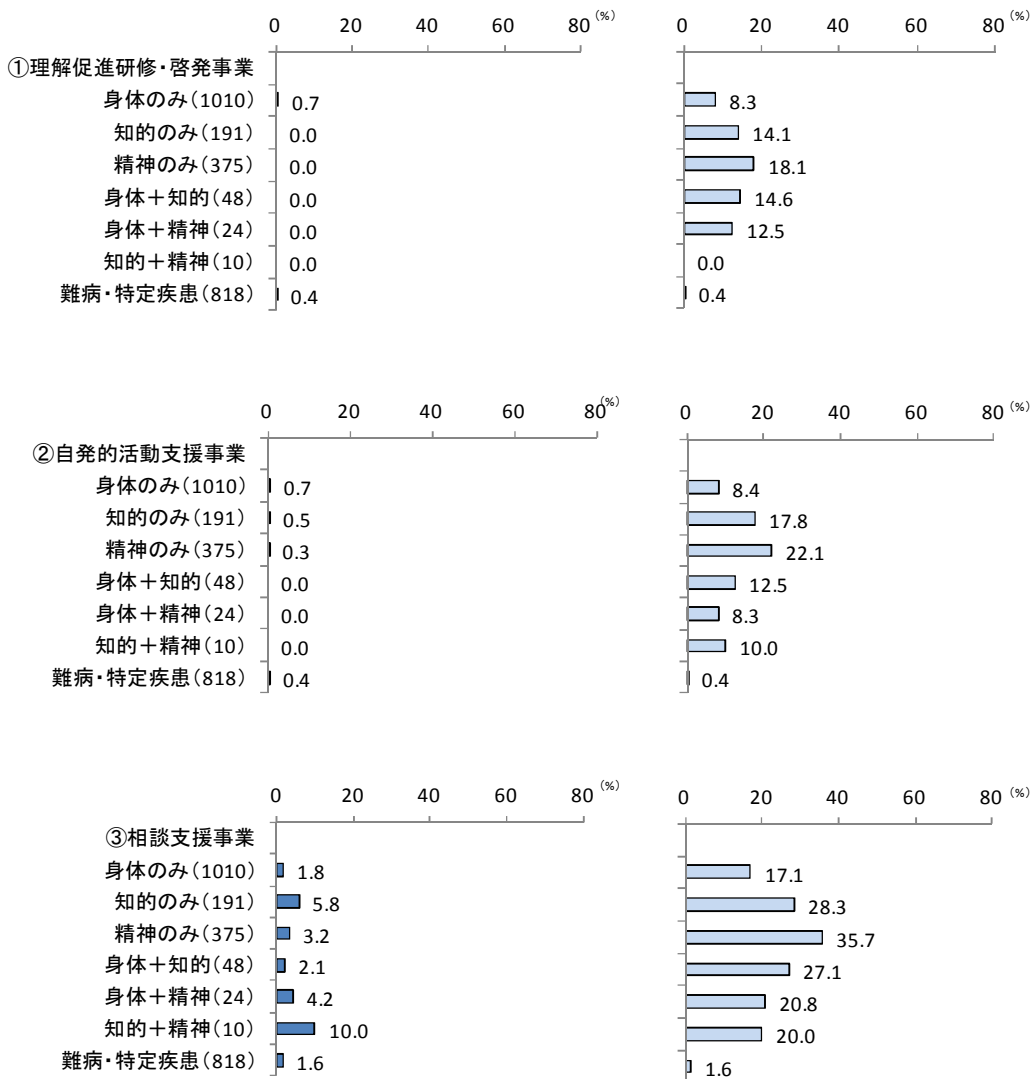
【現在利用している】

【今後利用したい】

(5) 補装具費の支給等

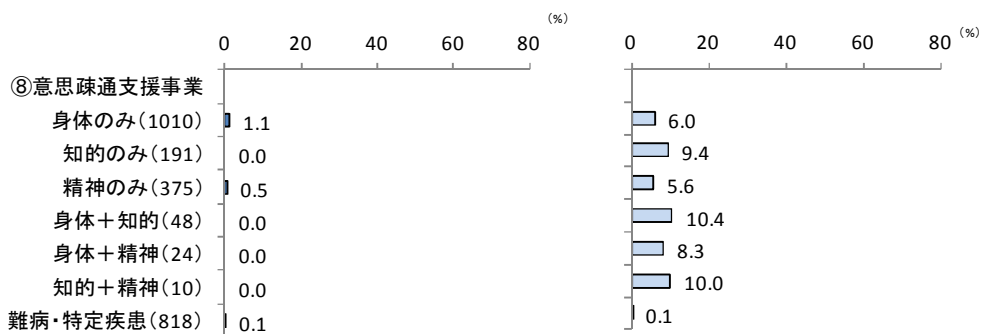
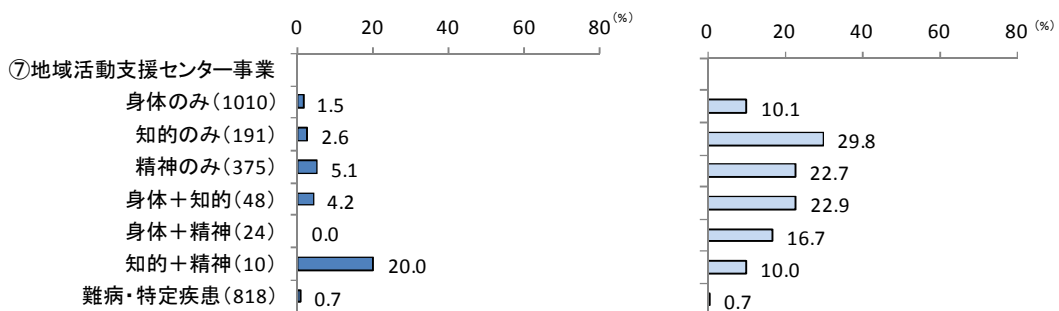
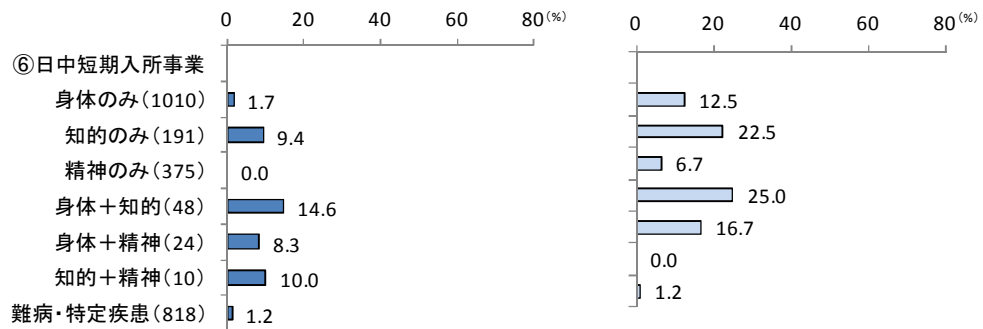
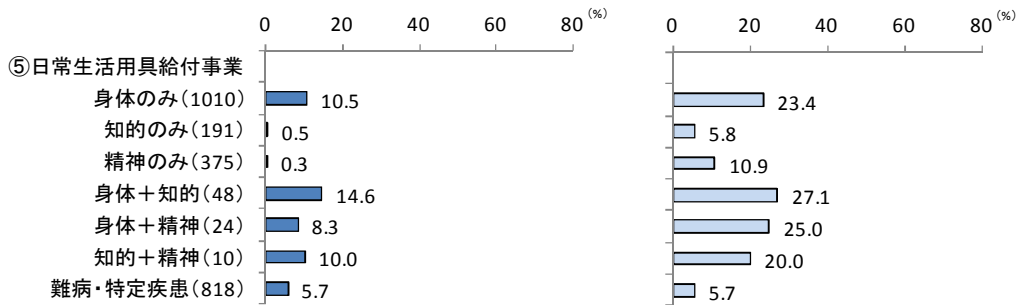
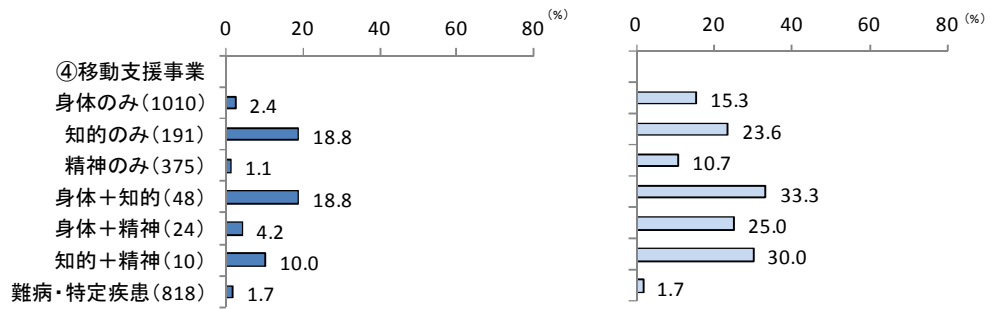


(6) 地域生活支援事業



【現在利用している】

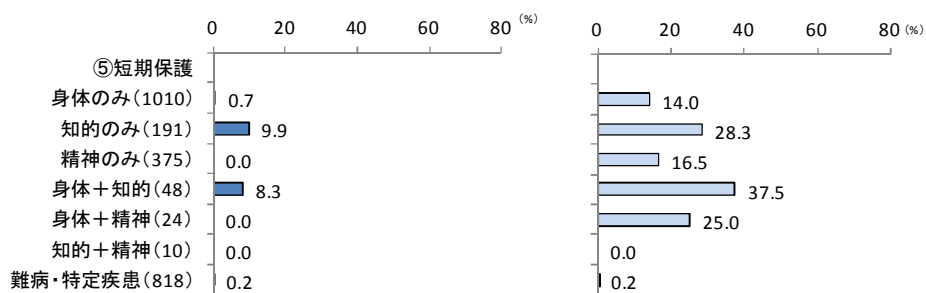
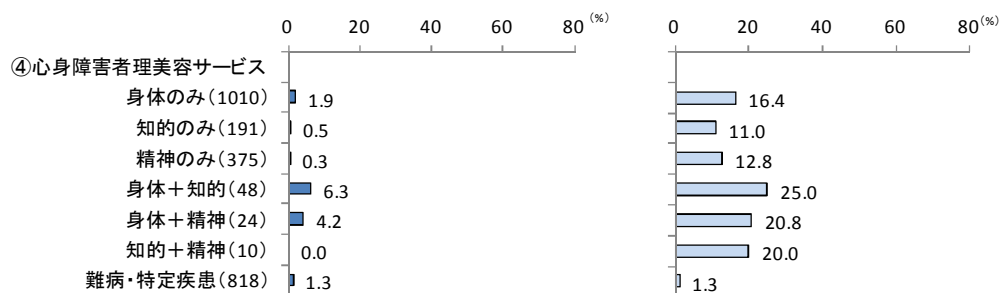
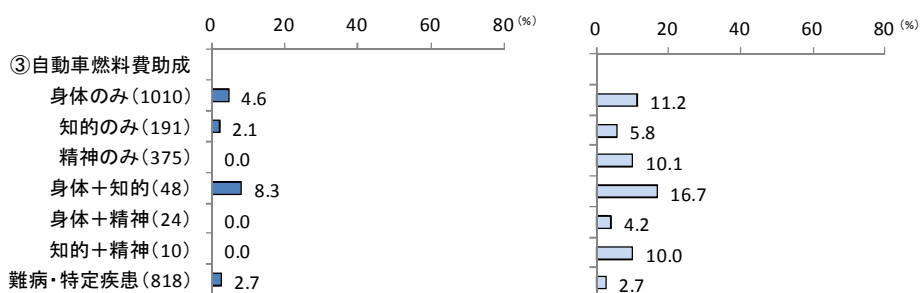
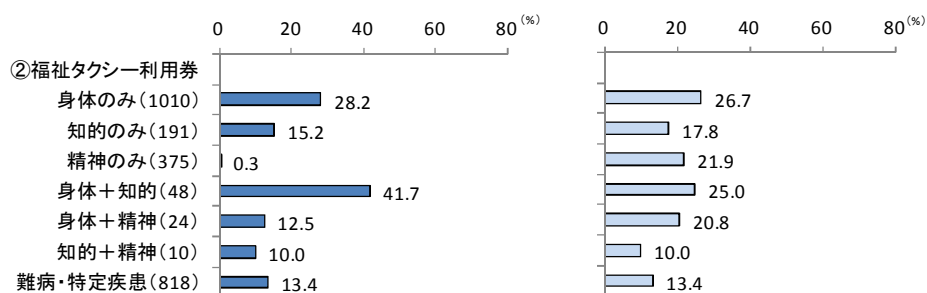
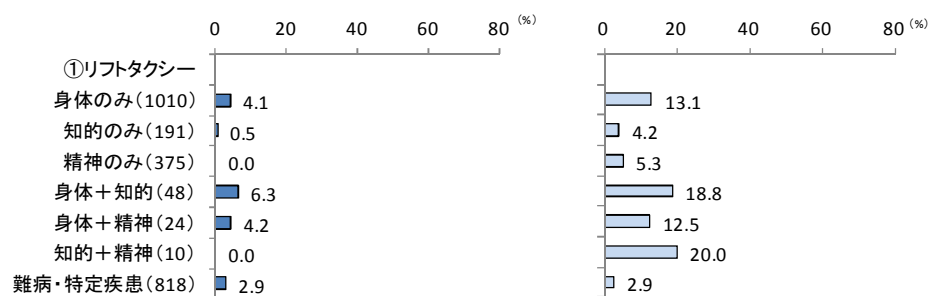
【今後利用したい】



【現在利用している】

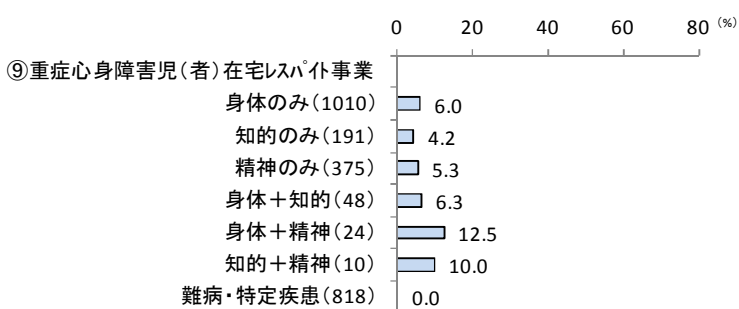
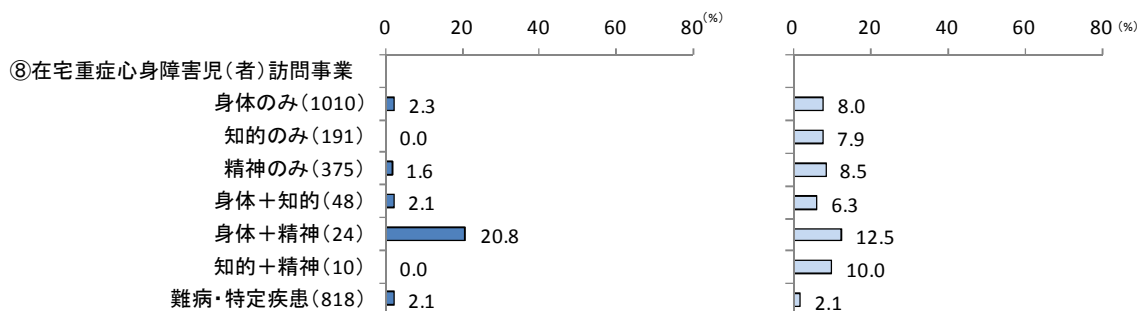
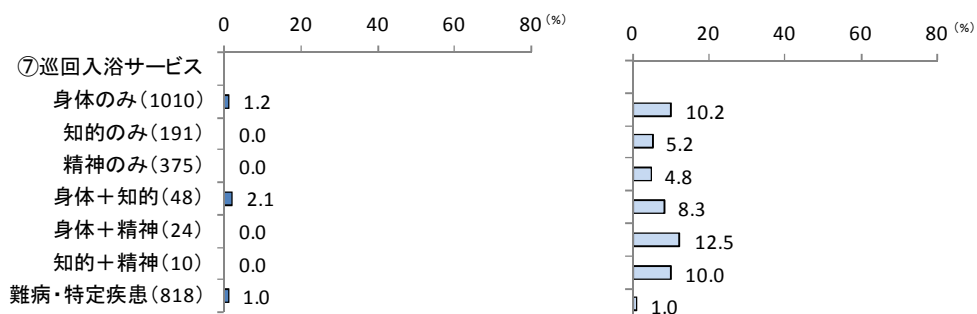
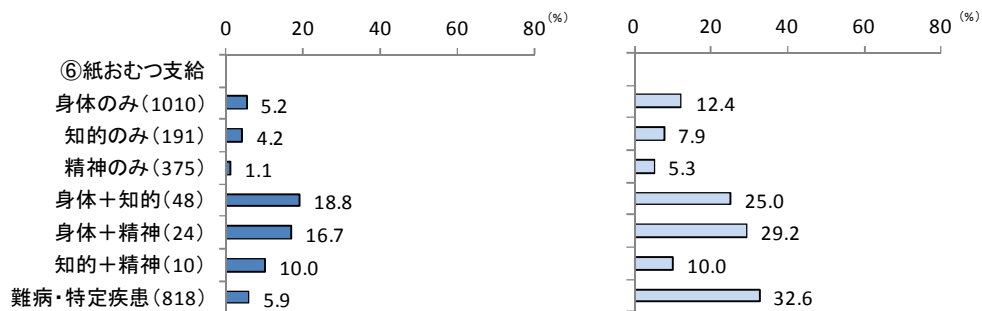
【今後利用したい】

(7) 日常生活のサービス

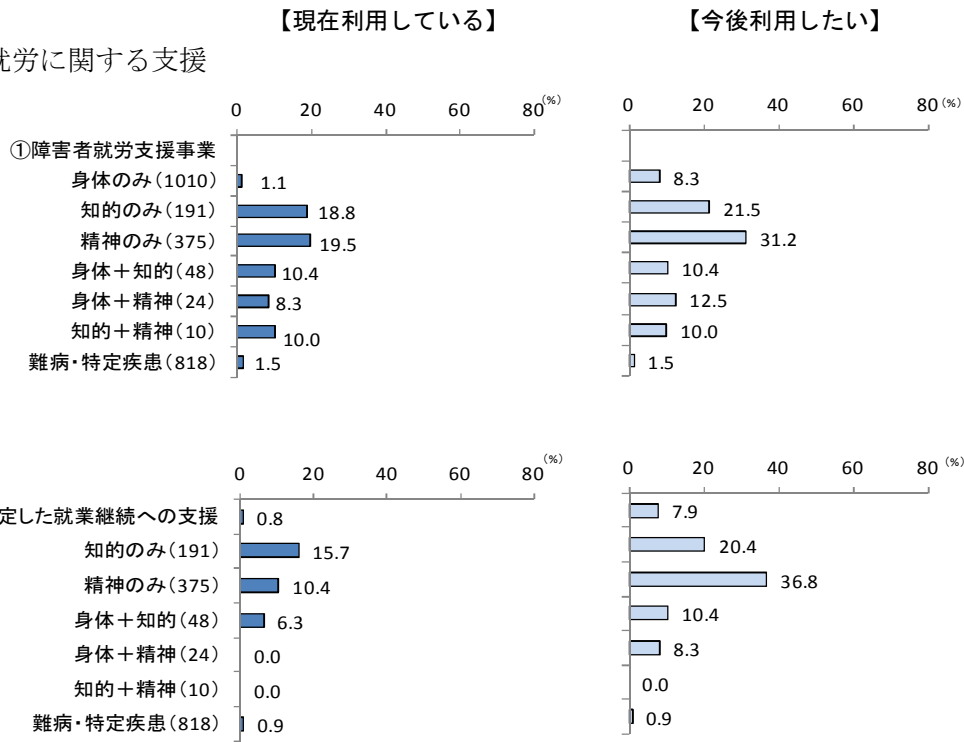


【現在利用している】

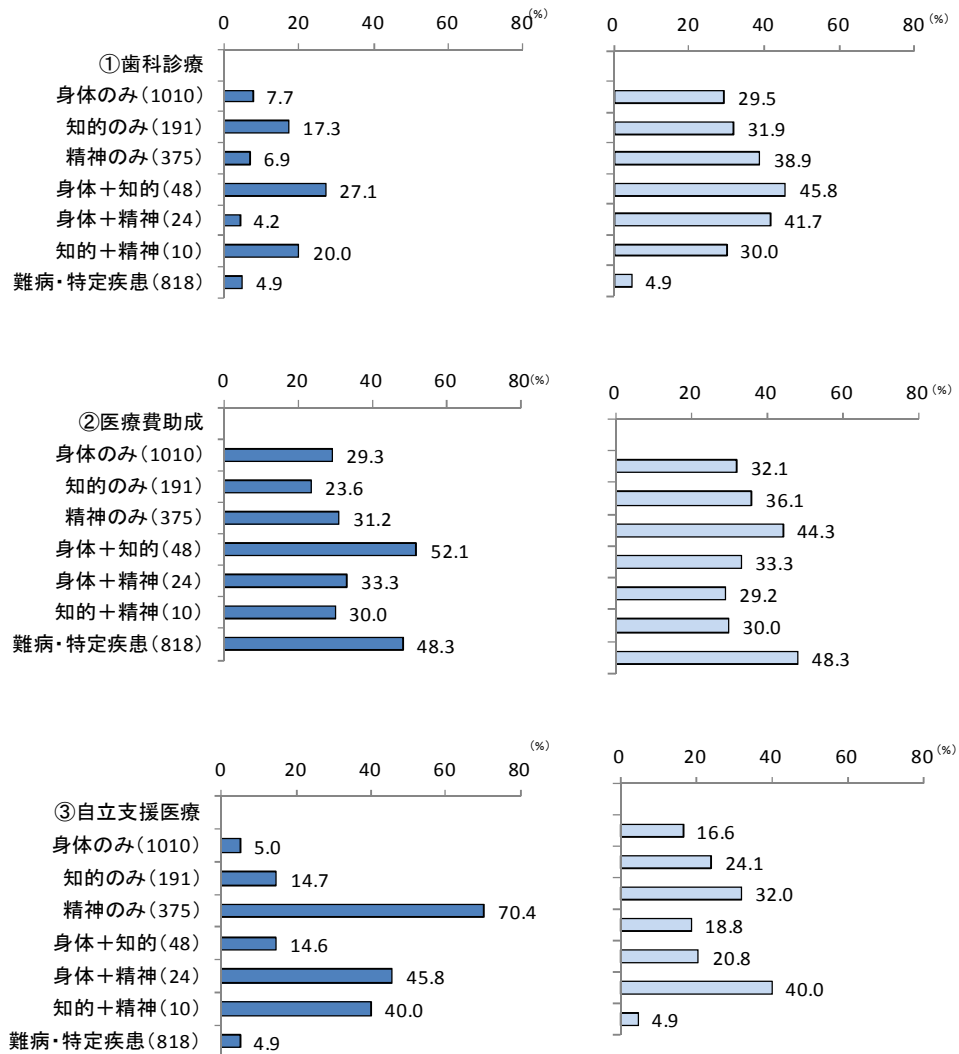
【今後利用したい】



(8) 就労に関する支援



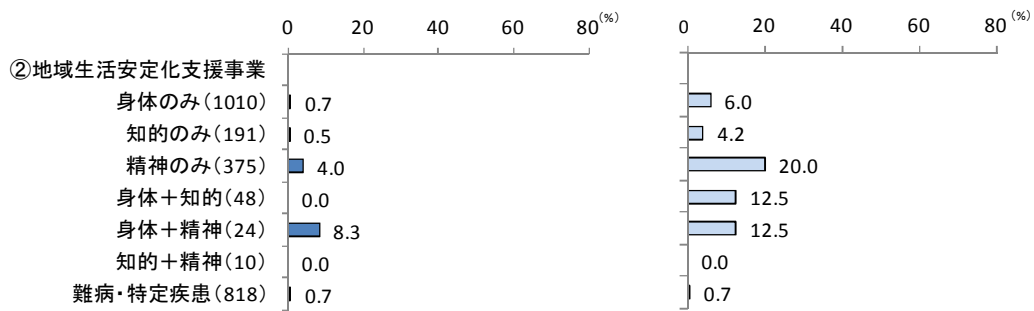
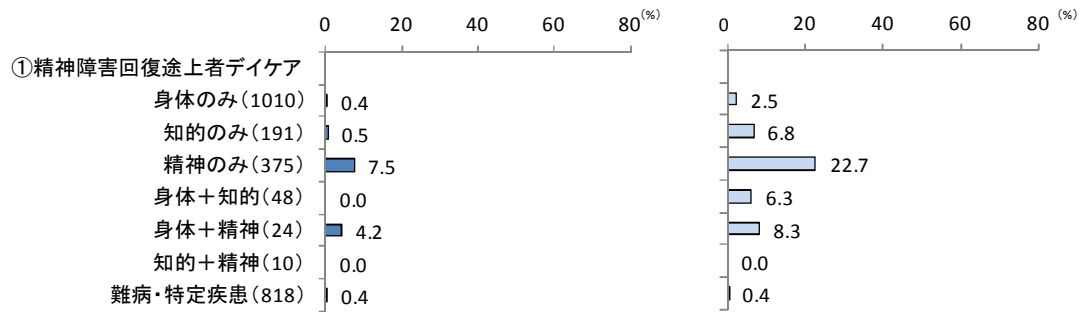
(9) 医療に関する支援



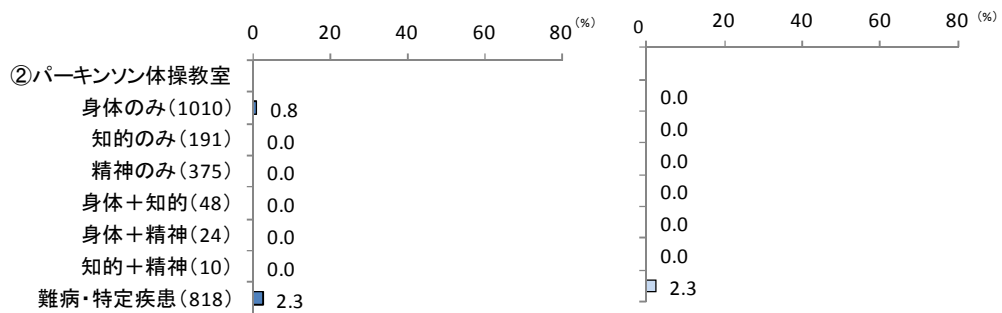
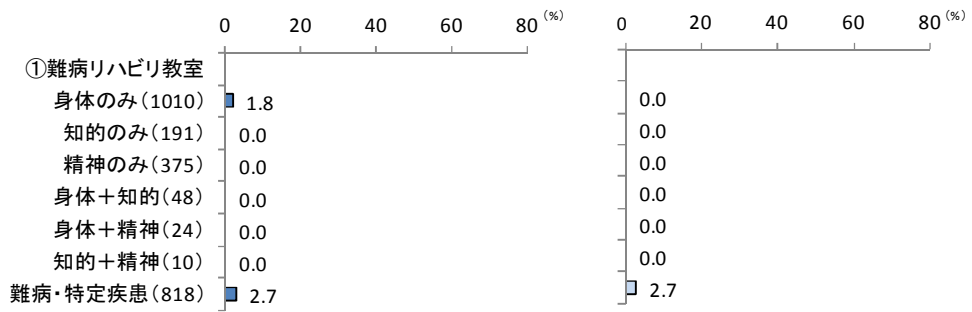
【現在利用している】

【今後利用したい】

(10) 精神障害者を対象とした支援



(11) 難病患者に関する支援

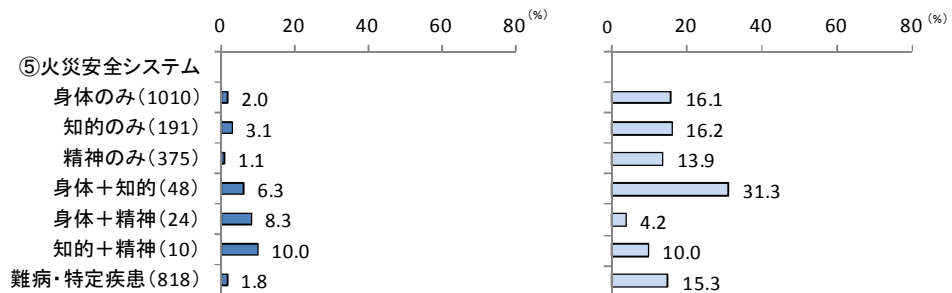
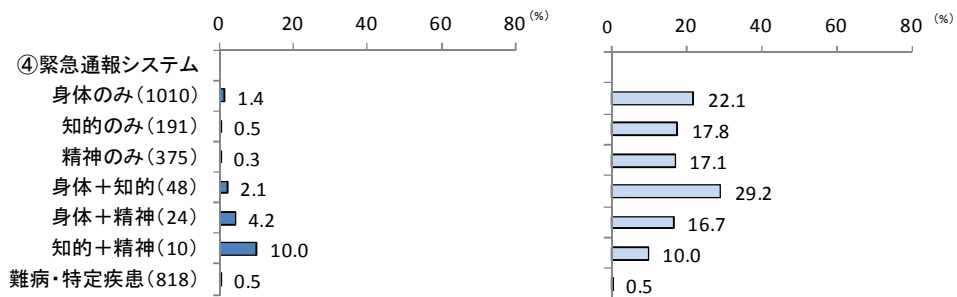
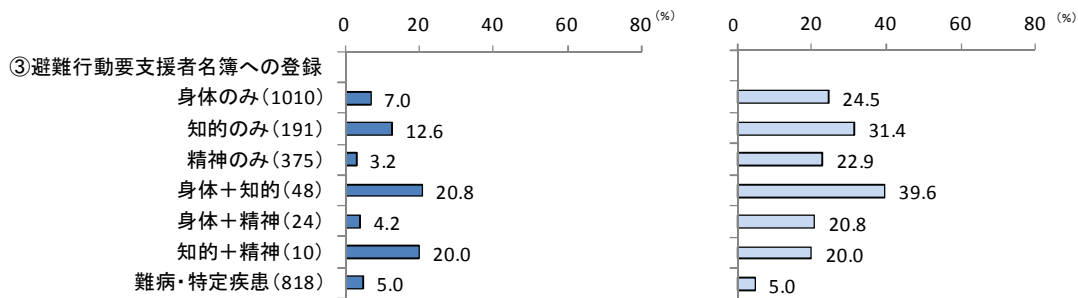
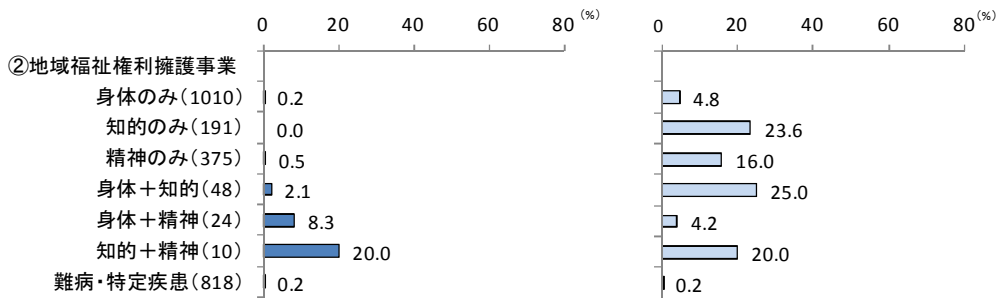
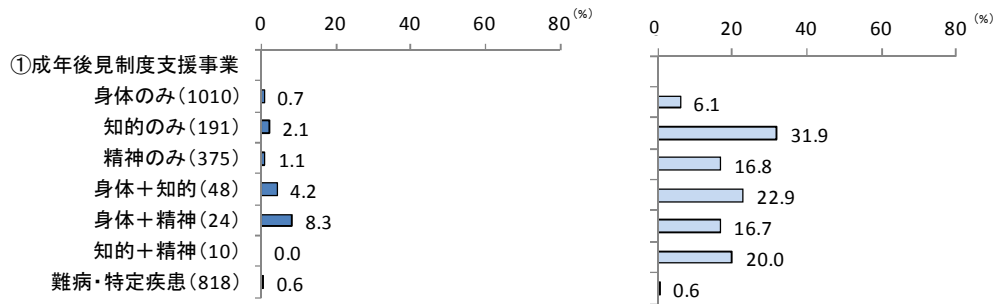




【現在利用している】

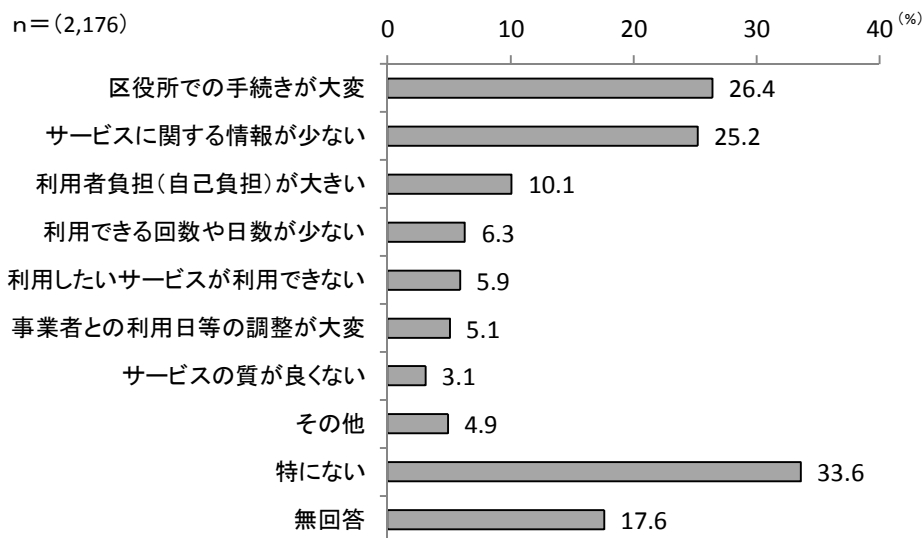
【今後利用したい】

(12) その他



## (2) サービス利用に関して困っていること

問29 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)



サービス利用について困っていることをみると、「区役所での手続きが大変」(26.4%)と「サービスに関する情報が少ない」(25.2%)が2割台半ばで多くなっています。

### 《障害の種類別》

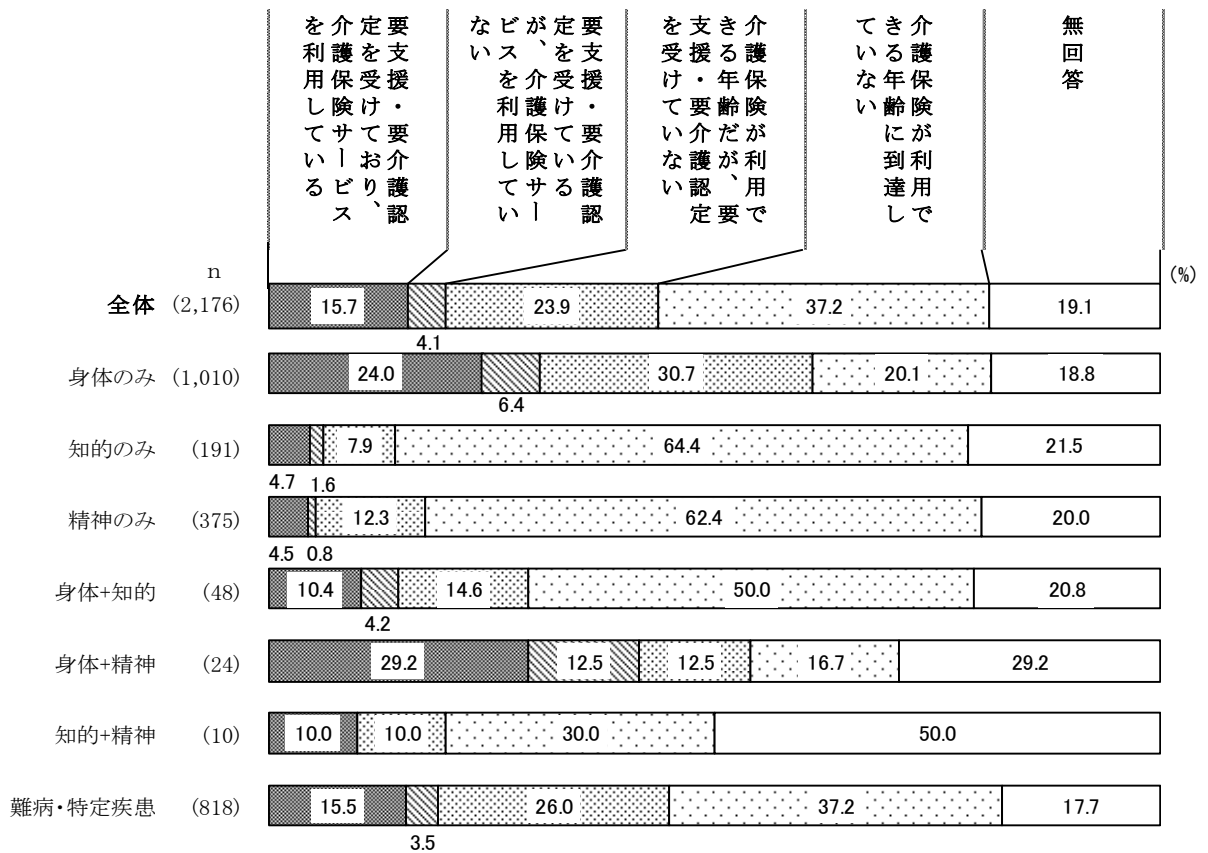
	調査数	区役所での 手続きが大 変	サービスに 関する情報 が少ない	利用者負担 (自己負担) が大きい	利用できる回 数や日数が 少ない	利用したい サービスが 利用できない	事業者との 利用日等の 調整が大変
身体のみ	1010	21.3	<b>21.6</b>	9.5	7.8	5.4	4.2
知的のみ	191	<b>28.8</b>	27.2	6.8	10.5	7.3	15.2
精神のみ	375	<b>36.0</b>	<b>39.2</b>	10.9	4.5	8.3	6.7
身体+知的	48	20.8	<b>29.2</b>	2.1	10.4	10.4	10.4
身体+精神	24	<b>25.0</b>	12.5	8.3	4.2	12.5	4.2
知的+精神	10	20.0	20.0	-	-	10.0	-
難病・特定疾患	818	<b>29.6</b>	22.5	11.7	4.0	5.0	3.1

	調査数	サービスの 質が良くない	その他	特にない	無回答
身体のみ	1010	2.1	3.5	<b>35.1</b>	23.1
知的のみ	191	4.2	5.8	<b>27.7</b>	17.3
精神のみ	375	6.1	8.3	27.5	9.1
身体+知的	48	-	<b>27.1</b>	6.3	22.9
身体+精神	24	12.5	12.5	12.5	37.5
知的+精神	10	10.0	20.0	-	40.0
難病・特定疾患	818	2.9	4.6	<b>35.5</b>	14.8

障害の種類別にみると、「精神のみ」で「サービスに関する情報が少ない」が39.2%、「区役所での手続きが大変」が36.0%と多くなっています。

(3) 介護保険の要支援・要介護認定の有無

問30 あなたは、介護保険の要支援・要介護認定を受けていますか。(〇はひとつ)



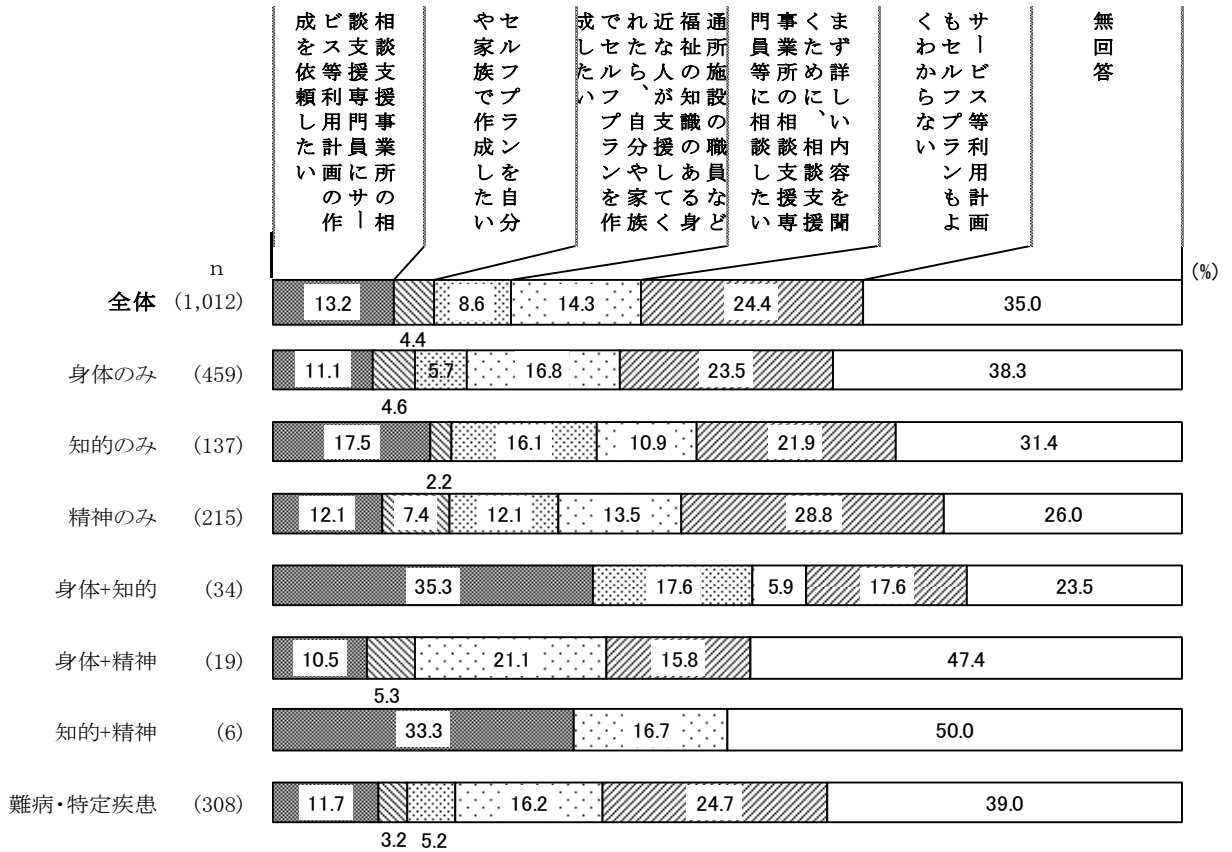
介護保険の要介護・要支援の認定の有無をみると、「介護保険が利用できる年齢に到達していない」が37.2%、「介護保険が利用できる年齢だが、要支援・要介護認定を受けていない」が23.9%となっています。

障害の種類別にみると、「要支援・要介護認定を受けており、介護保険サービスを利用している」が「身体のみ」では24.0%、「身体と精神の重複障害」では29.2%と高くなっています。

一方、「知的のみ」、「精神のみ」では、「介護保険が利用できる年齢に到達していない」が、それぞれ64.4%、62.4%と6割を超えています。

(4) サービス等利用計画の作成について

問31 問28にある障害福祉サービスを利用している方や今後利用したい方にお聞きします。  
サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(〇はひとつ)



サービス等利用計画の作成の進め方についての考えをみると、「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」が24.4%、「通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい」が14.3%、「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を相談したい」が13.2%となっています。

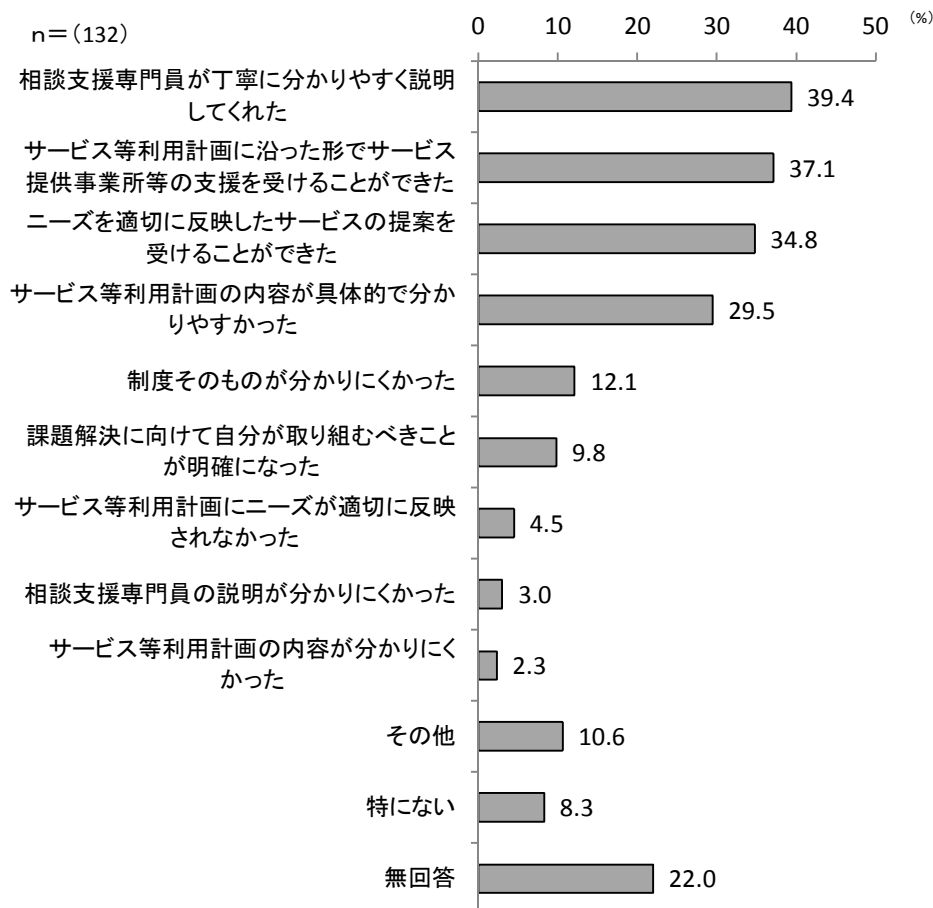
障害の種類別にみると、いずれの障害でも「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」が2割を超えています。

「身体のみ」、「精神のみ」、「難病・特定疾患」では、「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員に相談したい」が、それぞれ16.8%、13.5%、16.2%と多くなっています。

(5) 計画作成の感想

問32 これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします。

サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか。(〇は4つまで)



サービス等利用計画を作成しての感想をみると、「相談支援員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が39.4%で最も多く、次いで「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事務所等の支援を受けることができた」が37.1%、「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」が34.8%となっています。

《障害の種類別》

	調査数	相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた	サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事務所等の支援を受けることができた	ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた	サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった	制度そのものが分かりにくかった	課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった
身体のみ	35	42.9	40.0	42.9	28.6	-	-
知的のみ	38	23.7	28.9	23.7	18.4	13.2	2.6
精神のみ	39	41.0	35.9	30.8	30.8	17.9	25.6
身体+知的	11	54.5	45.5	36.4	45.5	18.2	-
身体+精神	3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-
知的+精神	2	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-
難病・特定疾患	21	52.4	52.4	57.1	38.1	4.8	14.3

	調査数	サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった	相談支援専門員の説明が分かりにくかった	サービス等利用計画の内容が分かりにくかった	その他	特になし	無回答
身体のみ	35	2.9	2.9	-	2.9	2.9	40.0
知的のみ	38	10.5	2.6	-	13.2	15.8	18.4
精神のみ	39	2.6	2.6	7.7	12.8	7.7	17.9
身体+知的	11	-	-	-	27.3	9.1	-
身体+精神	3	-	-	-	-	33.3	33.3
知的+精神	2	-	-	-	-	50.0	-
難病・特定疾患	21	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5	14.3

障害の種類別にみると、「身体のみ」では「相談支援員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」と「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」が42.9%でもっとも多く、次いで「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事務所等の支援を受けることができた」が40.0%となっています。

「知的のみ」では、「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事務所等の支援を受けることができた」が28.9%で最も多く、「相談支援員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」と、「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」がいずれも23.7%となっています。

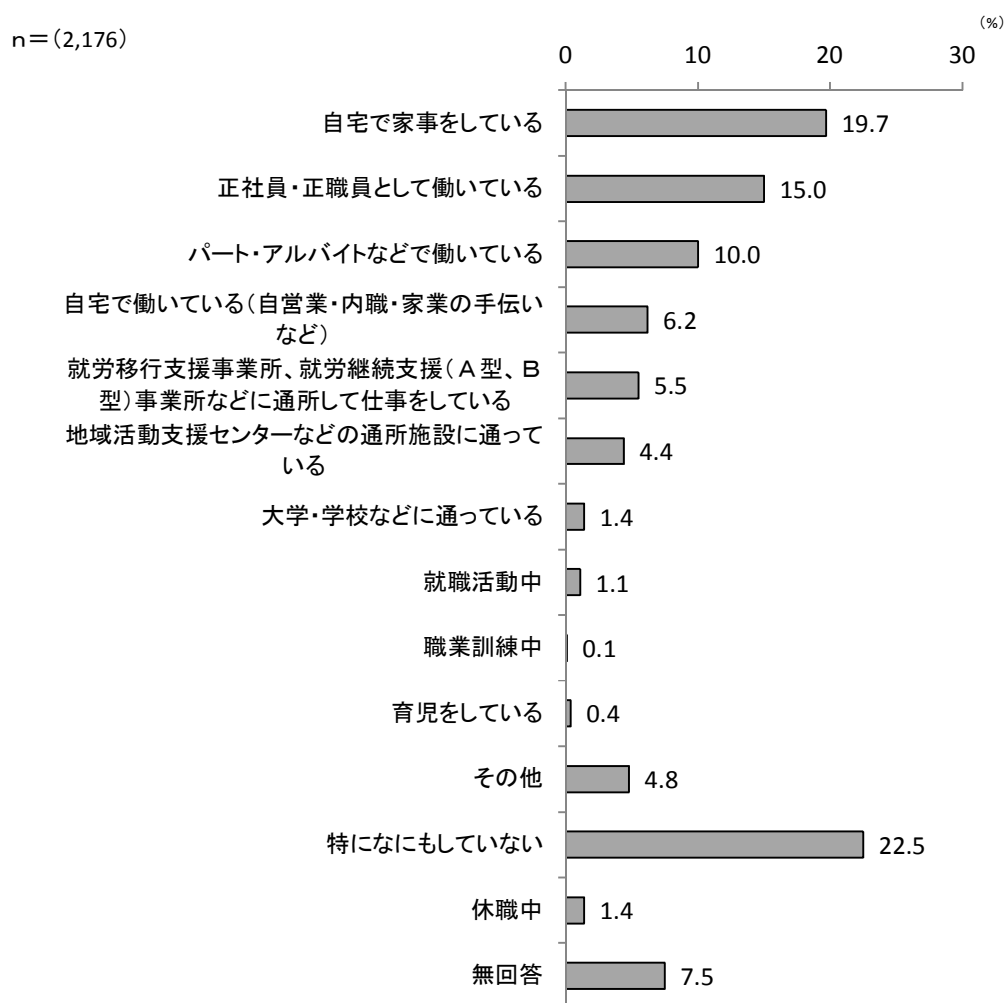
「精神のみ」では、「相談支援員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が41.9%と最も多く、次いで「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事務所等の支援を受けることができた」が35.9%となっています。

「難病・特定疾患」では、「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事務所等の支援を受けることができた」「相談支援員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が、それぞれ57.1%、52.4%、52.4%と、いずれも5割を超えています。

## 5. 日中活動や外出について

### (1) 平日の日中の過ごし方

問33 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(〇はひとつ)



平日の日中の過ごし方についてみると、「特になにもしていない」が22.5%で最も多く、次いで「自宅で家事をしている」が19.7%、「正社員・正職員として働いている」が15.0%となっています。

《障害の種類別》

	調査数	正社員・正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	自宅で働いている(自営業・内職・家業の手伝いなど)	就労移行支援事業所、就労継続支援(A型、B型)事業所などに通所して仕事をしている	地域活動支援センターなどの通所施設に通っている	大学・学校などに通っている	職業訓練中
身体のみ	1010	12.3	4.8	7.5	0.5	2.7	1.4	-
知的のみ	191	12.0	<b>18.8</b>	1.0	<b>30.4</b>	14.1	1.6	-
精神のみ	375	9.9	<b>16.5</b>	3.7	12.5	5.1	0.8	0.8
身体+知的	48	2.1	8.3	2.1	18.8	<b>25.0</b>	-	-
身体+精神	24	-	-	-	-	<b>12.5</b>	-	-
知的+精神	10	-	10.0	-	-	10.0	-	-
難病・特定疾患	818	<b>22.5</b>	10.8	7.1	0.4	2.2	1.6	-

	調査数	就職活動中	自宅で家事をしている	育児をしている	特になにもしていない	休職中	その他	無回答
身体のみ	1010	0.8	<b>22.4</b>	0.3	<b>30.3</b>	1.3	5.8	10.0
知的のみ	191	0.5	3.1	-	6.3	0.5	4.2	7.3
精神のみ	375	2.7	<b>16.5</b>	-	<b>18.9</b>	2.4	5.6	4.5
身体+知的	48	-	8.3	-	<b>18.8</b>	-	2.1	14.6
身体+精神	24	-	8.3	-	<b>54.2</b>	4.2	-	20.8
知的+精神	10	-	10.0	-	<b>40.0</b>	-	10.0	20.0
難病・特定疾患	818	0.9	<b>22.4</b>	0.7	19.3	1.7	4.4	6.1

障害の種類別にみると、「身体のみ」では、「特に何もしていない」が30.3%と最も多くなっているほか、「精神のみ」でも18.9%となっています。

一方、「知的のみ」では、「就労移行支援事業所、就労継続支援（A型、B型）事業所などに通所して仕事をしている」が30.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」が18.8%となっています。

なお、「身体と知的の重複障害」では、「地域活動支援センターなどの通所施設に通っている」が25.0%と最も多くなっています。

また、「難病・特定疾患」では「正社員・正職員として働いている」が22.5%、「自宅で家事をしている」が22.4%といずれも2割を超えています。



《疾病・障害別》

	調査数	正社員・正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	自宅で働いている(自営業・内職・家業の手伝いなど)	就労移行支援事業所、就労継続支援(A型、B型)事業所などに通所して仕事をしている	地域活動支援センターなどの通所施設に通っている	大学・学校などに通っている	職業訓練中
難病・特定疾患	818	22.5	10.8	7.1	0.4	2.2	1.6	-
慢性疾患	448	10.0	3.8	9.8	3.6	4.0	0.9	-
統合失調症	176	4.0	12.5	2.3	21.6	9.7	0.6	1.1
気分障害	192	11.5	15.6	4.7	6.8	4.2	0.5	0.5
神経症	94	10.6	13.8	4.3	8.5	3.2	1.1	-
依存症	10	10.0	20.0	10.0	-	-	-	-
知的障害	204	8.3	18.1	1.0	29.9	18.6	1.0	-
発達障害	149	16.8	20.1	1.3	17.4	10.1	1.3	0.7
高次脳機能障害	30	13.3	6.7	-	6.7	16.7	-	-
特にない	215	18.1	6.0	7.9	-	0.5	1.4	-
その他	103	8.7	5.8	8.7	6.8	1.0	1.0	-

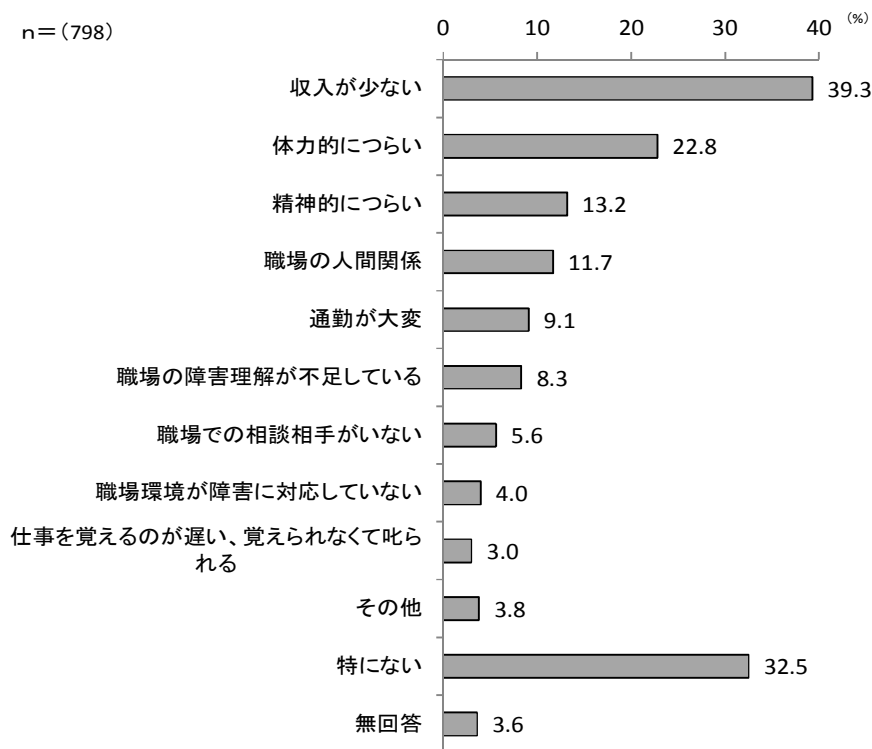
	調査数	就職活動中	自宅で家事をしている	育児をしている	特になにもしていない	休職中	その他	無回答
難病・特定疾患	818	0.9	22.4	0.7	19.3	1.7	4.4	6.1
慢性疾患	448	0.4	22.3	0.2	32.8	0.9	4.7	6.5
統合失調症	176	1.1	15.3	-	19.3	1.7	5.7	5.1
気分障害	192	3.6	20.3	-	21.9	3.1	5.7	1.6
神経症	94	2.1	23.4	-	22.3	2.1	4.3	4.3
依存症	10	-	10.0	-	20.0	-	30.0	-
知的障害	204	0.5	3.4	-	6.4	0.5	3.4	8.8
発達障害	149	2.0	5.4	0.7	10.1	0.7	4.7	8.7
高次脳機能障害	30	-	3.3	-	20.0	13.3	10.0	10.0
特にない	215	-	25.6	0.5	27.0	0.9	5.1	7.0
その他	103	1.9	16.5	-	30.1	1.0	7.8	10.7

疾病・障害別でみると、知的障害、統合失調症では「就労移行支援事業所、就労継続支援（A型、B型）事業所などに通所して仕事をしている」が、それぞれ29.9%、21.6%と多くなっています。

一方、慢性疾患では、「特に何もしていない」が32.8%と、他の層よりも多くなっています。

## (2) 仕事上困っていること

問34 問33で「働いている(1~4)」と回答した方にお聞きします。  
仕事をする上で困っていることはありますか(〇は3つまで)



現在働いている障害者の方に、仕事をする上での困難を訊いたところ、「収入が少ない」が39.3%で最も多く、次いで「特にない」が32.5%となっています。

《障害の種類別》

	調査数	収入が少ない	体力的につらい	精神的につらい	通勤が大変	職場の人間関係	職場での相談相手がいない
身体のみ	253	30.0	20.2	9.9	10.7	5.9	5.1
知的のみ	119	46.2	5.9	8.4	9.2	19.3	7.6
精神のみ	160	62.5	18.1	25.0	5.6	24.4	10.0
身体+知的	15	33.3	13.3	6.7	6.7	6.7	-
知的+精神	1	-	-	-	-	-	-
難病・特定疾患	333	31.2	35.7	12.0	12.3	6.0	3.0

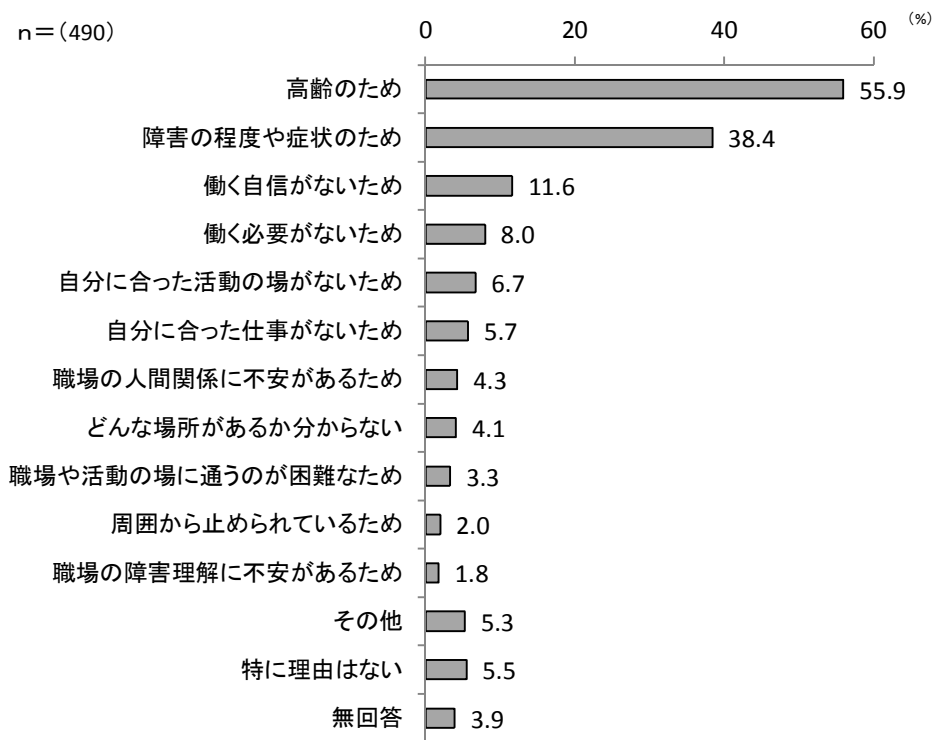
	調査数	職場の障害理解が不足している	職場環境が障害に対応していない	仕事を覚えるのが遅い、覚えられなくて叱られる	特にない	その他	無回答
身体のみ	253	11.1	7.5	0.4	39.5	2.0	5.1
知的のみ	119	3.4	1.7	5.0	33.6	4.2	5.0
精神のみ	160	12.5	3.1	7.5	11.3	7.5	1.9
身体+知的	15	-	-	6.7	46.7	-	6.7
知的+精神	1	-	-	-	-	-	100.0
難病・特定疾患	333	7.8	3.9	0.6	36.3	2.4	2.7

障害の種類別にみると、「精神のみ」では「収入が少ない」が62.5%と最も多く、次いで「精神的につらい」が25.0%、「職場の人間関係」が24.4%となっています。また、「知的のみ」、「身体のみ」でも、「収入が少ない」が、それぞれ46.2%、30.0%で最も多くなっています。

一方、「難病・特定疾患」では、「体力的につらい」が35.7%と多く、「収入が少ない」は31.2%となっています。

### (3) 就労や通所をしていない理由

問35 問33で「11. 特になにもしていない」と回答した方にお聞きします。  
あなたが就労や通所などをしていない理由は何ですか。(〇は3つまで)



現在、平日の日中「特になにもしていない」と回答した障害者の方に、その理由を訊いたところ、「高齢のため」が55.9%で最も多く、次いで「障害の程度や症状のため」が38.4%となっています。

## 《障害の種類別》

	調査数	高齢のため	障害の程度や症状のため	働く自信がないため	働く必要がないため	自分に合った活動の場がないため	自分に合った仕事がないため	職場の人間関係に不安があるため
身体のみ	306	68.6	37.9	5.2	9.5	2.9	4.2	1.0
知的のみ	12	33.3	33.3	25.0	-	8.3	-	25.0
精神のみ	71	11.3	53.5	35.2	7.0	16.9	8.5	16.9
身体+知的	9	33.3	22.2	22.2	-	-	22.2	11.1
身体+精神	13	38.5	38.5	23.1	-	23.1	23.1	7.7
知的+精神	4	50.0	75.0	-	-	-	-	-
難病・特定疾患	158	61.4	40.5	7.0	5.1	8.2	7.6	0.6

	調査数	どんな場所があるか分からない	職場や活動の場に通うのが困難なため	周囲から止められているため	職場の障害理解に不安があるため	その他	特に理由は無い	無回答
身体のみ	306	2.3	1.6	0.7	-	4.6	5.6	4.2
知的のみ	12	16.7	-	-	8.3	16.7	-	8.3
精神のみ	71	4.2	7.0	7.0	7.0	11.3	2.8	4.2
身体+知的	9	-	11.1	-	11.1	-	-	11.1
身体+精神	13	15.4	15.4	-	7.7	7.7	-	-
知的+精神	4	-	-	-	-	-	-	-
難病・特定疾患	158	5.1	2.5	2.5	0.6	3.8	5.1	3.2

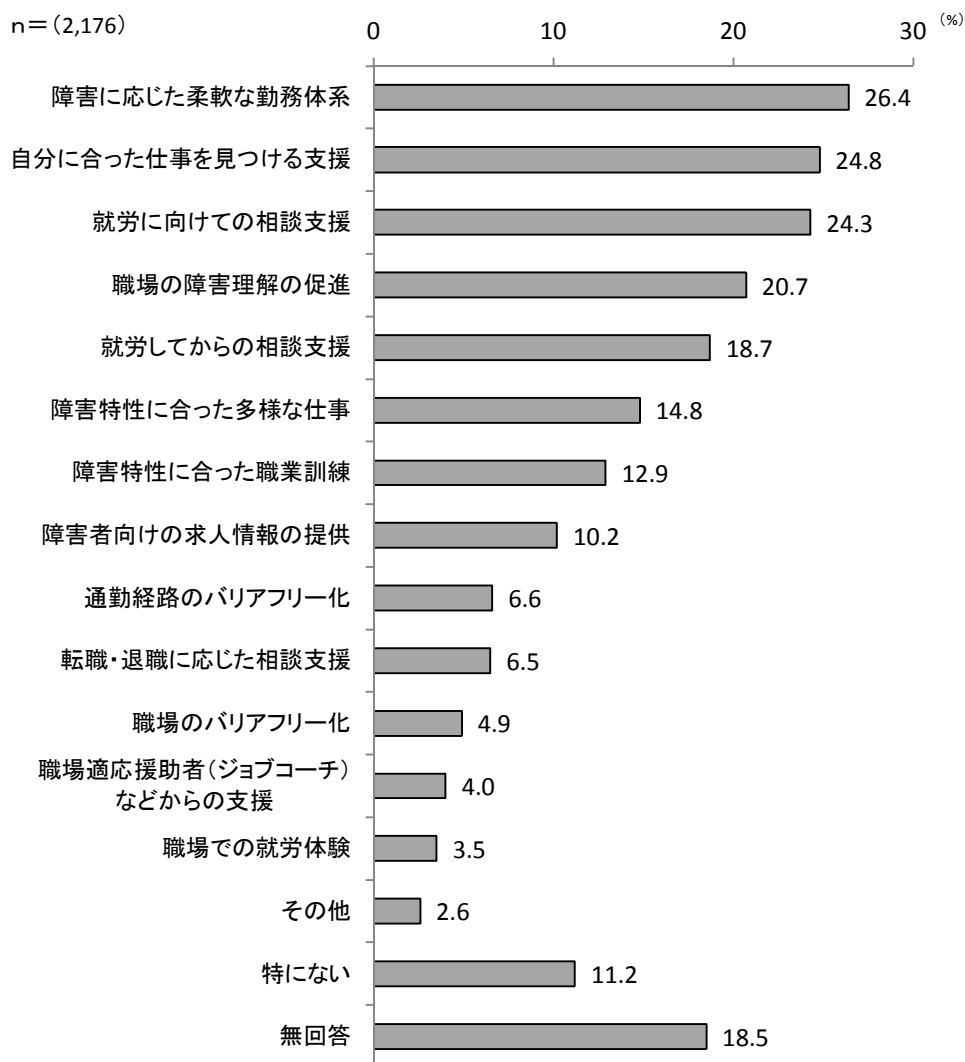
障害の種類別にみると、「身体のみ」では「高齢のため」が68.6%と最も多くなっているほか、「難病・特定疾患」でも61.4%と6割を超えています。

一方、「知的のみ」では「高齢のため」と「障害の程度や症状のため」がともに33.3%となっています。

また、「精神のみ」では「障害の程度や症状のため」が53.5%と最も多く、次いで「働く自信がないため」が35.2%となっています。

#### (4) 一般就労に必要なこと

問 36 障害者が一般就労するためにはどのようなことが必要だと思いますか。  
(○は3つまで)



障害者が一般就労するために必要なこととしては、「障害に応じた柔軟な勤務体系」が26.4%で最も多く、次いで、「自分に合った仕事を見つける支援」が24.8%、「就労に向けての相談支援」が24.3%となっています。

《障害の種類別》

	調査数	就労に向けての相談支援	就労してからの相談支援	転職・退職に応じた相談支援	障害特性に合った職業訓練	職場での就労体験	自分に合った仕事を見つける支援
身体のみ	1010	<b>21.1</b>	12.7	5.5	12.9	2.1	20.8
知的のみ	191	24.6	<b>26.7</b>	7.9	18.8	9.9	<b>33.5</b>
精神のみ	375	31.7	29.9	7.2	14.1	4.5	<b>33.6</b>
身体+知的	48	16.7	<b>27.1</b>	4.2	8.3	2.1	6.3
身体+精神	24	<b>20.8</b>	12.5	4.2	4.2	-	8.3
知的+精神	10	10.0	10.0	10.0	-	-	20.0
難病・特定疾患	818	23.6	16.3	7.0	12.0	3.3	<b>24.1</b>

	調査数	障害者向けの求人情報の提供	障害特性に合った多様な仕事	障害に応じた柔軟な勤務体系	職場の障害理解の促進	職場適応援助者(ジョブコーチ)などからの支援	職場のバリアフリー化
身体のみ	1010	10.6	12.3	<b>22.9</b>	14.8	1.9	5.9
知的のみ	191	5.8	20.9	15.7	32.5	20.9	1.6
精神のみ	375	15.2	17.3	<b>32.0</b>	24.8	3.5	2.1
身体+知的	48	2.1	16.7	<b>22.9</b>	<b>22.9</b>	8.3	6.3
身体+精神	24	-	16.7	16.7	-	-	-
知的+精神	10	-	10.0	20.0	10.0	20.0	-
難病・特定疾患	818	10.9	14.1	<b>33.6</b>	22.7	2.3	7.3

	調査数	通勤経路のバリアフリー化	特にない	その他	無回答
身体のみ	1010	8.1	13.4	2.3	25.2
知的のみ	191	2.6	7.9	2.1	10.5
精神のみ	375	1.9	7.7	4.3	6.7
身体+知的	48	8.3	12.5	2.1	31.3
身体+精神	24	-	16.7	-	50.0
知的+精神	10	-	10.0	-	50.0
難病・特定疾患	818	9.9	9.9	2.2	16.7

障害の種類別にみると、「身体のみ」では、「障害に応じた柔軟な勤務体系」、「就労に向けての相談支援」、「自分に合った仕事を見つける支援」が、それぞれ22.9%、21.1%、20.8%と、いずれも2割を超えています。

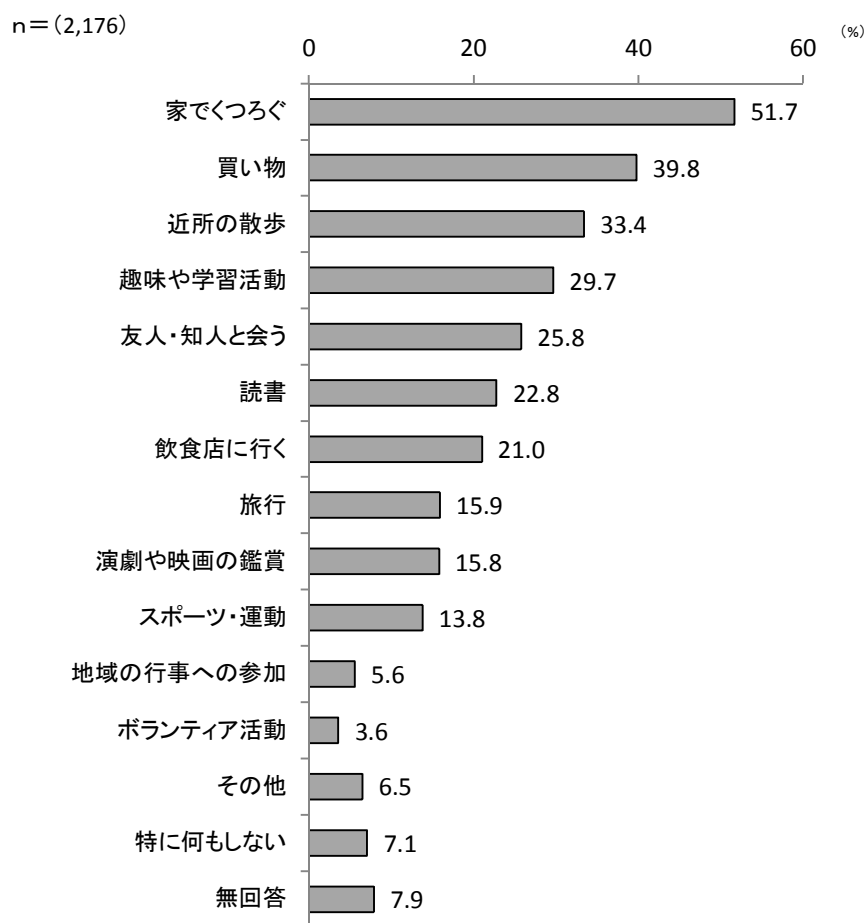
「知的のみ」では、「自分に合った仕事を見つける支援」が33.5%と多くなっています。

「精神のみ」でも、「自分に合った仕事を見つける支援」が33.6%と多く、「障害に応じた柔軟な勤務体系」も32.0%となっています。

「難病・特定疾患」では、「障害に応じた柔軟な勤務体系」が33.6%で最も多く、次いで「自分に合った仕事を見つける支援」が24.1%となっています。

## (5) 余暇の過ごし方

問 37 あなたは、休日や余裕のあるときにどのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)



休日や余裕のある時の過ごし方をみると、「家でくつろぐ」が51.7%と5割を超えています。以下、「買い物」が39.8%、「近所の散歩」が33.4%となっています。



《障害の種類別》

	調査数	家でくつろぐ	買い物	近所の散歩	趣味や学習活動	友人・知人と会う	読書
身体のみ	1010	47.1	36.6	33.3	25.1	26.4	22.8
知的のみ	191	59.7	51.3	30.4	30.4	11.5	5.8
精神のみ	375	56.5	45.6	35.7	41.1	26.1	28.3
身体+知的	48	54.2	31.3	35.4	20.8	8.3	6.3
身体+精神	24	37.5	16.7	20.8	4.2	8.3	12.5
知的+精神	10	40.0	30.0	30.0	-	20.0	-
難病・特定疾患	818	54.3	39.0	33.6	29.8	31.3	26.2

	調査数	飲食店に行く	旅行	演劇や映画の鑑賞	スポーツ・運動	地域の行事への参加	ボランティア活動
身体のみ	1010	18.7	15.5	13.1	12.4	6.0	4.2
知的のみ	191	25.1	17.8	18.8	19.9	6.8	3.1
精神のみ	375	24.8	10.7	17.6	12.3	3.7	3.2
身体+知的	48	27.1	14.6	12.5	2.1	14.6	-
身体+精神	24	8.3	4.2	8.3	-	4.2	-
知的+精神	10	20.0	-	-	-	10.0	-
難病・特定疾患	818	21.5	18.2	17.7	13.7	4.6	3.8

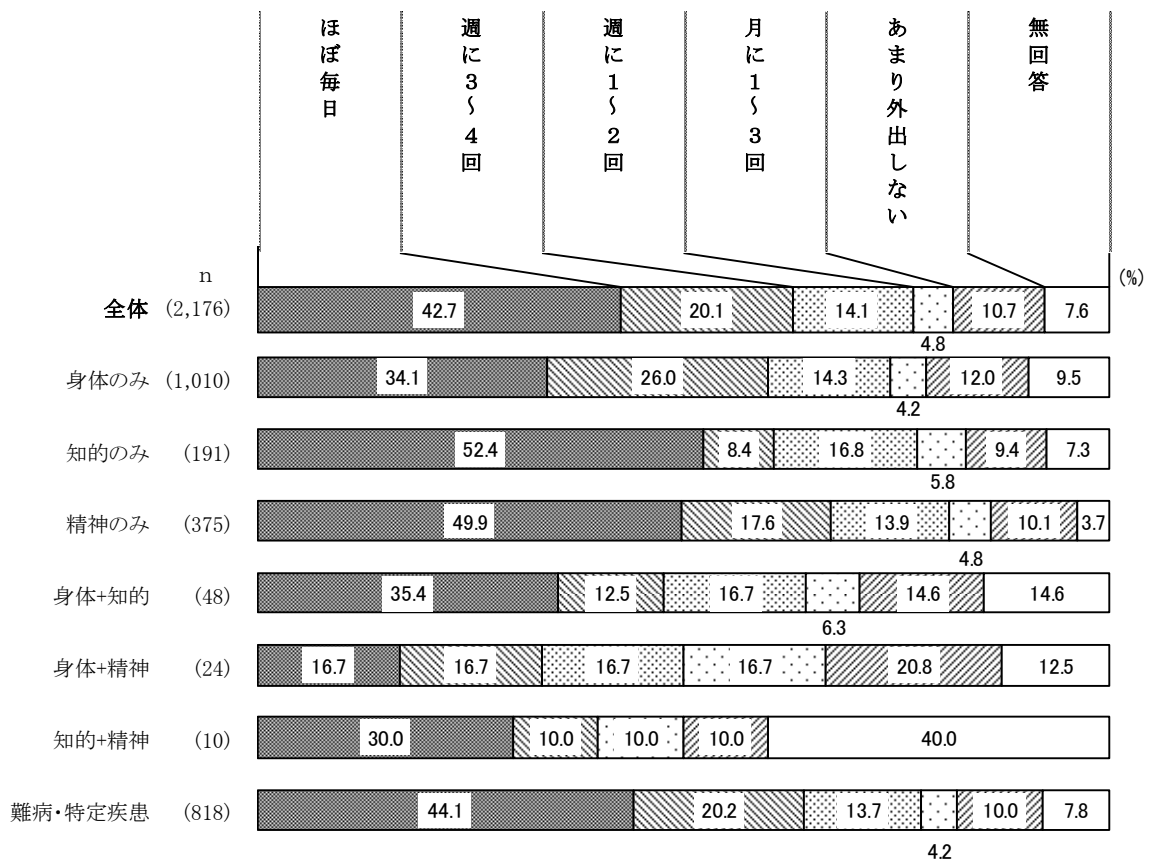
	調査数	その他	特に何もしない	無回答
身体のみ	1010	4.6	8.2	10.7
知的のみ	191	10.5	2.6	3.7
精神のみ	375	8.3	8.3	3.5
身体+知的	48	8.3	4.2	12.5
身体+精神	24	29.2	4.2	16.7
知的+精神	10	-	-	40.0
難病・特定疾患	818	6.5	7.1	8.1

障害の種類別にみると、いずれの障害でも、「家でくつろぐ」が最も多く、次いで「買い物」や「近所の散歩」となっています。

また、「精神のみ」では、「趣味や学習活動」が41.1%と、他の障害者に比べて多くなっています。

(6) 外出頻度

問 38 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)



外出の頻度をみると、「ほぼ毎日」が42.7%で最も多く、「週に3～4回」が20.1%となっています。

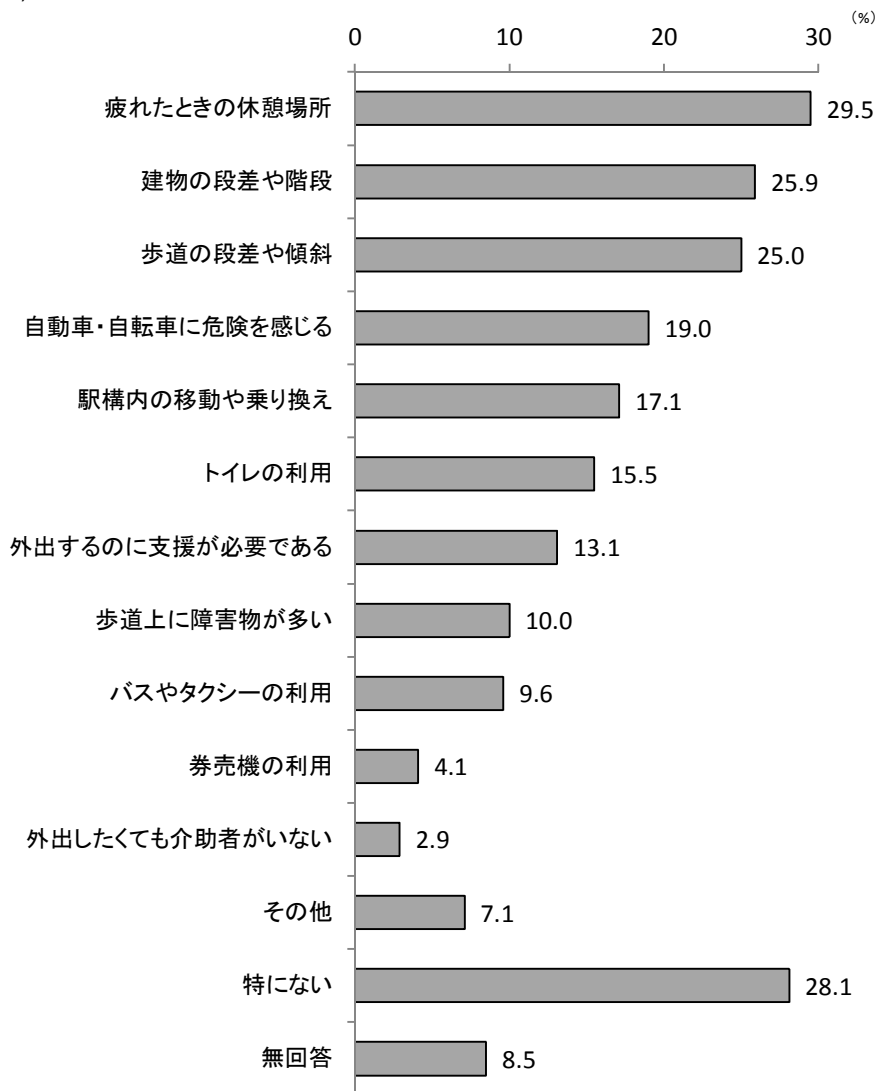
障害の種類別にみると、「知的のみ」、「精神のみ」、「難病・特定疾患」では「ほぼ毎日」が、それぞれ52.4%、49.9%、44.1%と、いずれも多くなっています。

一方、「身体のみ」では、「ほぼ毎日」が34.1%と、他の障害者に比べて少なく、その一方、「週に3～4回」が26.0%と多くなっています。

## (7) 外出の際に困っていること

問 39 あなたは、外出に関してどのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)

n=(2,176)



外出の時困っていることとしては、「疲れた時の休憩場所」が29.5%で最も多くなっています。一方、「特にない」も28.1%と多くなっています。

## 《障害の種類別》

	調査数	歩道の段差や傾斜	建物の段差や階段	バスやタクシーの利用	駅構内の移動や乗り換え	券売機の利用	トイレの利用
身体のみ	1010	37.7	38.2	12.0	22.8	5.0	17.9
知的のみ	191	6.8	6.3	15.2	16.8	11.0	11.5
精神のみ	375	5.6	7.2	4.8	9.3	1.3	8.5
身体+知的	48	45.8	39.6	14.6	16.7	4.2	22.9
身体+精神	24	25.0	41.7	29.2	16.7	8.3	37.5
知的+精神	10	10.0	10.0	10.0	10.0	-	20.0
難病・特定疾患	818	27.4	28.1	7.9	17.4	3.4	18.0

	調査数	歩道上に障害物が多い	疲れたときの休憩場所	自動車・自転車に危険を感じる	外出するのに支援が必要である	外出したくても介助者がいない	特になし
身体のみ	1010	16.1	32.3	25.0	15.0	3.7	17.3
知的のみ	191	3.7	8.9	12.6	26.7	3.7	36.1
精神のみ	375	2.1	31.7	12.8	5.3	2.4	41.3
身体+知的	48	18.8	27.1	22.9	35.4	4.2	8.3
身体+精神	24	8.3	37.5	20.8	20.8	-	4.2
知的+精神	10	-	10.0	10.0	-	-	10.0
難病・特定疾患	818	10.3	32.2	18.1	10.8	2.7	30.1

	調査数	その他	無回答
身体のみ	1010	5.8	10.4
知的のみ	191	4.2	8.4
精神のみ	375	16	5.3
身体+知的	48	6.3	16.7
身体+精神	24	4.2	12.5
知的+精神	10	10.0	40.0
難病・特定疾患	818	5.1	7.9

障害の種類別にみると、「身体のみ」では、「建物の段差や階段」、「歩道の段差や傾斜」が、それぞれ38.2%、37.7%と4割近くを占めて多くなっています。

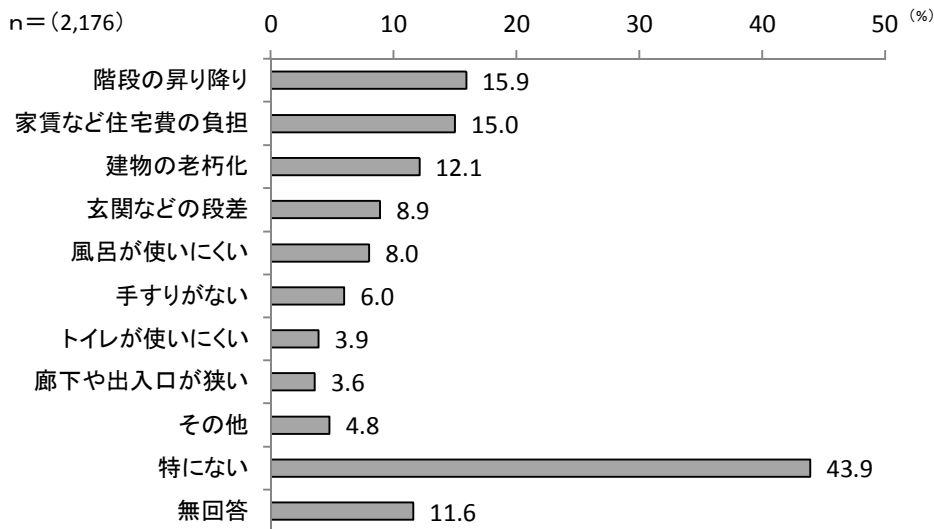
一方、「知的のみ」では、「外出するのに支援が必要である」が26.7%で最も多くなっています。

また、「精神のみ」、「難病・特定疾患」では、「疲れた時の休憩場所」が、それぞれ31.7%、32.2%と多くなっています。

## 6. 住まいについて

### (1) 住まいで困っていること

問 40 あなたは、住いに関してどのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)



住まいについて困っていることとしては、「階段の昇り降り」(15.9%)や「家賃など住宅費の負担」(15.0%)が比較的多くなっています。一方、「特にない」は43.9%を占めています。

#### 《障害の種類別》

	調査数	階段の昇り降り	家賃など住宅費の負担	建物の老朽化	玄関などの段差	風呂が使いにくい	手すりがない
身体のみ	1010	<b>22.2</b>	11.3	12.3	11.9	9.4	8.2
知的のみ	191	5.2	7.3	<b>10.5</b>	3.7	3.1	1.6
精神のみ	375	8.5	<b>28.5</b>	16.8	4.5	9.1	2.1
身体+知的	48	<b>22.9</b>	10.4	12.5	14.6	6.3	6.3
身体+精神	24	<b>20.8</b>	16.7	4.2	12.5	4.2	16.7
知的+精神	10	10.0	-	-	-	10.0	10.0
難病・特定疾患	818	<b>16.4</b>	15.5	8.9	9.7	7.7	6.6

	調査数	トイレが使いにくい	廊下や出入口が狭い	その他	特にない	無回答
身体のみ	1010	5.1	4.1	3.7	<b>38.6</b>	14.4
知的のみ	191	1.6	3.1	6.3	<b>61.3</b>	11.5
精神のみ	375	2.9	3.2	10.4	<b>40.5</b>	7.2
身体+知的	48	10.4	6.3	<b>33.3</b>	6.3	18.8
身体+精神	24	<b>20.8</b>	12.5	<b>29.2</b>	4.2	29.2
知的+精神	10	10.0	-	<b>40.0</b>	-	50.0
難病・特定疾患	818	4.0	3.1	3.2	<b>46.1</b>	10.6

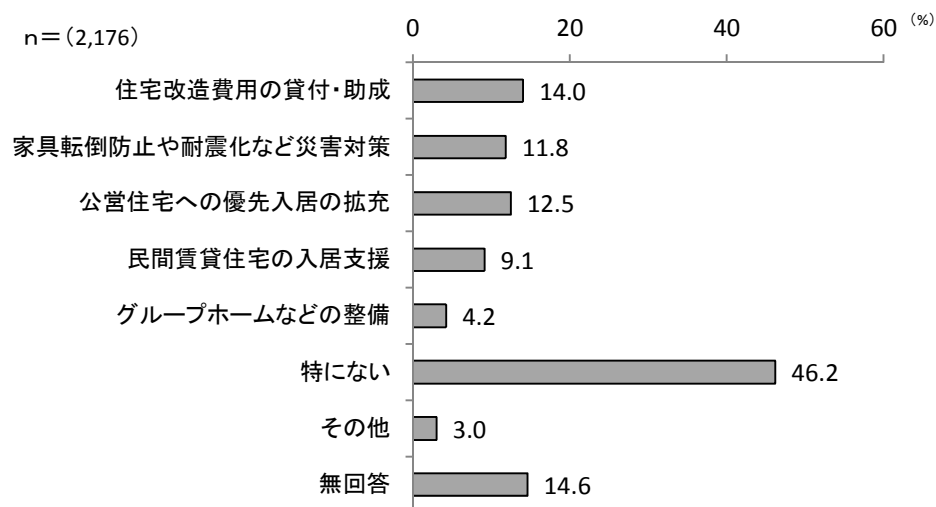
障害の種類別にみると、「身体のみ」では、「階段の昇り降り」が22.2%で最も多く、次いで「建物の老朽化」が12.3%、「玄関などの段差」が11.9%となっています。

一方、「知的のみ」では、「特にない」が61.3%と多くなっています。

また、「精神のみ」では、「家賃など住宅費の負担」が28.5%で最も多くなっています。

## (2) 住まいに必要な支援

問 41 あなたは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。(○は2つまで)



住まいに関して必要な支援をみると、「住宅改造費用の貸付・助成」が14.0%ですが、「特にない」は46.2%を占めています。

### 《障害の種類別》

	調査数	住宅改造費用の貸付・助成	家具転倒防止や耐震化など災害対策	公営住宅への優先入居の拡充	民間賃貸住宅の入居支援	グループホームなどの整備	特にない
身体のみ	1010	17.2	15.0	10.8	6.5	1.5	43.1
知的のみ	191	8.4	7.9	6.3	6.3	24.1	46.6
精神のみ	375	9.3	8.5	24.0	18.7	4.0	42.7
身体+知的	48	12.5	8.3	16.7	6.3	12.5	29.2
身体+精神	24	16.7	16.7	12.5	12.5	8.3	25.0
知的+精神	10	-	-	10.0	20.0	10.0	20.0
難病・特定疾患	818	15.5	11.2	10.1	8.3	1.8	50.0

	調査数	その他	無回答
身体のみ	1010	2.3	17.7
知的のみ	191	1.6	12.6
精神のみ	375	5.9	9.6
身体+知的	48	6.3	29.2
身体+精神	24	-	29.2
知的+精神	10	-	50.0
難病・特定疾患	818	3.1	13.8

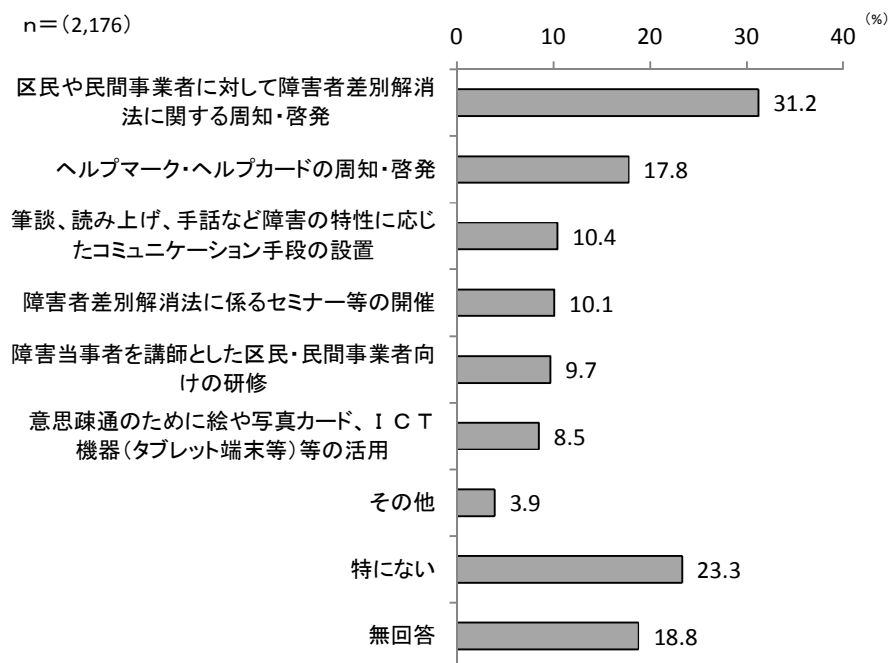
障害の種類別にみると、「身体のみ」では、「住宅改造費用の貸付・助成」が17.2%と多くなっているほか、「難病・特定疾患」でも15.5%と多くなっています。

一方、「知的のみ」では「グループホームなどの整備」が24.1%で、「精神のみ」では「公営住宅への優先入居の拡充」が24.0%で、それぞれ多くなっています。

## 7. 差別解消について

### (1) 合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 42 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(〇は2つまで)



合理的配慮を進めていくために必要なことをみると、「区民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が31.2%で最も多く、「ヘルプマーク・ヘルプカードの周知・啓発」が17.8%でこれに次いでいます。

一方、「特にない」も23.3%と高くなっています。

《障害の種類別》

	調査数	区民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発	障害者差別解消法に係るセミナー等の開催	障害当事者を講師とした区民・民間事業者向けの研修	筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置	意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用	ヘルプマーク・ヘルプカードの周知・啓発
身体のみ	1010	24.7	7.6	9.8	12.1	7.5	16.3
知的のみ	191	<b>38.7</b>	15.7	5.2	6.8	14.7	16.8
精神のみ	375	<b>42.4</b>	15.7	12.3	6.1	5.9	16.0
身体+知的	48	<b>22.9</b>	10.4	16.7	4.2	6.3	18.8
身体+精神	24	16.7	-	4.2	4.2	8.3	4.2
知的+精神	10	<b>30.0</b>	20.0	10.0	-	-	10.0
難病・特定疾患	818	<b>32.4</b>	9.3	10.0	10.9	9.9	22.7

	調査数	特にない	その他	無回答
身体のみ	1010	<b>26.2</b>	2.1	23.4
知的のみ	191	18.3	4.2	17.3
精神のみ	375	21.9	8.8	10.7
身体+知的	48	16.7	6.3	25.0
身体+精神	24	<b>29.2</b>	4.2	41.7
知的+精神	10	20.0	-	40.0
難病・特定疾患	818	21.6	2.8	16.3

障害の種類別にみると、「知的のみ」、「精神のみ」、「難病・特定疾患」で、「区民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」がそれぞれ38.7%、42.4%、32.4%と多くなっています。



《疾病・障害別》

	調査数	区民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発	障害者差別解消法に係るセミナー等の開催	障害当事者を講師とした区民・民間事業者向けの研修	筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置	意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用	ヘルプマーク・ヘルプカードの周知・啓発
難病・特定疾患	818	32.4	9.3	10.0	10.9	9.9	22.7
慢性疾患	448	24.6	8.3	10.3	9.8	6.3	17.4
統合失調症	176	38.6	14.8	13.6	6.3	4.5	12.5
気分障害	192	40.1	15.1	12.0	7.3	7.3	24.0
神経症	94	36.2	17.0	13.8	7.4	7.4	16.0
依存症	10	30.0	10.0	10.0	-	-	-
知的障害	204	35.8	15.7	8.8	6.9	13.7	15.7
発達障害	149	43.0	18.8	9.4	6.7	14.1	14.8
高次脳機能障害	30	40.0	6.7	3.3	13.3	23.3	23.3
特にない	215	27.9	7.9	10.2	19.1	7.9	15.3
その他	103	32.0	8.7	8.7	6.8	8.7	13.6

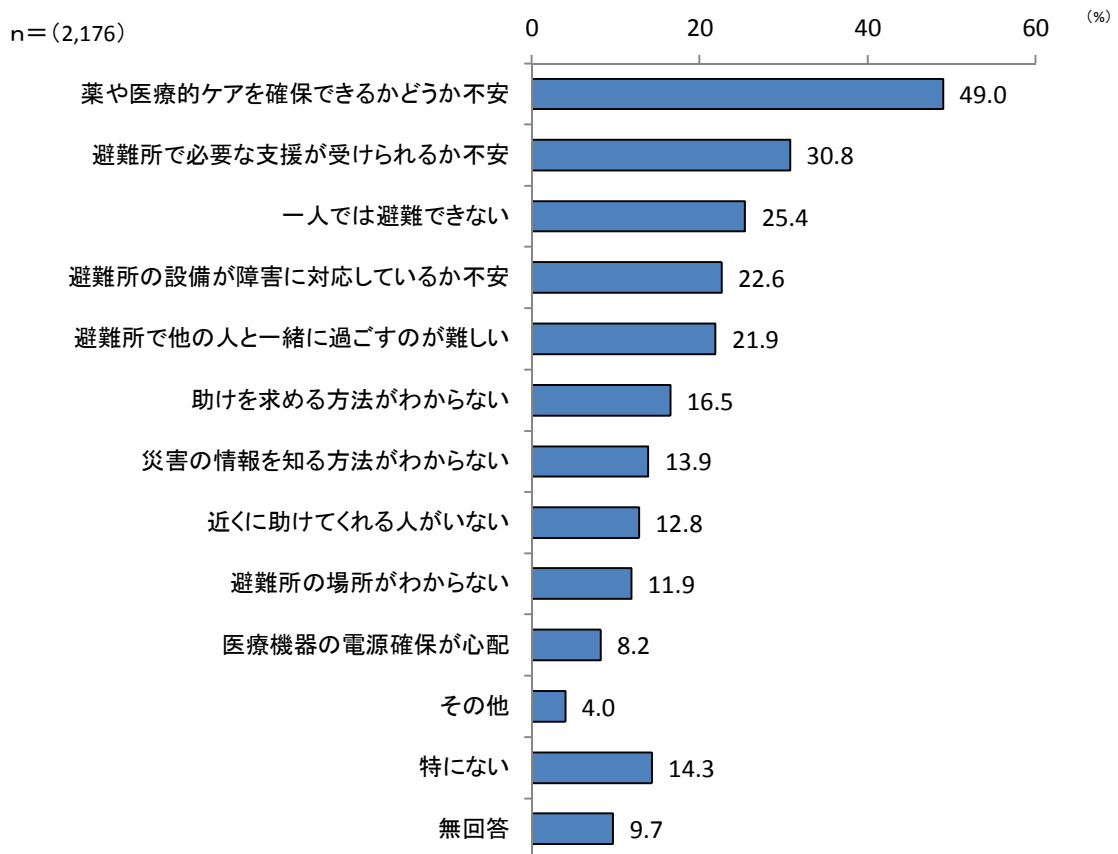
	調査数	特にない	その他	無回答
難病・特定疾患	818	21.6	2.8	16.3
慢性疾患	448	28.8	2.5	20.8
統合失調症	176	27.8	2.3	14.2
気分障害	192	20.3	10.9	7.8
神経症	94	17.0	13.8	10.6
依存症	10	30.0	10.0	20.0
知的障害	204	16.2	4.9	19.6
発達障害	149	16.8	7.4	14.8
高次脳機能障害	30	10.0	-	26.7
特にない	215	25.6	3.7	16.3
その他	103	19.4	6.8	28.2

疾病・障害別でみると、統合失調症、気分障害、発達障害、高次脳機能障害では、いずれも「区民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が4割前後を占めて多くなっています。

## 8. 災害対策について

### (1) 災害発生時に困ること

問 43 あなたが、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(〇は  
いくつでも)



災害発生時に困ることをみると、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか心配」が49.0%で最も多く、以下、「避難所で必要な支援が受けられるか心配」が30.8%、「一人では避難できない」が25.4%となっています。

《障害の種類別》

	調査数	災害の情報を 知る方法が わからない	助けを求め る方法がわ からない	避難所の場 所がわから ない	近くに助け てくれる人 がいない	一人では避 難できない	避難所の設 備が障害に 対応してい るか不安	避難所で必 要な支援が 受けられる か不安
身体のみ	1010	13.8	15.4	11.1	12.8	30.0	27.1	<b>33.0</b>
知的のみ	191	27.2	29.8	20.4	9.4	<b>44.5</b>	19.9	<b>34.6</b>
精神のみ	375	13.9	18.4	14.4	20.3	13.9	21.6	33.1
身体+知的	48	29.2	22.9	14.6	18.8	<b>56.3</b>	33.3	35.4
身体+精神	24	8.3	20.8	16.7	12.5	<b>41.7</b>	20.8	25.0
知的+精神	10	10.0	20.0	10.0	20.0	<b>40.0</b>	20.0	20.0
難病・特定疾患	818	9.4	12.5	8.1	10.1	20.0	21.3	<b>29.3</b>

	調査数	避難所で他 の人と一緒 に過ごすの が難しい	薬や医療的 ケアを確保 できるかど うか不安	医療機器の 電源確保が 心配	特にな い	その他	無回答
身体のみ	1010	16.3	<b>44.7</b>	11.7	13.5	3.0	12.3
知的のみ	191	33.0	25.1	6.8	16.2	4.7	7.9
精神のみ	375	<b>38.9</b>	<b>63.5</b>	4.8	12.8	5.6	5.3
身体+知的	48	<b>41.7</b>	31.3	12.5	4.2	8.3	20.8
身体+精神	24	33.3	<b>50.0</b>	16.7	8.3	4.2	16.7
知的+精神	10	30.0	30.0	-	10.0	-	40.0
難病・特定疾患	818	16.5	<b>57.0</b>	8.6	15.2	4.4	8.8

障害の種類別にみると、「精神のみ」、「難病・特定疾患」「身体のみ」では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか心配」が、それぞれ63.5%、57.0%、44.7%と最も多くなっています。

また、「精神のみ」では、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が38.9%、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が35.4%と多くなっています。

一方、「知的のみ」では、「1人では避難できない」が44.5%と最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が34.6%、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が33.0%となっています。

《疾病・障害別》

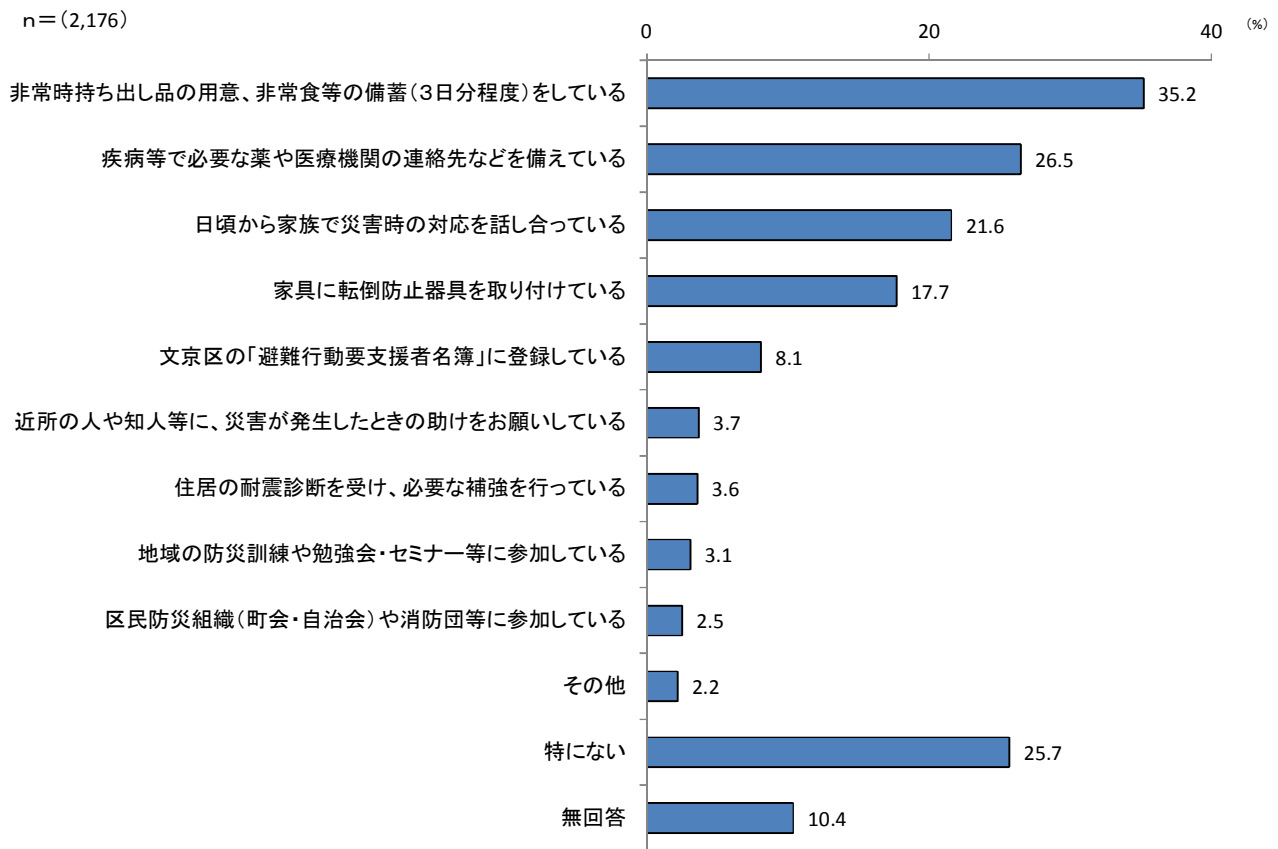
	調査数	災害の情報を知る方法がわからない	助けを求める方法がわからない	避難所の場所がわからない	近くに助けてくれる人がいない	一人では避難できない	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な支援が受けられるか不安
難病・特定疾患	818	9.4	12.5	8.1	10.1	20.0	21.3	<b>29.3</b>
慢性疾患	448	16.3	18.3	12.9	12.1	32.1	26.3	<b>33.9</b>
統合失調症	176	17.0	26.1	17.6	19.9	21.0	24.4	<b>40.9</b>
気分障害	192	8.3	15.1	13.0	21.4	15.1	25.5	34.9
神経症	94	10.6	14.9	6.4	16.0	19.1	14.9	30.9
依存症	10	-	10.0	-	30.0	20.0	-	30.0
知的障害	204	25.5	27.5	18.1	11.3	<b>48.5</b>	22.1	<b>35.8</b>
発達障害	149	18.1	24.2	20.1	12.8	26.2	21.5	30.2
高次脳機能障害	30	16.7	16.7	6.7	10.0	<b>40.0</b>	26.7	30.0
特にない	215	15.3	14.4	12.6	13.5	27.4	22.8	<b>28.4</b>
その他	103	19.4	25.2	15.5	17.5	28.2	27.2	<b>35.0</b>

	調査数	避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	医療機器の電源確保が心配	特にない	その他	無回答
難病・特定疾患	818	16.5	<b>57.0</b>	8.6	15.2	4.4	8.8
慢性疾患	448	17.0	<b>56.5</b>	14.7	11.2	3.6	7.8
統合失調症	176	36.4	<b>65.3</b>	5.7	13.6	2.8	5.7
気分障害	192	<b>43.8</b>	<b>67.2</b>	4.7	11.5	6.3	4.7
神経症	94	<b>40.4</b>	<b>61.7</b>	2.1	11.7	9.6	5.3
依存症	10	-	<b>50.0</b>	-	30.0	-	10.0
知的障害	204	<b>35.8</b>	27.9	7.4	12.7	5.4	10.3
発達障害	149	<b>39.6</b>	<b>31.5</b>	8.1	18.1	6.7	10.1
高次脳機能障害	30	20.0	<b>50.0</b>	6.7	10.0	3.3	13.3
特にない	215	13.5	<b>29.3</b>	5.1	20.5	2.3	7.9
その他	103	30.1	<b>52.4</b>	8.7	11.7	3.9	13.6

疾病・障害別でみると、統合失調症、気分障害、神経症では、いずれも「薬や医療的ケアを確保できるか不安」が6割を超え、他の層より多くなっています。

## (2) 災害に対する備え

問 44 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)



災害に対する備えをみると、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている」が35.2%で最も多く、次いで「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が26.5%となっています。

一方、「特にない」も25.7%となっています。

《障害の種類別》

	調査数	日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている	疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている	文京区の「避難行動要支援者名簿」に登録している	家具に転倒防止器具を取り付けている
身体のみ	1010	21.3	<b>34.0</b>	<b>26.9</b>	4.9	10.3	18.1
知的のみ	191	<b>34.0</b>	<b>33.0</b>	16.8	2.1	17.8	19.9
精神のみ	375	14.1	<b>27.5</b>	25.9	3.2	4.8	12.0
身体+知的	48	<b>29.2</b>	22.9	20.8	10.4	22.9	<b>25.0</b>
身体+精神	24	12.5	16.7	<b>20.8</b>	4.2	8.3	16.7
知的+精神	10	10.0	<b>20.0</b>	10.0	10.0	10.0	<b>20.0</b>
難病・特定疾患	818	24.3	<b>41.9</b>	<b>33.3</b>	3.4	5.1	18.5

	調査数	住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている	区民防災組織(町会・自治会)や消防団等に参加している	地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している	特にない	その他	無回答
身体のみ	1010	3.5	3.4	3.4	23.5	1.8	13.1
知的のみ	191	6.3	2.1	3.7	21.5	2.6	9.9
精神のみ	375	3.2	1.3	2.1	<b>35.7</b>	3.7	6.4
身体+知的	48	6.3	4.2	6.3	14.6	2.1	22.9
身体+精神	24	-	-	-	<b>33.3</b>	-	20.8
知的+精神	10	-	-	-	10.0	-	50.0
難病・特定疾患	818	3.1	2.3	2.2	23.2	1.5	8.7

障害の種類別にみると、「身体のみ」、「難病・特定疾患」では、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている」が最も多く、次いで「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」となっています。特に、「難病・特定疾患」では「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている」が41.9%と、他の障害者より多くなっています。

一方、「知的のみ」では、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」と「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている」がそれぞれ34.0%、33.0%と多くなっています。

《疾病・障害別》

	調査数	日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている	疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている	文京区の「避難行動要支援者名簿」に登録している	家具に転倒防止器具を取り付けている
全体	2176	21.6	35.2	26.5	3.7	8.1	17.7
難病・特定疾患	818	24.3	41.9	33.3	3.4	5.1	18.5
慢性疾患	448	19.2	32.8	33.3	4.9	9.6	17.4
統合失調症	176	15.9	24.4	26.7	4.5	7.4	13.1
気分障害	192	12.0	27.6	28.1	1.0	6.3	12.0
神経症	94	13.8	29.8	30.9	2.1	6.4	19.1
依存症	10	20.0	40.0	-	-	-	-
知的障害	204	32.4	31.9	18.6	2.0	18.6	20.1
発達障害	149	32.9	32.2	18.8	2.7	11.4	13.4
高次脳機能障害	30	30.0	33.3	36.7	10.0	26.7	30.0
特にない	215	19.5	32.6	15.3	5.6	8.8	19.1
その他	103	19.4	33.0	23.3	5.8	4.9	19.4

	調査数	住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている	区民防災組織(町会・自治会)や消防団等に参加している	地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している	特にない	その他	無回答
全体	2176	3.6	2.5	3.1	25.7	2.2	10.4
難病・特定疾患	818	3.1	2.3	2.2	23.2	1.5	8.7
慢性疾患	448	2.9	3.3	2.9	24.6	3.1	10.5
統合失調症	176	3.4	1.7	2.3	33.0	3.4	8.0
気分障害	192	3.1	0.5	2.6	39.1	3.1	5.2
神経症	94	3.2	2.1	3.2	29.8	7.4	6.4
依存症	10	10.0	10.0	-	40.0	-	10.0
知的障害	204	6.4	2.5	4.4	20.6	2.5	11.3
発達障害	149	5.4	2.7	2.7	26.8	2.0	9.4
高次脳機能障害	30	-	6.7	3.3	13.3	-	13.3
特にない	215	4.2	2.8	5.1	31.6	2.3	8.4
その他	103	4.9	4.9	6.8	25.2	3.9	14.6

疾病・障害別でみると、発達障害では、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が32.9%、高次脳機能障害では「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が36.7%と、他の層より多くなっています。

## 9. 自由意見

問 45 区の障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見は448件ありました。「福祉」についての意見が16.7%と最も多く、次いで「行政」が13.6%、「障害・疾患」が8.0%となっています。

主な意見は下記のとおりです。

(%)

	総数	福祉	行政	障害・疾患	生活環境	アンケート	保健・医療	障害理解	雇用・就労	情報・相談	将来	災害	その他
自由意見	448	16.7	13.6	8.0	7.8	7.8	6.0	5.4	4.7	4.5	4.2	2.7	18.1

### ●主な意見（内容は要約・省略しています）

#### 1. 福祉（75件）

- ・障害福祉サービスを利用した事がありますが1ヶ月区切りで締切りがあり、その時を過ぎると1ヶ月待ちになります。具合は急に悪くなり直ちに支援が必要です。大変だとは思いますが、要望があったらすぐに対応していただきたいです。
- ・ショートステイをいざ緊急に使いたい時などに、いっぱい利用できない。
- ・障害の支援区分が軽い人でも、ずっとグループホームで暮らしていけるようにして下さい。軽度の方こそ、より細かな支援が必要です。軽度の人一人暮らしを促進するには、支援体制、人材の十分な確保ができない限り、難しいと思います。時々、見回りに行く程度では、彼らの心の安定は図れません。一番大切なのは、話したい特にすぐ話を聞いてくれる人がいること、です。
- ・福祉サービスはいくつもあるが、重度でないと利用できないものが多い。知的は中度、身体はぎりぎり障害にならない状態だと利用する施設から断わられることがある。（手がかかるので）知的、身体と分けるのではなく、全体の状態で見てほしい。
- ・精神障害者への手当などを充実させてほしい。
- ・都営交通の無料乗車券やタクシー券はとても重宝して利用しており、今後も継続していただきたいと思います。
- ・親が安心して委ねられるグループホーム、区内の施設の整備に重点的に力を注いでいただきたいです。
- ・難病患者向けのタクシー券が交付されなくなってしまったので、常時バスを利用せざるを得ないので、シルバーパスのようなパスを交付してほしいと思います。
- ・入所施設を作った時、3年型でその後グループホームへとの話でしたが、自立してグループホームへ行かれる方が何人いるのでしょうか？グループホームも入所されている方が行けるようなものはありません。親も高齢になり、両親で何とか障害のある子を見ていますが、片親になったら1人では無理です。希望している施設は満員です。先の事を考えると不安でいっぱいです。重度の入院施設、重度のグループホームを作ってほしいです。

#### 2. 行政（61件）

- ・長時間の外出が大変で、区の手続きに行く時に苦勞している。援助を受けるための書類が多く、それを揃えるのが大変。



- ・外出困難者が区役所へ申請手続きに行くのは負担。せめて継続手続きは郵送でできる等考慮してほしい。
- ・自立支援の更新に必要な書類のうち、申請書は窓口にしかないので、平日の日中に取りに行かないといけません。夜間窓口置いていただくか、ダウンロードして郵送申請ができるとありがたいです。また、今度家族の難病申請をするのですが、こちらの申請書も、夜間かダウンロードで入手できると助かります。
- ・感音性難聴であるので、区役所の係の人々が代筆したり、大きな声で対応してもらいたい。補聴器の購入に際して充分補助していただきたい。
- ・医療券の更新の際に、他の階から書類を取る必要があるのを、一元化していただけるとありがたいです。
- ・実際に支援をうけており、日頃より大変ありがたく思っております。国、都、区がそれぞれに運用している諸制度の構造がわかりづらく感じており、身近な区役所がワントップ窓口となっていれば、より気軽に様々な相談ができると思っております。
- ・役所からの書類等の内容が、活字を読まなくてもおおまかでよいのでわかるようにしてほしい。(点字資料、音声資料の同梱、電話による周知等)
- ・現在は特にありませんが、個人個人に対応したできるだけきめ細かいケアを望みます。具体的には、医師、介助者、看護師(関係者間)等との情報の共有化。特に災害時。
- ・区のカウンターに申請などうかがった際、職員の方は病名を口に出してほしくない。たまたまとなり(近くに)知人とかいたら、知られてしまうので。
- ・知的障がい者は、他の障がい者に比べて本人の希望・訴えが理解されにくく、他の障がい者より制度の進歩も遅れがちです。又、本人からの意志が伝わりにくいこともあり周囲に良い理解者が必要となります。家族や施設職員だけでなく、行政からも手厚い支援等お願いしたいです。本人からの訴えが無くても、一定の年齢や条件を満たした時は、役所からの連絡・訪問など希望者にはお願いしたいです。

### 3. 障害・疾患 (36件)

- ・障害の内容が一目で分かるものもあれば、外見からでは分り難いものもある。自分は聴覚障害である為、一見では他人に分ってもらえない事がほとんどである。買物やファストフード等、マニュアルだけの会話を早口で対応されても聴き取れない事がしばしばある。視覚障害者に対しては色々工夫された表示や標識が有るが、聴覚障害者を識別、表示する物や対応がほとんど無いように思われる。障害者全体の対策・対応を図っていただきたい。
- ・精神障害者は非常に精神が不安定になりやすく、また長期にわたっての服薬・通院を必要としていると思います。しかし将来への不安(金銭的)から、更に不安になり増々症状が悪くなっていくという悪循環に陥っていくような気がします。しかし就労する勇気が持つことが難しいです。
- ・私はパーキンソン病で、今のところ何でも出来ますが、物忘れがよくあり、不安になります。今は大丈夫でも、家事が出来なくなったら、自分の事が自分で出来なくなったら、と思うと、とても不安になりますが、今は大丈夫だし、良いお薬が出来るかも?と思っています。パーキンソン病は筋肉が減ってしまう病気なので、指導して下さる方がいるとありがたいと思います。
- ・内部障害のため、外見から健常者と思われて、職場・外出先で困ることがある。

### 4. 生活環境 (35件)

- ・文京区のトイレは、新しい施設でもおしり洗いが付いていないので、少しずつ増やして頂けると助かります。
- ・駅などのエレベーターを利用することが多いが、改札口より遠く離れている。バリアフリーであることも大切ですが、移動する距離が短い(最短)ことがとても大切です。ホームの“はしっこ”や

“すみっこ”では、そこに行くまでが遠く疲れてしまうので、正直、便利ではないのです。文京区の建物（様々な）からでも意識改革を進めてほしいです。

- ・私は一人で外に出られませんが、近くの病院に行く時も道路に自転車が止めてあるので、一緒に連れて行ってくれる人と歩くのにはとても大変です。杖が引っかかっても転びそうになるし、商店街などはとても気を使います。
- ・自転車で乗った方が歩道を猛スピードで走行されると脅威を感じます。
- ・歩行の点字ブロックを、道路上のガタガタな場所ではなく、分かりやすく歩行しやすい所に設置してほしい。

## 5. アンケート（35件）

- ・アンケートの内容が難しい。
- ・ページが多いのに小封筒では送りにくいです。今後は考えてほしいです。
- ・身体の行動や知的面に障害がある方をメインに考えた調査だと思うので、参考になる回答ではないかもしれないと思っています。聴覚障害には不要なサービスの事ばかりでしたが、しかし聴覚障害にも不便はたくさんあります。その辺、想定した質問はあまりなかったです。
- ・質問が大ざっぱなので、あまり心にひびいてこない面がたくさんありました。個々に必要なことは回答に表われないこともあると思いますので、これからも本人に対しての細かい聞きとりが必要と思われる。

## 6. 保健・医療（27件）

- ・難病でも保険や助成のない方が多勢いると思います。そういう方達に対してもっと優遇するべきではないでしょうか。
- ・精神科へ通院費は無料だが、他の病気の費用が3割でつらい。
- ・特定医療費の制度が変わってから以前は無料だった薬が自己負担となり苦しい。痛み止めの個数をへらしたり、新しい薬を試すのをあきらめたりしています。もし入院した時も食費の負担があるので、病状が悪い時も入院をすることが難しいです。
- ・医療券を持っているが、自己負担で全額を支払っており、実質的には金銭的な補助がない。確かに収入は多いかもしれないが、税金も多く払っており、それに見合う行政からのサービスを受けられていないと感じている。

## 7. 障害理解（24件）

- ・パラリンピック等々で障害者に対する認識もずい分変わってきたと思いますが、知的障害者に対してはまだまだずい分格差があると思います。知的障害者に対する差別、偏見が少しでもなくなることが祈っています。
- ・ヘルプマークが作られた事に感謝しております。見た目は健常な方と変わらない為、障害者用のトイレに入りずらくマークを持つまでは家の中にいる事の方が多かったです。最近は体の為にも少しづつ外出するよう心掛けています。
- ・ヘルプマーク、ヘルプカードが一般的になっていないので、外出先で疲れた時に優先席に座っていると、年齢的に若いので変な目でみられる。ヘルプマークが一般的でないので外出時、混雑していて疲れていても、全然席をゆずってくれない。
- ・「こころのバリアフリー」に期待しています。周囲の理解があれば、私は仕事を失うことも、社会と交わることを避ける必要もなかったと思うからです。
- ・今の日本は発達障害への理解が乏しく、偏見を持っている人が多いと感じています。息子が幼少時よりは良くなっていますが、まだまだです。発達障害は、一見障害者とはわかりにくいので、つらい思いもたくさんしてきています。

- ・気分障害（うつ）により、意欲が出ないことに加えて言語障害を併発しております。一見してわからない障害を抱えているにもかかわらず、それを言葉で説明することが困難な状況にあります。「見えない障害」に対する理解の拡充、また企業および官公庁への雇用促進施策を積極的に行っていただきたいと要望いたします。

## 8. 雇用・就労（21件）

- ・精神障害者の就職支援の拡充をお願い致したい。
- ・障害の有無を問わない事だと思いが、年齢的に就労先が限られてしまう。限られた就労先で体調に合わせられる所を探そうとしても難しい。よって、経済的に苦しくなり、それがストレスとなり時として体調が悪化する。経済的問題が解消すれば、多少の事は自力で何とか出来ると思う。
- ・作業所の工賃の低さを改善してもらいたいです。賃金が安すぎると仕事に対するモチベーションも低下します。
- ・比較的軽度な障害ですが、長く付き合わなくてはならない障害です。療養が長引くにつれ、経済的な不安が多くなりました。健常者と同程度の仕事をしていても、障害者雇用であるため、収入や手当は健常者に追いつきません。そういった不安や悩みを相談できる機関がほしいです。
- ・混雑時の出社時間（通勤時間）など、勤務時間の融通が利くように企業へ理解の呼びかけを行って欲しいです。
- ・私は、区の保健サービスセンターや就労支援センターの助言によって、区内の就労継続支援B型事業所へ通い、就労への自信をつけて就労に成功しました。区の資源を完全に使った就労であり、今なおお世話になっております。区の支援には感謝しております。

## 9. 情報・相談（20件）

- ・大学病院以外に車椅子で対応してもらえる医院、クリニックがどこなのか情報が無い。（歯科など）
- ・居住は文京区で現在の勤務先も文京区ですが、日常生活では区外に出る事も多いため、他区での施策に関する情報も入手できる様になると良いと感じます。
- ・「障害者福祉のてびき」をさらに充実してほしい。
- ・病気について、もう少し相談出来る場があれば良い。

## 10. 将来（19件）

- ・私は主人もおりますし、娘家族と同居しており、何か困った事があれば相談や話を聞いてくれる人達がおります。しかし、これから生活の変化により老いるばかりですので、この先どうなるかで不安を感じる事があります。
- ・兄弟がいても、親なき後は家族に負担をかけなくてすむように、グループホームや施設の充実をお願いしたいです。
- ・障害者に対する区の施策は、かなり良くなって来ていると思う。それでも親が亡くなった後の事はどうなるのか、障害をお持ちの方、皆さんの心配の種だと思います。これからも、その心配の種が少しでも安心に近づくよう、区の施策を推進して下さい。
- ・障害を持つ我が子に、将来親亡き後が心配でなりません。グループホーム等の充実を希望します。親ができる協力と子供の自立にも力を注ぎます。
- ・とにかくヘルパーさんがいません。どれだけ制度が揃っていても使えなければ無いのと一緒にです。家族にとっては切実です。親亡き後、兄弟姉妹にとっても、このままではどんどん仲が悪くなってしまいます。現場に手が届くような支援をお願いします。

## 11. 災害（12件）

- ・現在の借家が老朽化しているので、災害がおきたときに心配です。一人では外出するのに不安を感じるので、災害時には介助をお願いしたいです。
- ・災害時に家に来ていただけるにしても、どのくらい待っていれば良いか電話をしてほしい。家の場所がわかっているのか心配です。
- ・地震などの災害時にどこの医療機関に行けば透析が出来るか心配です。災害時はどこで透析が出来るか知りたい。
- ・私は精神障害者です。一番心配な事は災害です。言葉の理解ができません。親が居ても誰に相談したらよいのでしょうか。

## 12. 教育・療育（2件）

- ・障害のある方が偏見に合わぬよう、小さなときから教育してほしい。小さい子は心が柔軟だから、そういうときにしっかり「差別することは恥ずかしいことだ」という認識を持たすことが大切だと思う。「ハンディキャップを持つ」＝「かわいそう」「自分より下」という心を育ててしまうのは大人の責任ではないだろうか。
- ・障害者に対する理解を深める教育を学生の時からする必要がある。

## 13. その他（81件）

- ・一緒に暮らす親の存在を前提としない、成人障害者の生き方を、特に金銭面からリアルにシミュレートした上で施策を考えてほしいと思います。
- ・文京区は関連の大学など教育機関も多く抱えているので、ぜひ障害をもち、共に暮らす人たちにとって住みやすい区であって欲しいと願っています。
- ・助けるという事は、事が起きてからだけでなく、起きる前にも必要ではないかと考えます。事前に対応出来れば、事後の対応よりもコストもダウン出来るのではないかと考えます。規則以外の事はしない出来ないではなく、内容を精査して新しい前例を作ってこそ前進があると思います。